

大月市第7次総合計画策定に係る

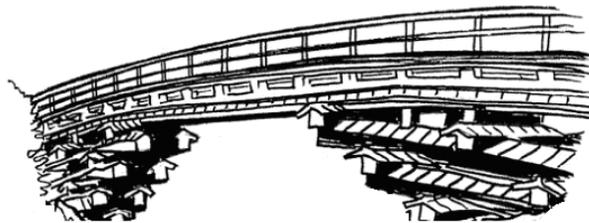
市民アンケート調査結果報告書



平成27年11月
大月市 企画財政課

目 次

1. アンケート調査結果概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～ 3 ページ
2. アンケート全体集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～51 ページ
- 問3-22 (自由記述一覧)・・・・・・・・・・・・・・・・ 52～78 ページ
大月市の一番誇りに思うことや、大切にしたいと思うことは何か。
- 問3-23 (自由記述一覧)・・・・・・・・・・・・・・・・ 79～112 ページ
今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき
取り組み、アイデアやご提案。



日本三奇橋

名勝猿橋

はじめに

大月市第7次総合計画の策定にあたり、日常生活の満足度や行政ニーズなど、今後の大月市のまちづくりに対する市民の意識を広く把握し、今後の市政運営に反映させることを目的に、人づくりやまちづくり、総合計画、仕事や雇用づくりに関して設問を設定し、郵送アンケートを実施しました。

アンケート対象者は、住民基本台帳から20歳以上の男女2,000人を無作為に抽出しました。

しかしながら、2,000人のうち6人が「宛所不明」などで返送されてきたため、実際の発送数は1,994人となりました。

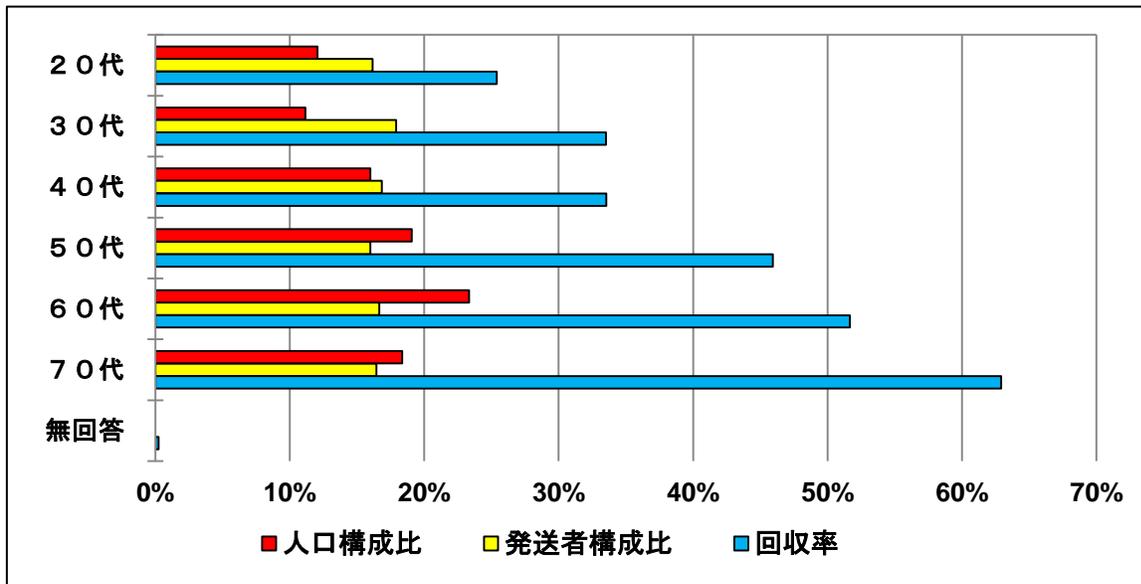
回答締切については猶予期間を設け、3月17日到着分、計846人分の回答を集計しました。

調査概要

- (1) 発送日：平成27年2月13日
- (2) 回答期日：平成27年3月10日 [但し3月17日到着分まで]
- (3) 配布数：1,994票
- (4) 回答数：846票
- (5) 回収率：42.3%

発送日時点の人口、アンケート発送者数及び回収率

質問	人口		発送者		回収率	
	人数	構成比率	人数	構成比率	人数	回答率
20代	2,362	12.1%	323	16.2%	82	25.4%
30代	2,187	11.2%	358	17.9%	120	33.5%
40代	3,133	16.0%	337	16.9%	113	33.5%
50代	3,734	19.1%	320	16.0%	147	45.9%
60代	4,568	23.3%	333	16.7%	172	51.7%
70代	3,595	18.4%	329	16.5%	207	62.9%
無回答					5	0.3%
合計	19,579	100.0%	2,000	100.0%	846	42.3%



集計結果については、回答者全員を一つの集団として集計した「全体集計結果」としました。

調査方法

(1) 調査地域

大月市内

(2) 調査対象

大月市内に居住する20歳以上の方から、住民基本台帳のデータをもとに無作為抽出して実施

(3) 調査対象者数・発送者数

2,000人

(4) 調査方法

郵送配布、郵送回収

(5) 調査期間

平成27年2月13日(金)から3月10日(火)まで
 ※3月17日(火)到着分までを有効とした：33日間

(6) 回収結果

回収数：846票(回収率42.3%)

留意点

(1) 数値の端数処理

百分率の計算は小数第2位を四捨五入したため、各設問の回答比率の合計が100%にならない場合がある。

(2) 同一設問で複数の回答を許容している場合

複数回答の場合は、各設問の回答者数を100%としているので、設問の百分比の合計は100%を超える。

(3) 回答を1つだけ求めている質問に2つ以上回答してある場合

回答設定数を上回って回答した場合には、無効としている。

(4) 図・表中におけるH23標記について

現在の大月市第6次総合計画後期基本計画を策定する際、基礎資料として平成23年1月に郵送アンケートを実施し、市民から意見収集を行ったものを比較データとして標記し、比較検証している。

[参考]

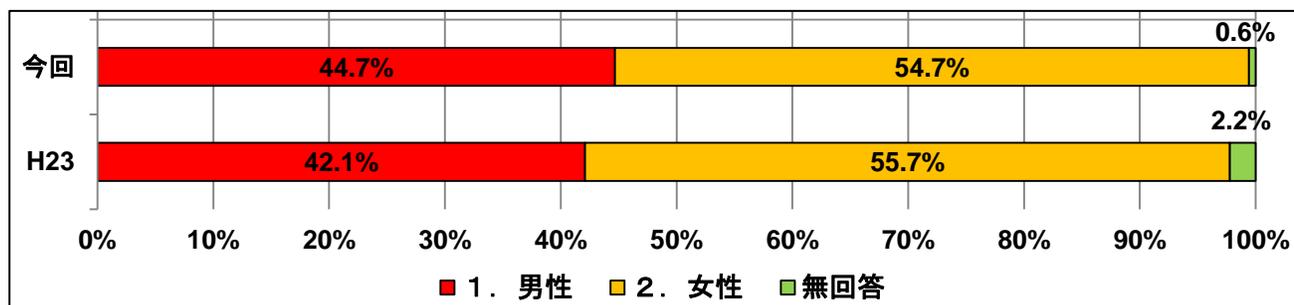
前回配布数：1991票

前回回答数：855票

前回回収率：42.9%

問1 あなた自身のことについておたずねします。それぞれ該当する番号1つに○をつけてください。

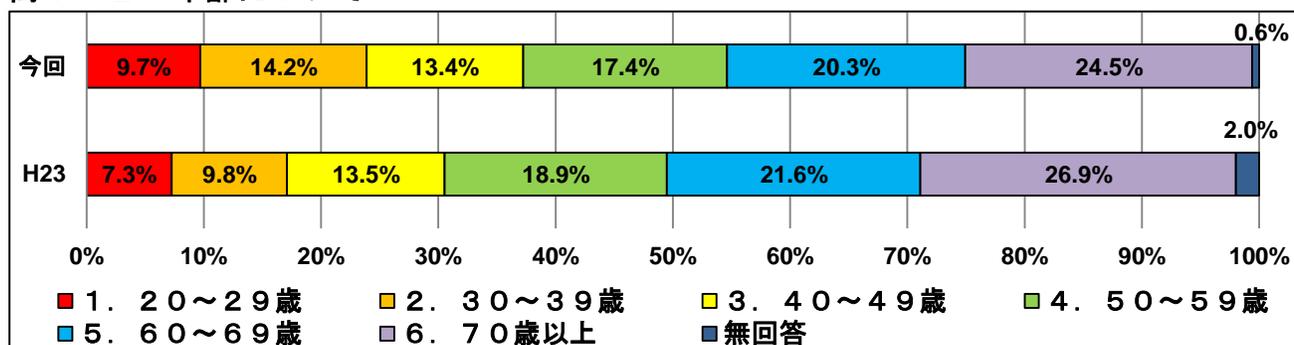
問1-1 性別について



質問	今回		H23		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
1. 男性	378人	44.7%	360人	42.1%	2.6
2. 女性	463人	54.7%	476人	55.7%	▲ 1.0
無回答	5人	0.6%	19人	2.2%	▲ 1.6

「性別」については、「男性」が44.7%、「女性」が54.7%、「無回答」が0.6%となっています。「女性」の回答が「男性」よりやや多くなっています。

問1-2 年齢について

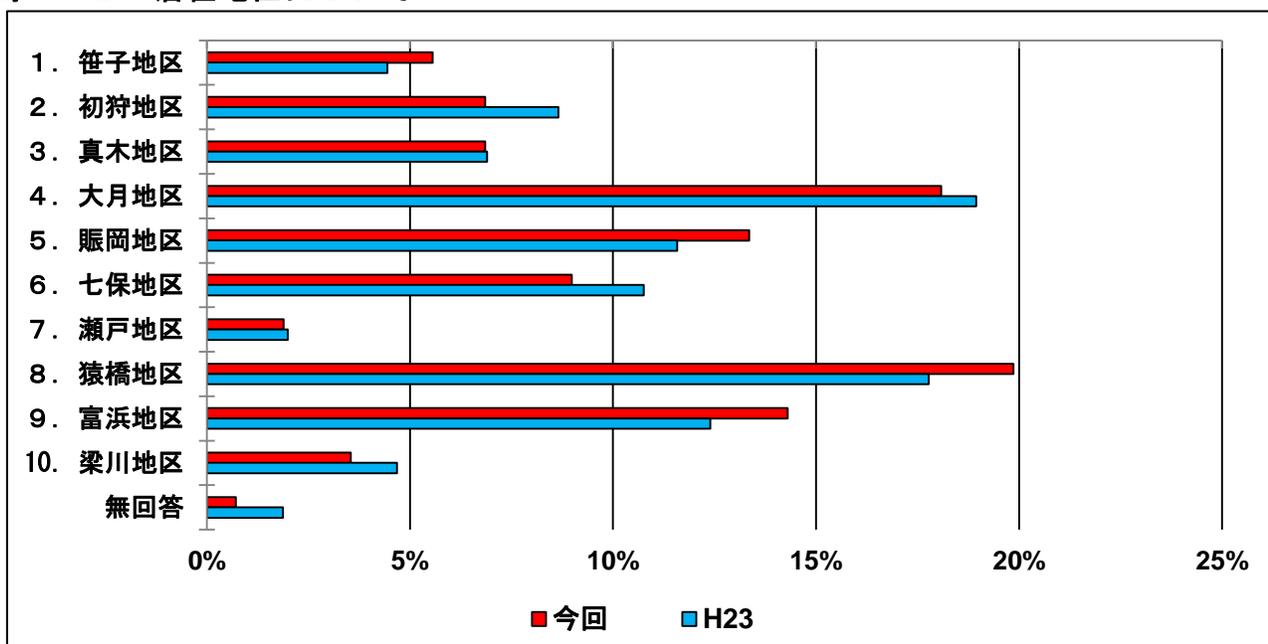


質問	今回		H23		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
1. 20~29歳	82人	9.7%	62人	7.3%	2.4
2. 30~39歳	120人	14.2%	84人	9.8%	4.4
3. 40~49歳	113人	13.4%	115人	13.5%	▲ 0.1
4. 50~59歳	147人	17.4%	162人	18.9%	▲ 1.5
5. 60~69歳	172人	20.3%	185人	21.6%	▲ 1.3
6. 70歳以上	207人	24.5%	230人	26.9%	▲ 2.4
無回答	5人	0.6%	17人	2.0%	▲ 1.4

「年齢」については、「70歳以上」が発送者数329人に対して回答数207人で回収率62.9%と最も多く、次に「60歳代」が多く、発送者数333人に対して回答数172人で回収率51.7%となっています。

年齢層別では「20歳代」が発送者数323人に対して回答数82人で回収率25.4%、「30歳代」が358人に対して120人で回収率33.5%、「40歳代」が337人に対して113人で回収率33.5%、「50歳代」が320人に対して147人で回収率45.9%です。「20歳代」の回収率に対して「70歳以上」の回収率が37.5ポイント高くなっています。

問 1 - 3 居住地区について

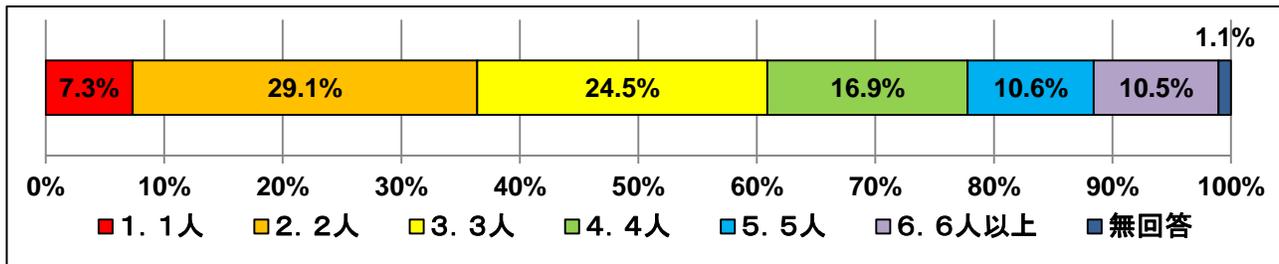


質問	今回		H23		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
1. 笹子地区	47人	5.6%	38人	4.4%	1.2
2. 初狩地区	58人	6.9%	74人	8.7%	▲ 1.8
3. 真木地区	58人	6.9%	59人	6.9%	0.0
4. 大月地区	153人	18.1%	162人	18.9%	▲ 0.8
5. 賑岡地区	113人	13.4%	99人	11.6%	1.8
6. 七保地区	76人	9.0%	92人	10.8%	▲ 1.8
7. 瀬戸地区	16人	1.9%	17人	2.0%	▲ 0.1
8. 猿橋地区	168人	19.9%	152人	17.8%	2.1
9. 富浜地区	121人	14.3%	106人	12.4%	1.9
10. 梁川地区	30人	3.5%	40人	4.7%	▲ 1.2
無回答	6人	0.7%	16人	1.9%	▲ 1.2

項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 笹子地区	4.9%	5.8%	8.0%	4.8%	7.0%	3.9%	0.0%
2. 初狩地区	4.9%	5.8%	5.3%	3.4%	7.6%	10.6%	20.0%
3. 真木地区	4.9%	8.3%	9.7%	5.4%	4.1%	8.7%	0.0%
4. 大月地区	23.2%	20.0%	18.6%	15.0%	19.2%	16.4%	0.0%
5. 賑岡地区	13.4%	15.0%	18.6%	16.3%	10.5%	10.1%	0.0%
6. 七保地区	13.4%	5.0%	7.1%	15.0%	8.1%	7.2%	0.0%
7. 瀬戸地区	1.2%	1.7%	0.9%	1.4%	3.5%	1.9%	0.0%
8. 猿橋地区	18.3%	23.3%	20.4%	18.4%	19.8%	19.8%	0.0%
9. 富浜地区	12.2%	11.7%	8.8%	15.6%	14.5%	18.8%	0.0%
10. 梁川地区	3.7%	3.3%	2.7%	4.8%	5.2%	1.9%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	80.0%

「居住地区」については、「猿橋地区」が19.9%で最も多く、次に「大月地区」が18.1%、「富浜地区」が14.3%、「賑岡地区」が13.4%となっています。

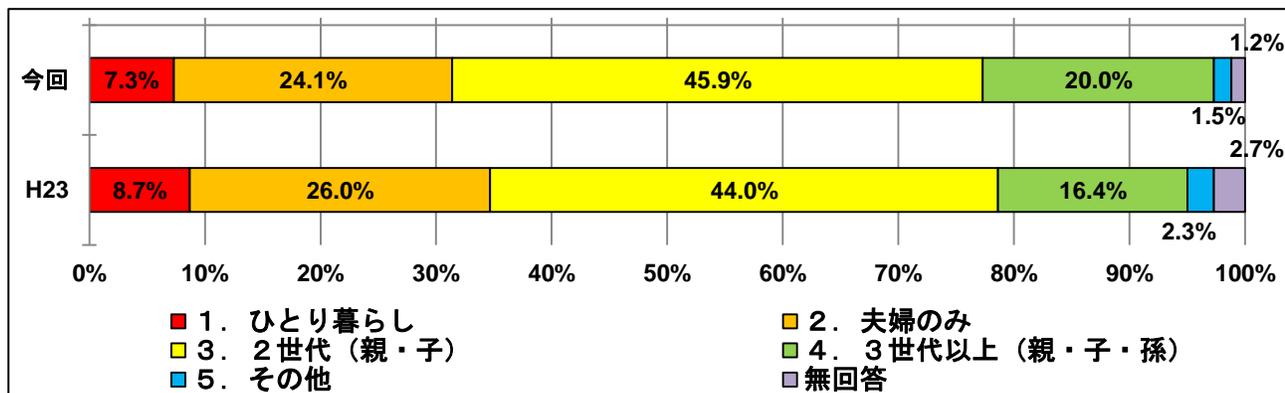
問1-4 現在同居している家族数について<ご本人も含めて>



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 1人	62人	7.3%	0.0%	2.5%	5.3%	6.8%	13.4%	9.7%	0.0%
2. 2人	246人	29.1%	13.4%	7.5%	8.0%	23.8%	41.9%	53.1%	0.0%
3. 3人	207人	24.5%	23.2%	38.3%	17.7%	27.9%	25.0%	17.9%	20.0%
4. 4人	143人	16.9%	30.5%	29.2%	28.3%	20.4%	8.1%	3.4%	0.0%
5. 5人	90人	10.6%	19.5%	14.2%	18.6%	12.2%	6.4%	3.4%	0.0%
6. 6人以上	89人	10.5%	12.2%	8.3%	21.2%	8.8%	4.7%	11.6%	0.0%
無回答	9人	1.1%	1.2%	0.0%	0.9%	0.0%	0.6%	1.0%	80.0%

「現在同居している家族数」については、「2人」が29.1%と最も多く、次に「3人」で24.5%であります。年齢層別にみると、「20歳代」が「4人」で30.5%、「30歳代」が「3人」で38.3%、「40歳代」が「4人」で28.3%、「50歳代」が「3人」で27.9%、「60歳代」が「2人」で41.9%、「70歳以上」が「2人」で53.1%となっています。

問 1 - 5 家族構成について



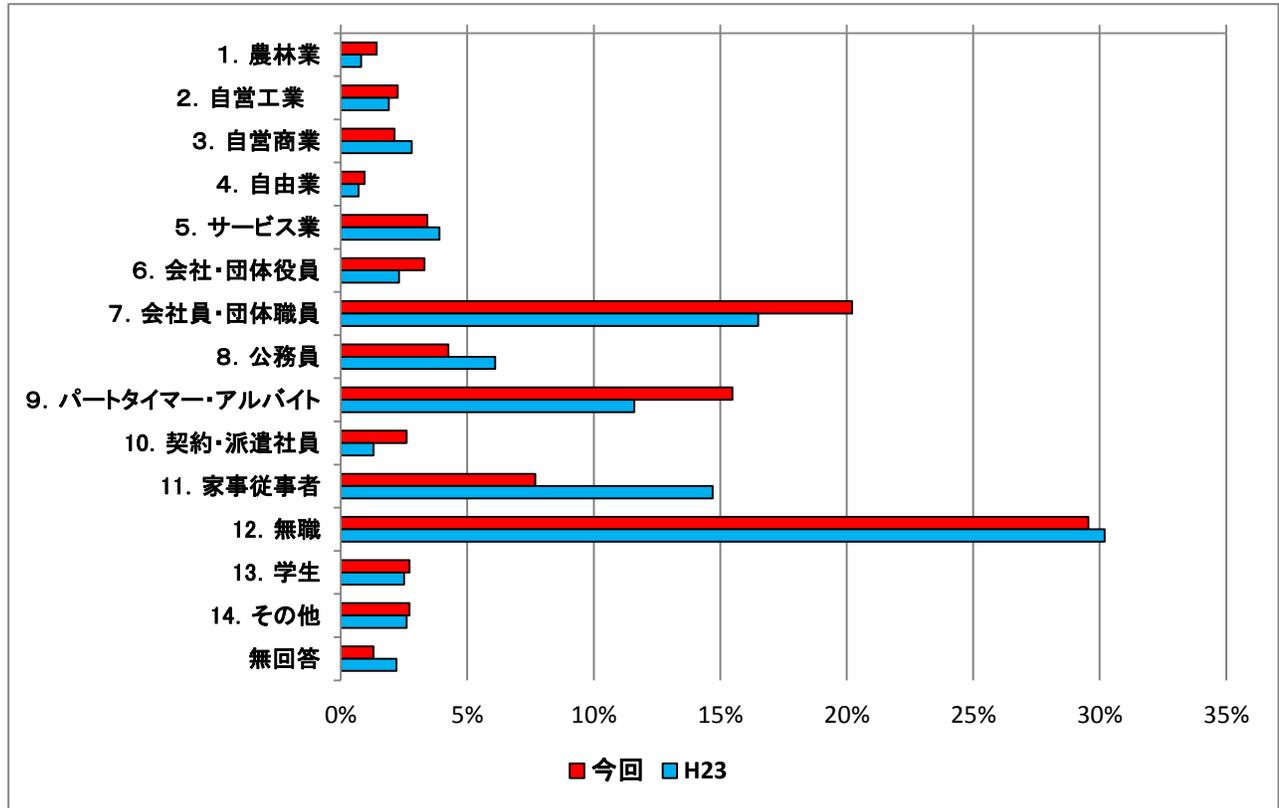
質問	今回		H23		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
1. ひとり暮らし	62人	7.3%	74人	8.7%	▲ 1.4
2. 夫婦のみ	204人	24.1%	222人	26.0%	▲ 1.9
3. 2世代 (親・子)	388人	45.9%	376人	44.0%	1.9
4. 3世代以上 (親・子・孫)	169人	20.0%	140人	16.4%	3.6
5. その他	13人	1.5%	20人	2.3%	▲ 0.8
無回答	10人	1.2%	23人	2.7%	▲ 1.5

質問	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. ひとり暮らし	1.2%	2.5%	5.3%	6.1%	12.2%	10.6%	0.0%
2. 夫婦のみ	6.1%	3.3%	3.5%	15.0%	43.0%	45.9%	0.0%
3. 2世代 (親・子)	57.3%	70.0%	61.9%	55.1%	31.4%	24.6%	20.0%
4. 3世代以上 (親・子・孫)	32.9%	23.3%	29.2%	21.8%	12.2%	13.5%	0.0%
5. その他	1.2%	0.0%	0.0%	1.4%	1.2%	3.9%	0.0%
無回答	1.2%	0.8%	0.0%	0.7%	0.0%	1.4%	80.0%

その他：親・孫、兄弟、姉妹、親・子・義弟・妹

「家族構成」については、「2世代 (親・子)」が 45.9%と最も多く、次に「夫婦のみ」が 24.1%となっています。平成 23 年時と比較して「3 世代以上 (親・子・孫)」が 3.6 ポイント増加しています。また、「60 歳代以上」の半数近くが「夫婦のみ」と回答しています。

問 1 - 6 職業について



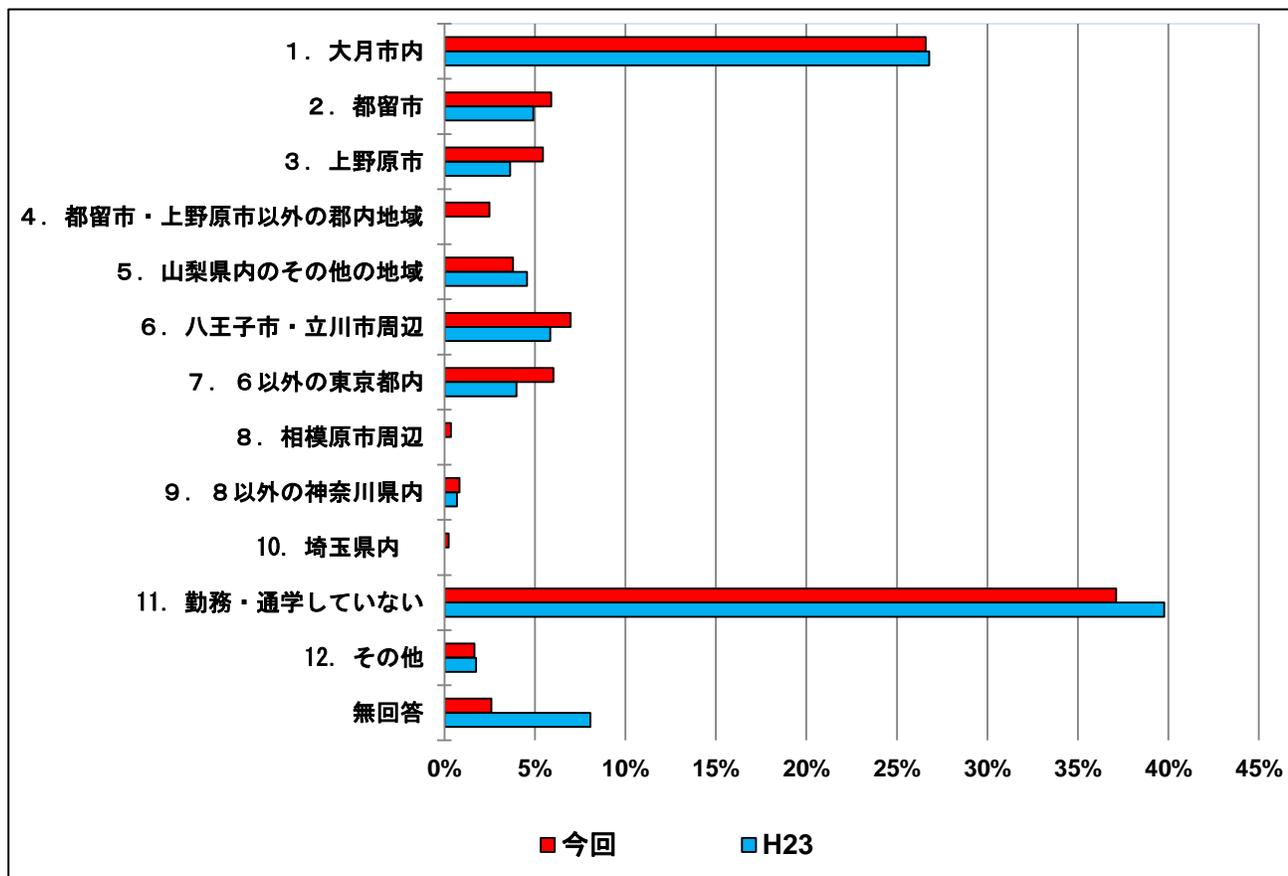
質問	今回		H23		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
1. 農林業	12人	1.4%	7人	0.8%	0.6
2. 自営工業	19人	2.2%	16人	1.9%	0.3
3. 自営商業	18人	2.1%	24人	2.8%	▲ 0.7
4. 自由業	8人	0.9%	6人	0.7%	0.2
5. サービス業	29人	3.4%	33人	3.9%	▲ 0.5
6. 会社・団体役員	28人	3.3%	20人	2.3%	1.0
7. 会社員・団体職員	171人	20.2%	141人	16.5%	3.7
8. 公務員	36人	4.3%	52人	6.1%	▲ 1.8
9. パートタイマー・アルバイト	131人	15.5%	99人	11.6%	3.9
10. 契約・派遣社員	22人	2.6%	11人	1.3%	1.3
11. 家事従事者	65人	7.7%	126人	14.7%	▲ 7.0
12. 無職	250人	29.6%	258人	30.2%	▲ 0.6
13. 学生	23人	2.7%	21人	2.5%	0.2
14. その他	23人	2.7%	22人	2.6%	0.1
無回答	11人	1.3%	19人	2.2%	▲ 0.9

項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 農林業	0.0%	0.8%	0.9%	0.0%	1.2%	3.9%	0.0%
2. 自営工業	0.0%	0.8%	3.5%	2.0%	2.3%	3.4%	0.0%
3. 自営商業	2.4%	1.7%	1.8%	0.7%	2.9%	2.9%	0.0%
4. 自由業	0.0%	3.3%	0.9%	0.0%	0.6%	1.0%	0.0%
5. サービス業	9.8%	5.0%	0.9%	5.4%	1.2%	1.9%	0.0%
6. 会社・団体役員	2.4%	2.5%	7.1%	4.8%	2.9%	1.4%	0.0%
7. 会社員・団体職員	22.0%	32.5%	37.2%	32.0%	13.4%	1.0%	0.0%
8. 公務員	7.3%	11.7%	3.5%	6.1%	1.7%	0.0%	0.0%
9. パートタイマー・アルバイト	12.2%	20.0%	26.5%	22.4%	15.7%	3.4%	0.0%
10. 契約・派遣社員	3.7%	4.2%	3.5%	2.7%	2.9%	0.5%	0.0%
11. 家事従事者	3.7%	4.2%	8.0%	8.2%	11.0%	7.7%	20.0%
12. 無職	8.5%	10.0%	4.4%	12.2%	39.5%	67.6%	0.0%
13. 学生	26.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14. その他	1.2%	2.5%	0.9%	2.7%	2.9%	4.3%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.9%	0.7%	1.7%	1.0%	80.0%

その他：家事と両親の介護、物流業経営、歯科医師、半農、福祉作業所、休職中、教諭、シルバー人材センターの仕事、タクシー運転手、僧侶

「職業について」は、「会社員・団体職員」が 20.2%と最も多く、次に「パートタイマー・アルバイト」が 15.5%で、平成 23 年時の 10.4%から 5.1 ポイント増加しています。また、「30 歳代」が 20.0%、「40 歳代」が 26.5%、「50 歳代」の 22.4%において、「パートタイマー・アルバイト」としています。また、「60 歳代」が 39.5%、「70 歳以上」が 67.6%で「無職」としています。

問 1 - 7 勤務地・通学地について



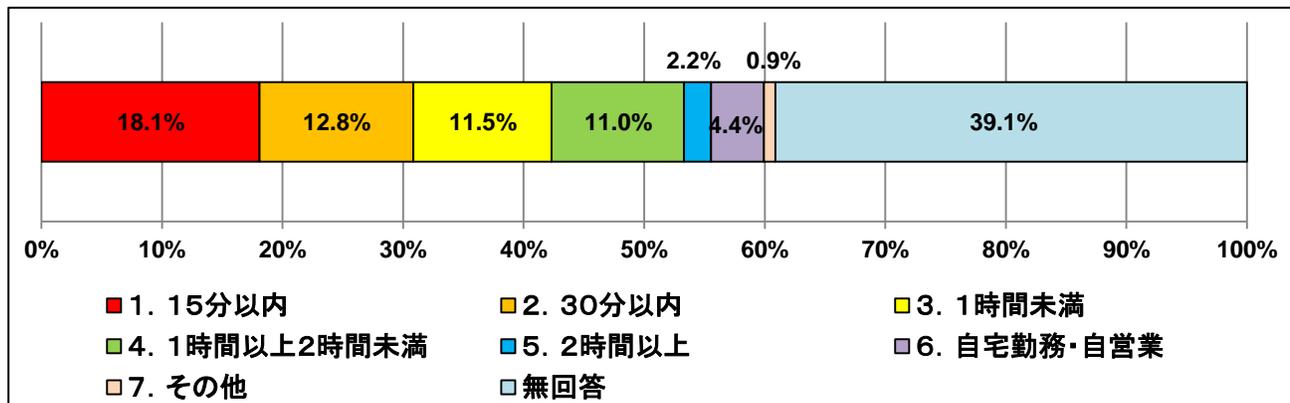
質問	今回		H23		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
1. 大月市内	225 人	26.6%	229 人	26.8%	▲ 0.2
2. 都留市	50 人	5.9%	42 人	4.9%	1.0
3. 上野原市	46 人	5.4%	31 人	3.6%	1.8
4. 都留市・上野原市以外の郡内地域	21 人	2.5%	-	-	-
5. 山梨県内のその他の地域	32 人	3.8%	39 人	4.6%	▲ 0.8
6. 八王子市・立川市周辺	59 人	7.0%	50 人	5.8%	1.2
7. 6以外の東京都内	51 人	6.0%	34 人	4.0%	2.0
8. 相模原市周辺	3 人	0.4%	-	-	-
9. 8以外の神奈川県内	7 人	0.8%	6 人	0.7%	0.1
10. 埼玉県内	2 人	0.2%	-	-	-
11. 勤務・通学していない	314 人	37.1%	340 人	39.8%	▲ 2.7
12. その他	14 人	1.7%	15 人	1.8%	▲ 0.1
無回答	22 人	2.6%	69 人	8.1%	▲ 5.5

項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 大月市内	15.9%	36.7%	46.9%	34.0%	22.7%	12.6%	0.0%
2. 都留市	4.9%	10.8%	11.5%	8.2%	3.5%	1.0%	0.0%
3. 上野原市	12.2%	4.2%	7.1%	8.8%	5.2%	0.5%	0.0%
4. 都留市・上野原市以外の郡内地域	3.7%	5.0%	3.5%	1.4%	2.9%	0.5%	0.0%
5. 山梨県内のその他の地域	6.1%	6.7%	6.2%	4.1%	2.3%	1.0%	0.0%
6. 八王子市・立川市周辺	13.4%	11.7%	7.1%	8.8%	5.8%	1.4%	0.0%
7. 6以外の東京都内	20.7%	7.5%	4.4%	9.5%	3.5%	0.0%	0.0%
8. 相模原市周辺	2.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9. 8以外の神奈川県内	3.7%	1.7%	0.0%	0.7%	0.6%	0.0%	0.0%
10. 埼玉県内	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11. 勤務・通学していない	12.2%	14.2%	11.5%	20.4%	49.4%	76.3%	20.0%
12. その他	2.4%	0.8%	0.9%	1.4%	1.7%	2.4%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.9%	2.7%	2.3%	4.3%	80.0%

その他：静岡県御殿場市

「勤務地・通学地」については、問1-6の「職業について」は「無職」との回答が多いためか、「通勤・通学していない」が37.1%と最も多く、次に「大月市内」が26.6%となっています。また、「八王子市・立川市周辺」が7.0%で、県外に通勤・通学している方は16.1%となっています。なお、「20歳代」で45.0%、「30歳代」は22.5%が県外に通勤・通学しています。

問1-8 通勤時間・通学時間について

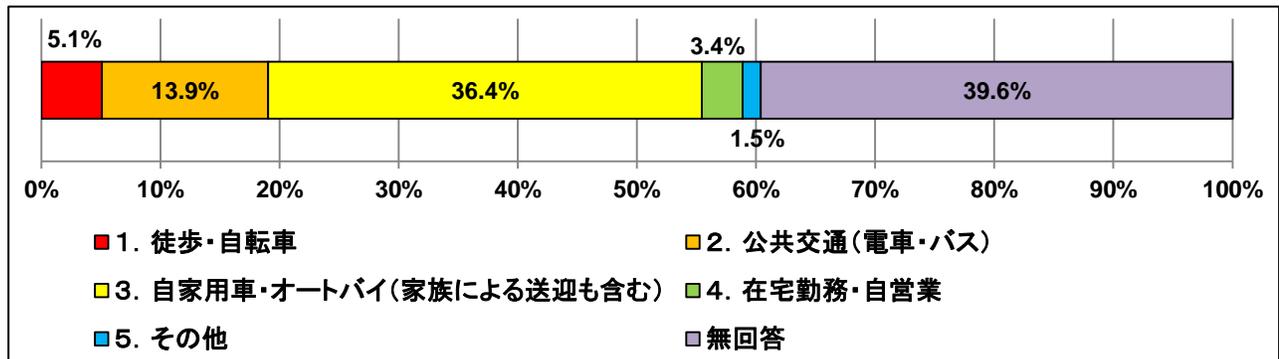


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 15分以内	153人	18.1%	9.8%	24.2%	34.5%	21.8%	18.0%	6.8%	0.0%
2. 30分以内	108人	12.8%	17.1%	20.0%	22.1%	17.0%	9.3%	1.9%	0.0%
3. 1時間未満	97人	11.5%	20.7%	20.8%	15.0%	15.0%	7.0%	1.9%	0.0%
4. 1時間以上2時間未満	93人	11.0%	28.0%	16.7%	8.8%	16.3%	8.7%	0.5%	0.0%
5. 2時間以上	19人	2.2%	8.5%	1.7%	2.7%	3.4%	0.6%	0.5%	0.0%
6. 在宅勤務・自営業	37人	4.4%	2.4%	3.3%	3.5%	4.1%	4.7%	6.3%	0.0%
7. その他	8人	0.9%	1.2%	1.7%	1.8%	0.7%	0.0%	1.0%	0.0%
無回答	331人	39.1%	12.2%	11.7%	11.5%	21.8%	51.7%	81.2%	100.0%

その他：定まっていない

「通勤時間・通学時間」については、「15分以内」が18.1%と最も多く、次に「30分以内」が12.8%と比較的住まいから近い場所となっています。しかし、「20歳代」の28.0%が「1時間以上2時間未満」との回答となっています。

問1-9 主な通勤・通学手段について<通常の場合でお答えください>

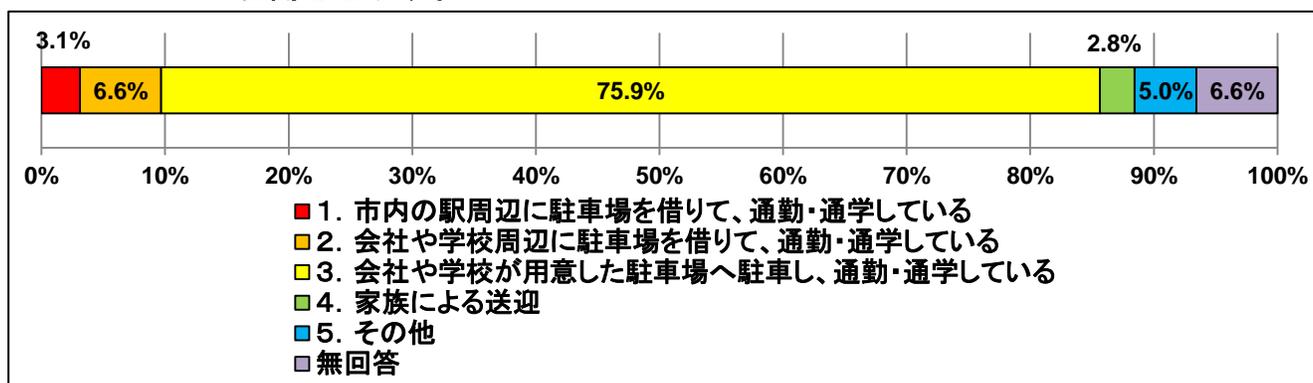


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 徒歩・自転車	43人	5.1%	3.7%	3.3%	10.6%	6.1%	5.2%	2.9%	0.0%
2. 公共交通(電車・バス)	118人	13.9%	45.1%	20.0%	10.6%	19.7%	7.6%	1.4%	0.0%
3. 自家用車・オートバイ(家族による送迎も含む)	308人	36.4%	32.9%	59.2%	60.2%	48.3%	30.2%	9.2%	0.0%
4. 在宅勤務・自営業	29人	3.4%	2.4%	3.3%	3.5%	4.1%	2.9%	3.9%	0.0%
5. その他	13人	1.5%	1.2%	0.0%	3.5%	1.4%	1.2%	1.9%	0.0%
無回答	335人	39.6%	14.6%	14.2%	11.5%	20.4%	52.9%	80.7%	100.0%

その他車にて：社用通勤、会社の送迎車

「主な通勤・通学的手段」については、「自家用車・オートバイ(家族による送迎も含む)」による通勤・通学が36.4%と最も多くなっています。

問 1-9-2 「問 1-9 で 3. に ○ を付けた方」に駐車場の利用状況について
お聞きします。

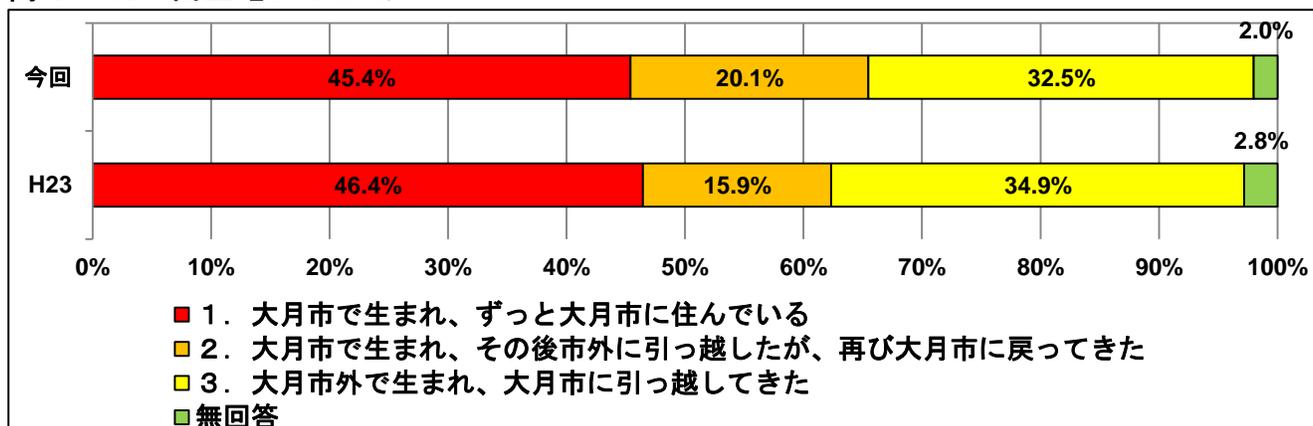


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1. 市内の駅周辺に駐車場を借りて、通勤・通学している	10人	3.1%	12.1%	1.4%	2.9%	1.4%	1.8%	5.0%
2. 会社や学校周辺に駐車場を借りて、通勤・通学している	21人	6.6%	6.1%	6.9%	4.3%	8.5%	5.5%	10.0%
3. 会社や学校が用意した駐車場へ駐車し、通勤・通学している	243人	75.9%	60.6%	84.7%	81.2%	80.3%	67.3%	60.0%
4. 家族による送迎	9人	2.8%	6.1%	2.8%	0.0%	1.4%	3.6%	10.0%
5. その他	16人	5.0%	6.1%	4.2%	4.3%	2.8%	9.1%	5.0%
無回答	21人	6.6%	9.1%	0.0%	7.2%	5.6%	12.7%	10.0%

その他：自宅近くに借りている、現在育休中にて駐車場の利用なし、学校近くの知り合いの駐車場を借りている、現場、自店駐車場、会社の土地

「駐車場の利用状況」については、「自家用車・オートバイ（家族による送迎も含む）」で通勤・通学しているうち、「会社や学校が用意した駐車場へ駐車し、通勤・通学している」が75.9%と最も多くなっています。

問 1-10 出生地について

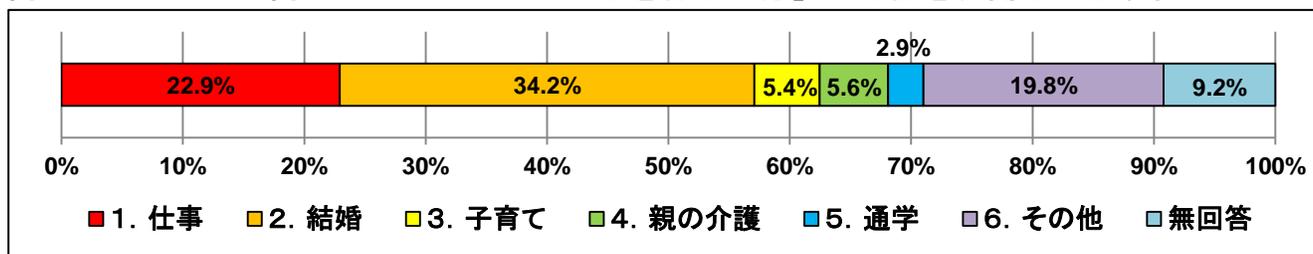


質問	今回		H23		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
1. 大月市で生まれ、ずっと大月市に住んでいる	384人	45.4%	397人	46.4%	▲ 1.0
2. 大月市で生まれ、その後市外に引っ越したが、再び大月市に戻ってきた	170人	20.1%	136人	15.9%	4.2
3. 大月市外で生まれ、大月市に引っ越してきた	275人	32.5%	298人	34.9%	▲ 2.4
無回答	17人	2.0%	24人	2.8%	▲ 0.8

質問	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 大月市で生まれ、ずっと大月市に住んでいる	54.9%	35.0%	37.2%	38.8%	48.8%	54.6%	20.0%
2. 大月市で生まれ、その後市外に引っ越したが、再び大月市に戻ってきた	17.1%	26.7%	24.8%	29.3%	18.0%	10.6%	0.0%
3. 大月市外で生まれ、大月市に引っ越してきた	26.8%	37.5%	38.1%	31.3%	32.0%	30.9%	0.0%
無回答	1.2%	0.8%	0.0%	0.7%	1.2%	3.9%	80.0%

「出生地」については、「大月市で生まれ、ずっと大月市に住んでいる」が45.4%と最も多く、「大月市で生まれ、その後市外に引っ越したが、再び大月市に戻ってきた」を含めると、大月市出身者が65.5%となっています。また、「大月市外で生まれ、大月市に引っ越してきた」が、32.5%となっています。特に「30歳代」が37.5%、「40歳代」が38.1%と各年代層より5%程度高くなっています。

問1-10-2 「問1-10で2.3.に○を付けた方」に理由をお聞きします。

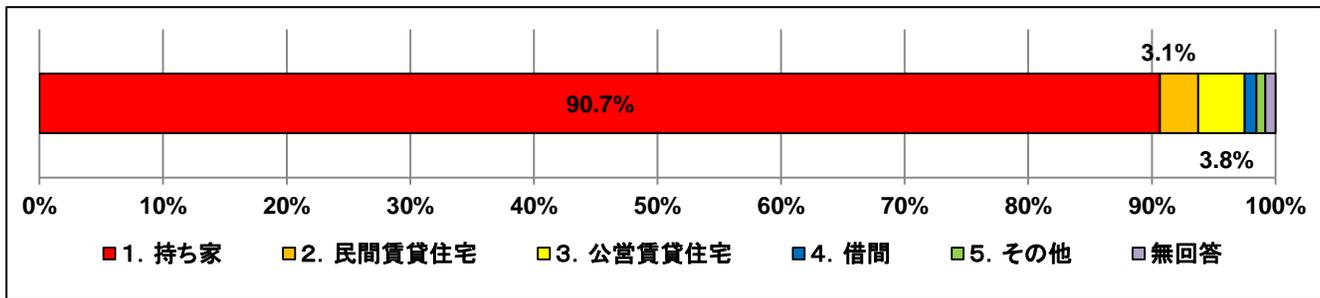


質問	回答数	比率	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 仕事	102人	22.9%	45.5%	16.0%	37.0%	20.0%	24.2%	13.2%	38.9%	9.4%	36.1%	14.0%	35.9%	14.9%
2. 結婚	152人	34.2%	0.0%	28.0%	18.5%	42.0%	18.2%	60.5%	22.2%	45.3%	19.4%	44.0%	10.3%	53.2%
3. 子育て	24人	5.4%	9.1%	0.0%	0.0%	6.0%	15.2%	7.9%	8.3%	7.5%	2.8%	6.0%	0.0%	2.1%
4. 親の介護	25人	5.6%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	12.1%	2.6%	11.1%	7.5%	13.9%	4.0%	5.1%	4.3%
5. 通学	13人	2.9%	9.1%	16.0%	11.1%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. その他	88人	19.8%	18.2%	28.0%	25.9%	24.0%	21.2%	7.9%	8.3%	20.8%	19.4%	20.0%	30.8%	14.9%
無回答	41人	9.2%	18.2%	8.0%	7.4%	2.0%	9.1%	7.9%	11.1%	5.7%	8.3%	12.0%	17.9%	10.6%

その他：親の故郷、静かで環境が良かったため、大月市内に家建てたので、東京から親のUターンにあわせて大月市に転入、親と同居するため、父親の仕事の関係、息子家族と住むため、家を継ぐため、健康を考え大月の自然を選び移住、通勤に便利、戦時における疎開、夫の転勤、空気が良いので、離婚、親の死亡

問1-10で「大月市で生まれ、その後市外に引っ越したが、再び大月市に戻ってきた」「大月市外で生まれ、大月市に引っ越してきた」と回答した中で、「結婚」を理由としているが34.2%と最も多く、「40歳代の女性」は60.5%となっています。次に、「仕事」を理由としているが22.9%となっています。また、「親の介護」を理由とするが、「40歳代」から増加しています。

問1-11 あなたがお住いの住宅は、次のうちどれに該当しますか。



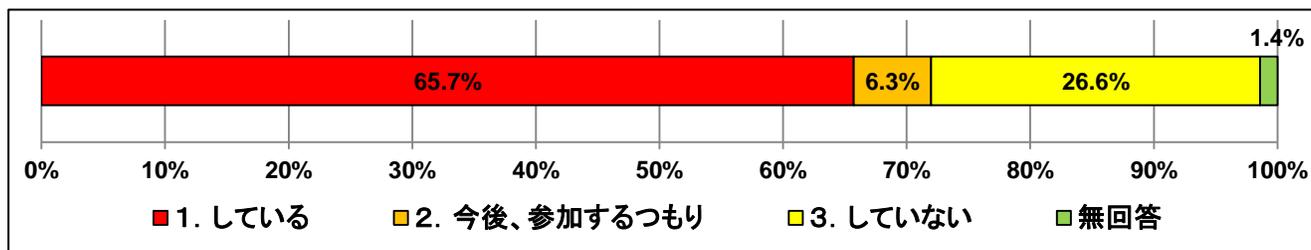
質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 持ち家	767人	90.7%	80.5%	86.7%	84.1%	93.2%	97.1%	95.2%	20.0%
2. 民間賃貸住宅	26人	3.1%	7.3%	5.8%	5.3%	2.7%	1.2%	0.5%	0.0%
3. 公営賃貸住宅	32人	3.8%	6.1%	5.0%	8.8%	2.0%	0.6%	3.4%	0.0%
4. 借間	8人	0.9%	3.7%	0.8%	0.9%	0.7%	0.6%	0.5%	0.0%
5. その他	6人	0.7%	1.2%	0.8%	0.9%	1.4%	0.6%	0.0%	0.0%
無回答	7人	0.8%	1.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	80.0%

その他：社宅

「あなたがお住まいの住宅」については、「持ち家」が90.7%と最も多く、「60歳代」が97.1%、「70歳以上」は95.2%となっています。

問2 大月の人づくりについてお聞きします。それぞれ該当する番号1つに○をつけてください。

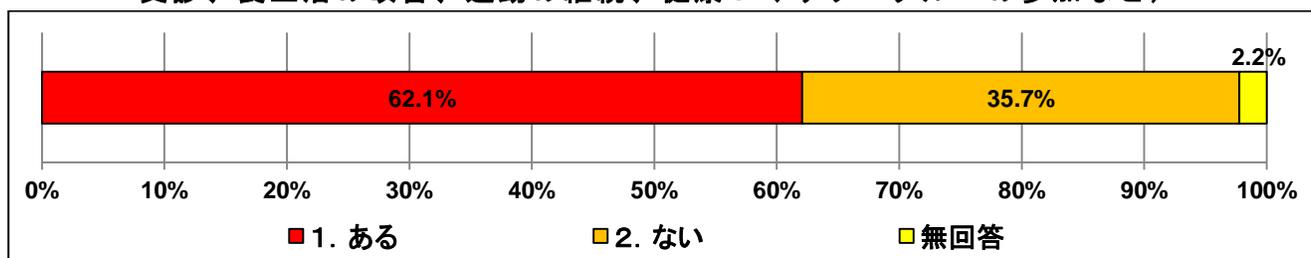
問2-1 あなたは、自治会活動や行事に参加していますか。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. している	556人	65.7%	18.3%	42.5%	66.4%	76.2%	82.0%	77.8%	20.0%
2. 今後、参加するつもり	53人	6.3%	11.0%	11.7%	9.7%	5.4%	3.5%	2.4%	0.0%
3. していない	225人	26.6%	69.5%	45.8%	23.9%	17.0%	14.0%	17.9%	0.0%
無回答	12人	1.4%	1.2%	0.0%	0.0%	1.4%	0.6%	1.9%	80.0%

「自治会活動や行事に参加していますか。」については、「参加している」が65.7%と最も多くなっています。「60歳代」が82.0%で高い参加率となっていますが、「20歳代」が69.5%、「30歳代」が45.8%で「参加していない」となっています。年齢層により大きな差があり、「30歳代」では「参加している」が42.5%と割合が高くなりますが、「参加している」「参加していない」は概ね同じ割合となっています。若年層に対し、コミュニティの重要性をPRし、自治会活動や地域の行事に積極的な参加を促していくことが必要であると思われます。

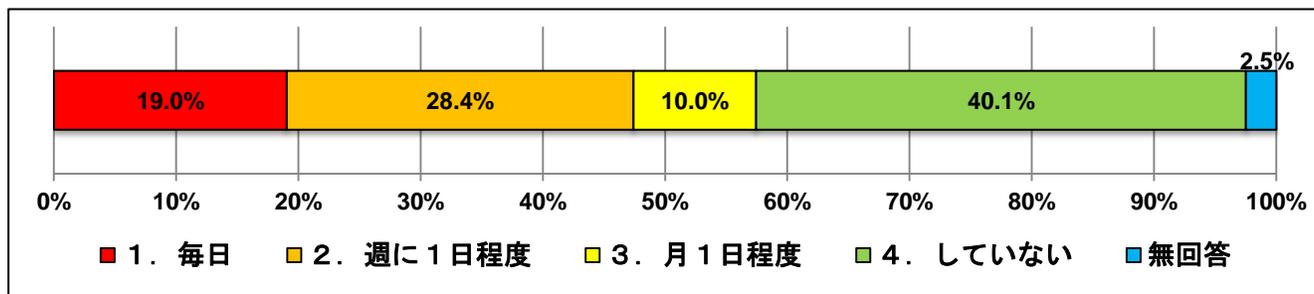
問2-2 あなたは、現在、健康のために続けていることがありますか。（例：健康診断の受診、食生活の改善、運動の継続、健康づくりサークルへの参加など）



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1. ある	525人	62.1%	37.8%	44.2%	54.0%	65.3%	77.9%	71.5%
2. ない	302人	35.7%	62.2%	55.8%	46.0%	33.3%	20.9%	22.7%
無回答	19人	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	1.2%	5.8%

「健康のために続けていることがありますか。」については、「続けていることがある」が62.1%と最も多くなっています。年齢を重ねると、健康に心がけている割合が高くなっています。年齢層でみると「60歳代」が77.9%、「70歳以上」が71.5%となっています。

問 2-3 あなたは、現在、スポーツや運動（軽いウォーキングを含む）をどの程度行っていますか。

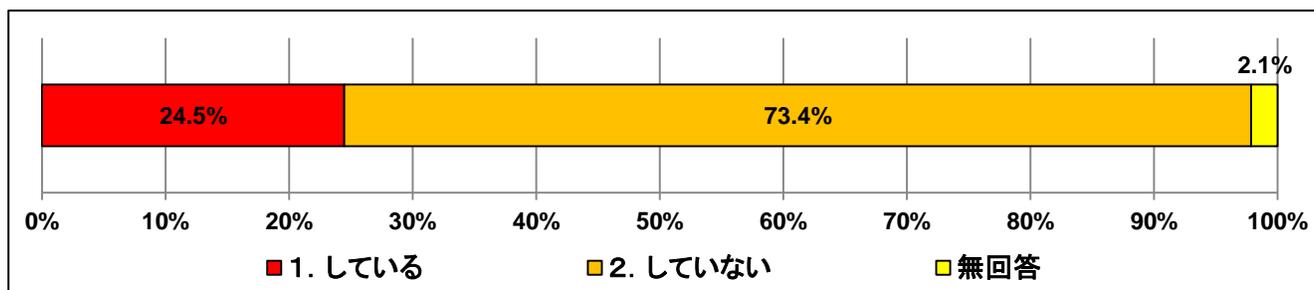


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 毎日	161人	19.0%	7.3%	6.7%	7.1%	13.6%	24.4%	36.7%	20.0%
2. 週に1日程度	240人	28.4%	26.8%	25.0%	19.5%	27.2%	38.4%	28.5%	20.0%
3. 月1日程度	85人	10.0%	22.0%	8.3%	13.3%	11.6%	8.7%	4.8%	0.0%
4. していない	339人	40.1%	41.5%	57.5%	59.3%	46.3%	27.9%	25.6%	0.0%
無回答	21人	2.5%	2.4%	2.5%	0.9%	1.4%	0.6%	4.3%	60.0%

「スポーツや運動（軽いウォーキングを含む）をどの程度行っていますか。」については、「毎日」が19.0%で、年齢層別にみると「70歳以上」が36.7%と最も多くなっており、「20歳代」が7.3%、「30歳代」が6.7%、「40歳代」は7.1%にとどまっています。

問 2-4 あなたは、現在、何らかの学習をしていますか。

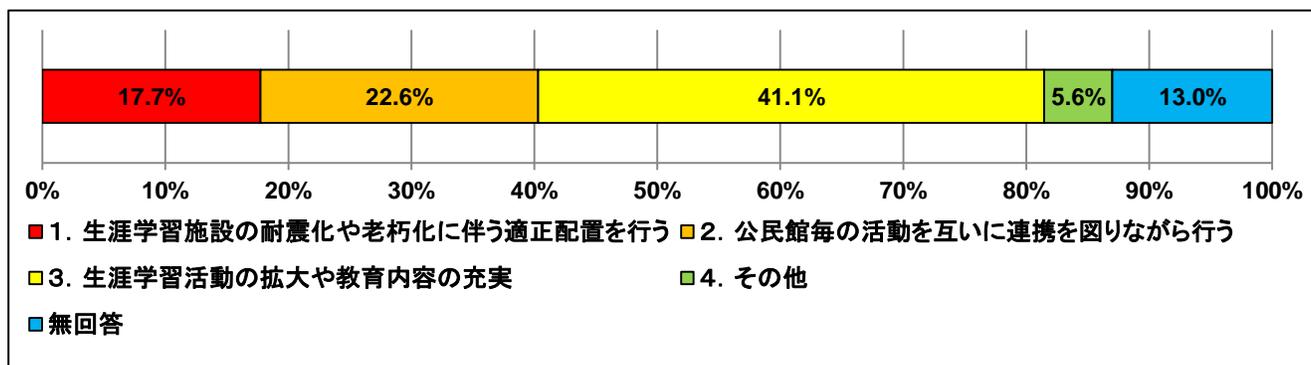
（例：英会話、書道、手芸、陶芸、俳句、パソコン教室、歴史探訪など）



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. している	207人	24.5%	31.7%	17.5%	8.8%	21.1%	34.9%	28.5%	0.0%
2. していない	621人	73.4%	68.3%	81.7%	90.3%	78.2%	65.1%	65.7%	40.0%
無回答	18人	2.1%	0.0%	0.8%	0.9%	0.7%	0.0%	5.8%	60.0%

「何らかの学習をしていますか。」については、「学習している」が24.5%、「学習していない」が73.4%となっています。「している」では、「60歳代」が34.9%と最も多く、次に「20歳代」が31.7%となっています。仕事や育児の中心世代となる「30歳代」は17.5%、「40歳代」が8.8%、「50歳代」が21.1%となっています。

問 2-5 地域における生涯学習活動が多様化している中で、これからは何が求められると考えますか。



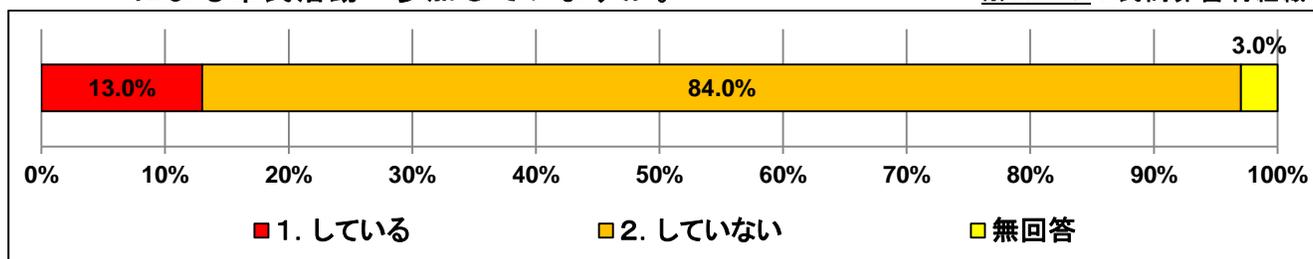
質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 生涯学習施設の耐震化や老朽化に伴う適正配置を行う	150人	17.7%	25.6%	23.3%	15.9%	18.4%	15.1%	14.5%	0.0%
2. 公民館毎の活動を互いに連携を図りながら行う	191人	22.6%	14.6%	15.8%	21.2%	15.0%	28.5%	31.4%	0.0%
3. 生涯学習活動の拡大や教育内容の充実	348人	41.1%	50.0%	45.8%	54.0%	53.1%	39.0%	21.7%	20.0%
4. その他	47人	5.6%	4.9%	6.7%	4.4%	5.4%	5.8%	5.8%	0.0%
無回答	110人	13.0%	4.9%	8.3%	4.4%	8.2%	11.6%	26.6%	80.0%

その他：施設の充実、活動場所、スポーツジム、スイミング施設など使用しやすくしてほしい、ボランティア等お金をかけずにできるソフト面を重視、高齢者よりこれから生きていくことになる子ども若年に比重をおきたい、学習は自分でするもの、都会等と比べない大月市独自のもの、自己で活動、市民へのアピール・告知、高齢者・障害者も含め参加しやすく継続して参加できる内容、生涯学習活動は個人が民間で行うべきと考える、富士吉田市のコミュニティセンターのような無料で使える施設を作る、健康に関する内容、グローバル化に対応した人材育成の機会の提供、地域における指導者の育成、生涯学習活動の広報活動、自由に学べる環境、緩やかに規模を縮小、公民館利用可能範囲の拡大

「地域における生涯学習活動が多様化している中で、これからは何が求められると考えますか。」については、「生涯学習活動の拡大や教育内容の充実」が 41.1%となっています。「70歳以上」は、「公民館毎の活動を互いに連携を図りながら行う」が 31.4%となっています。

問 2-6 地域で協働する社会を構築するために、ボランティアやNPO※
による市民活動へ参加していますか。

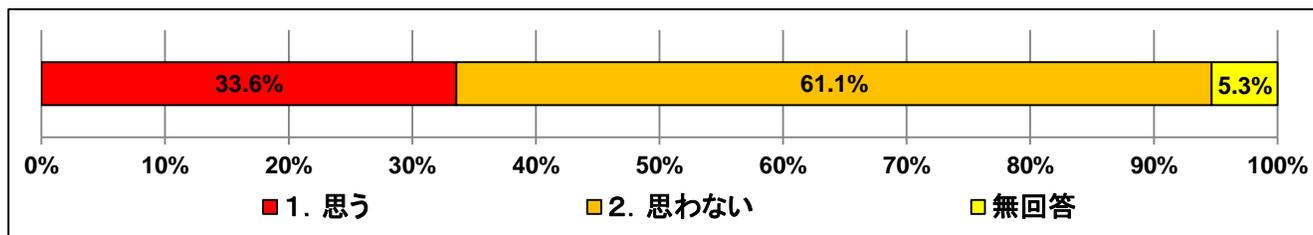
※NPO：民間非営利組織



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. している	110人	13.0%	0.0%	9.2%	8.8%	10.9%	18.6%	19.8%	0.0%
2. していない	711人	84.0%	100.0%	90.0%	91.2%	87.8%	77.9%	73.9%	40.0%
無回答	25人	3.0%	0.0%	0.8%	0.0%	1.4%	3.5%	6.3%	60.0%

「地域で協働する社会を構築するために、ボランティアやNPOによる市民活動へ参加していますか。」については、「参加していない」が、84.0%となっています。

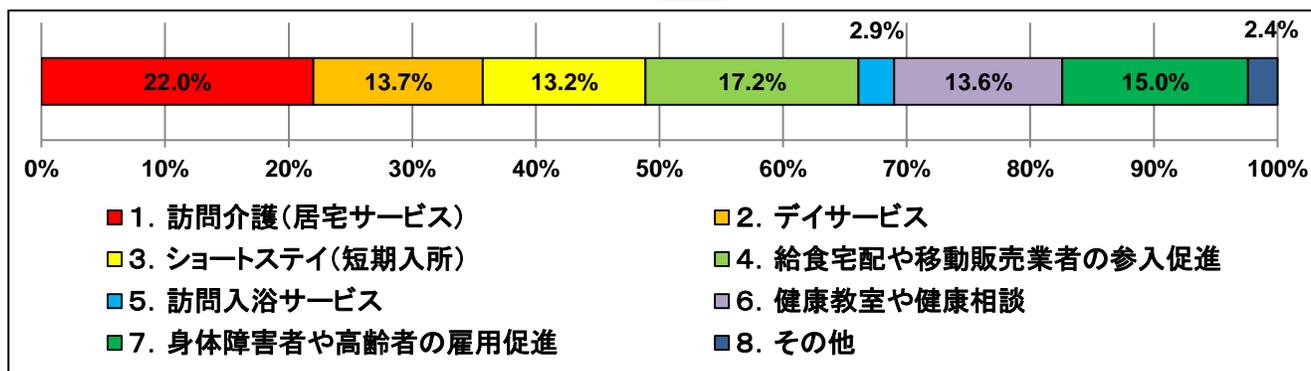
問 2-7 あなたは、家庭や地域や職場など社会のさまざまな分野で、男女が
平等に扱われていると思いますか。



質問	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1. 思う	36.7%	40.4%	34.0%	22.9%	26.8%	33.3%	52.4%	23.8%	42.4%	17.2%	46.8%	32.1%
2. 思わない	63.3%	59.6%	64.0%	74.3%	73.2%	66.7%	47.6%	67.9%	54.1%	78.2%	45.7%	51.8%
無回答	0.0%	0.0%	2.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	3.5%	4.6%	7.4%	16.1%

「家庭や地域や職場など社会のさまざまな分野で、男女が平等に扱われていると思いますか。」については、「思わない」が、61.1%となっており、「思う」の33.6%を上回っています。「50歳代の男性」については、「思う」が52.4%となっています。

問 2-8 あなたは、大月市が高齢者等福祉のまちづくりを推進するために必要だと思うサービスは何ですか。2つ選んでください。



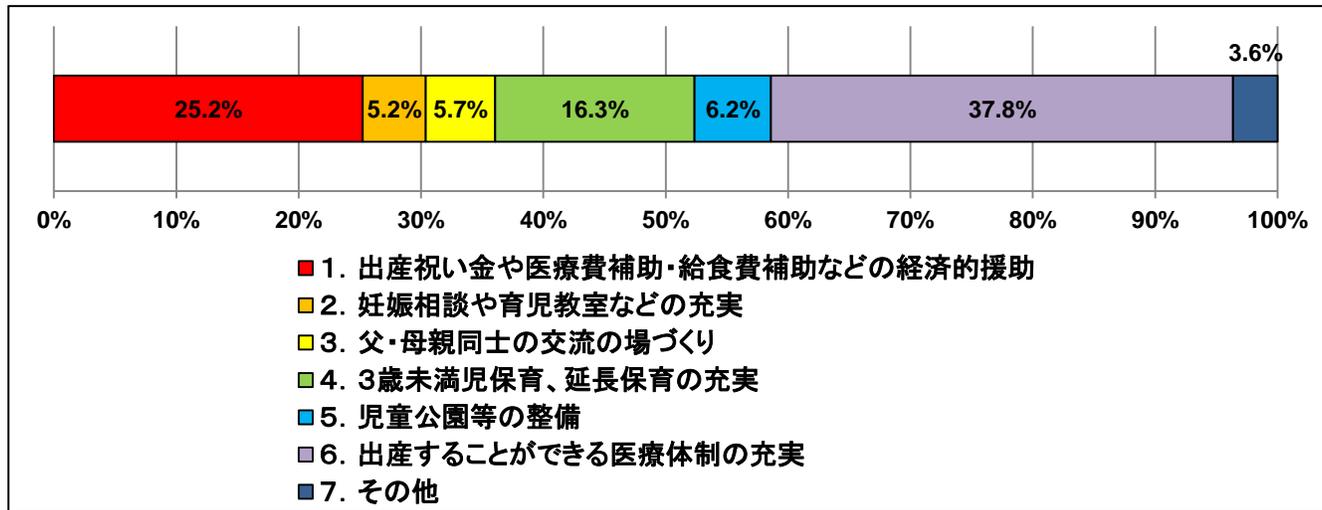
質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 訪問介護(居宅サービス)	351人	22.0%	41.5%	35.8%	40.7%	41.5%	39.0%	47.8%	20.0%
2. デイサービス	219人	13.7%	35.4%	30.0%	27.4%	30.6%	18.6%	21.7%	20.0%
3. ショートステイ(短期入所)	210人	13.2%	19.5%	22.5%	33.6%	33.3%	22.7%	19.8%	0.0%
4. 給食宅配や移動販売業者の参入促進	275人	17.2%	25.6%	35.0%	31.0%	30.6%	36.6%	32.9%	20.0%
5. 訪問入浴サービス	46人	2.9%	3.7%	6.7%	5.3%	2.7%	5.8%	7.2%	0.0%
6. 健康教室や健康相談	217人	13.6%	28.0%	18.3%	19.5%	25.2%	31.4%	28.0%	20.0%
7. 身体障害者や高齢者の雇用促進	240人	15.0%	30.5%	37.5%	27.4%	28.6%	32.6%	19.8%	0.0%
8. その他	38人	2.4%	7.3%	6.7%	10.6%	2.0%	3.5%	1.4%	0.0%
合計	1,596人	100.0%							

※ 2項目選択のため合計人数が回答者数を上回る

その他：市福祉課主催で低額で散策体験、食事会など高齢の方を元気にさせて活動を出させることで結果的に医療費を減らせられるのではないかと、病院への移動方法、高齢者の福祉ばかりに重点を置くのはやめてほしい、入所施設の充実、市立病院受診科の拡大、年寄より若者の職場提供による介護者の充実、予防リハビリテーション、世代間の交流、特別養護老人ホーム、施設の充実、在宅医療機関の充実、大月市は高齢者の方が多く住まれているのでしかたないとは思いますが、もっと身体・知的障害者福祉にも注目してもらいたい、高齢者住宅サービス、道路の歩行者用歩道の確保、バリアフリー化、寝込んでしまう前の活動を活発にしたい、空き家を利用した介護施設、介護施設を増やしてもらいたい、年金で賄える金額で入所が出来る施設を増やしてほしい、高齢者のへき地地域の送迎等の交通手段・足の確保のサービス、高齢者の中には介護という言葉に抵抗がある人も多く、施設利用は嫌がると思うので、デイサービス以外に地域で利用できる環境のサービス拡充ももっと必要だと思う

「大月市が高齢者等福祉のまちづくりを推進するために必要だと思うサービスは何ですか。」については、「訪問介護（居宅サービス）」が22.0%と最も多くなっています。次に「給食宅配や移動販売業者の参入促進」が17.2%、「身体障害者や高齢者の雇用促進」が15.0%となっています。

問2-9 あなたは、大月市で子どもを育てるためには、何が必要だと思いますか。
2つ選んでください。



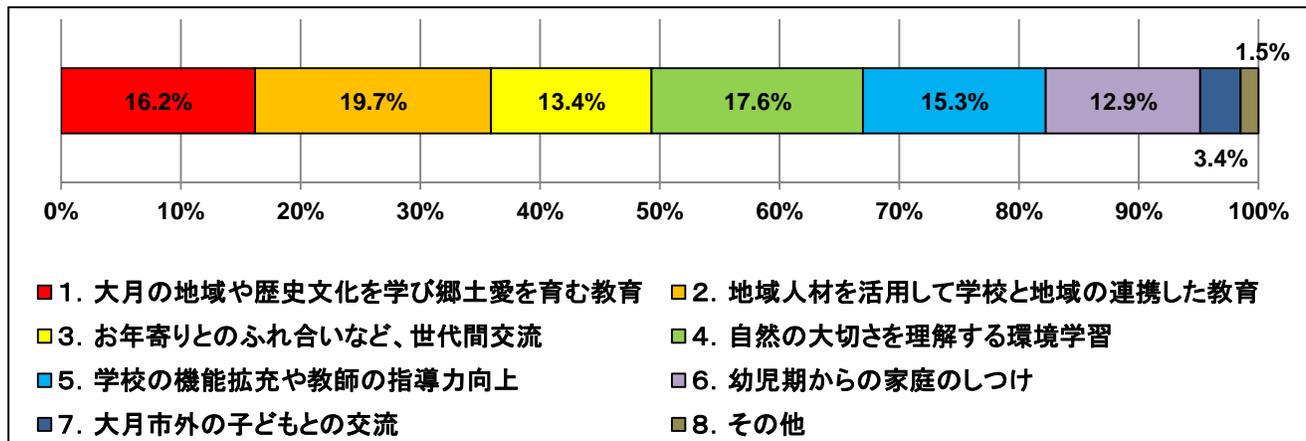
質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 出産祝い金や医療費補助・給食費補助などの経済的援助	396人	25.2%	59.8%	55.8%	60.2%	44.2%	40.7%	37.2%	0.0%
2. 妊娠相談や育児教室などの充実	81人	5.2%	11.0%	6.7%	4.4%	6.1%	12.8%	12.6%	40.0%
3. 父・母親同士の交流の場づくり	89人	5.7%	7.3%	5.8%	4.4%	8.8%	11.6%	18.4%	0.0%
4. 3歳未満児保育、延長保育の充実	256人	16.3%	30.5%	30.8%	30.1%	40.1%	29.7%	24.2%	0.0%
5. 児童公園等の整備	98人	6.2%	19.5%	14.2%	15.9%	10.9%	9.3%	6.8%	20.0%
6. 出産することができる医療体制の充実	593人	37.8%	54.9%	65.0%	66.4%	74.8%	77.9%	72.5%	20.0%
7. その他	57人	3.6%	8.5%	12.5%	12.4%	6.1%	4.7%	1.9%	0.0%
合計	1,570人	100.0%							

2項目選択のため合計人数が回答者数を上回る

その他：女性が働ける所、働く場所の確保、プライバシーの保護、出産後における職場への復帰、病院の小児科を増やす、不妊治療に対しての医療体制機関よりサポート・補助金、通学の便利さ、幼児教育の充実・施設の充実・整備、教育の充実、学童保育の時間延長、雇用対策（親がしっかり働けること）、小中学校の教育を地元で出来る事、乳幼児医療の充実、妊娠・出産したいと思える病院やそこに行くまでの交通手段の充実、二世帯の同居（父母・子だけでは子育ては難しい）、学校等の減少（合併）で住んでいる近くに学校がどんどんなくなっている、共働き世帯の乳幼児の居場所を増やす、良い保育園がなさすぎる、猿橋に保育園がない、親は選ぶところが少なすぎる、両親の働く場、若者が安心して働くことのできる企業の誘致、住宅確保のしやすさ

「子どもを育てるためには、何が重要だと思いますか。」については、「出産することができる医療体制の充実」が最も多く37.8%で、「50歳代」が74.8%、「60歳代」が77.9%、「70歳以上」が72.5%となっています。次に「出産祝い金や医療費補助・給食費補助などの経済的援助」が25.2%で、「20歳代」が59.8%、「30歳代」が55.8%。「40歳代」が60.2%となっています。次に「3歳未満児保育、延長保育の充実」が16.3%となっています。

問2-10 あなたは、子どもたちへ大月市のふるさと教育には何に力をいれるべきだと思いますか。2つ選んでください。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 大月の地域や歴史文化を学び郷土愛を育む教育	260人	16.2%	30.5%	26.7%	31.0%	26.5%	29.7%	37.7%	0.0%
2. 地域人材を活用して学校と地域の連携した教育	316人	19.7%	46.3%	37.5%	34.5%	51.0%	34.3%	28.5%	20.0%
3. お年寄りとのふれ合いなど、世代間交流	215人	13.4%	28.0%	30.8%	27.4%	21.8%	21.5%	26.6%	0.0%

4. 自然の大切さを理解する環境学習	283人	17.6%	37.8%	32.5%	35.4%	32.0%	32.6%	32.9%	40.0%
5. 学校の機能拡充や教師の指導力向上	245人	15.3%	28.0%	30.8%	34.5%	34.7%	33.1%	18.4%	0.0%
6. 幼児期からの家庭のしつけ	207人	12.9%	13.4%	22.5%	22.1%	19.0%	26.2%	33.8%	20.0%
7. 大月市外の子どもの交流	54人	3.4%	8.5%	8.3%	1.8%	7.5%	7.6%	5.3%	0.0%
8. その他	24人	1.5%	2.4%	4.2%	7.1%	1.4%	2.9%	1.0%	0.0%
合計	1,604人	100.0%							

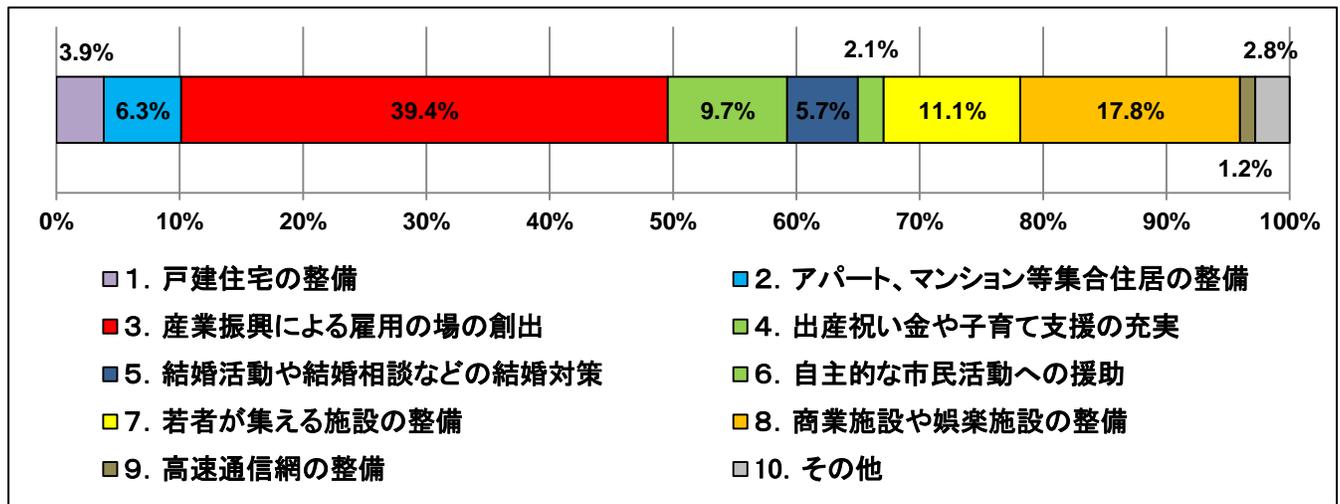
※2項目選択のため合計人数が回答者数を上回る

その他：国際交流、農業体験、ふるさとに固執しない、良質な教育環境を提供することで、結果的にはふるさとを大切に育てる子供に育つと思います、学力をつける教育、ふるさと教育の定義がわからない、親の指導、見聞録を広める為、小菅村同様中学校修学旅行時に海外へ、遠足で（扇山、猿橋公園等）とにかく大月市を歩くことをする、大月市内の仕事を学ぶというのはどうでしょうか、市内でどんな仕事に就けるか分かれば雇用につながるのでは、適正化により学校数が減少しているが、教育機材を積極的に導入して教育の充実を求めたい、保育園・幼稚園の近くに共に健康教室等の施設を造ってほしい、大月で生活できるための教育、多様な子どもたちを支援するために教員を増やしていくこと、いじめをなくす、礼儀作法（道徳）、これから起きそうな自然災害を想定して身を守ることの訓練、学校の裁量で活用できるふるさと教育に関する費用の増額、学校と地域は切り離して考えるべき、教育の場は俗化すべきではない、市内産業の実情の理解を促す

「子どもたちへ大月市のふるさと教育には何に力をいれるべきだと思いますか。」については、「地域人材を活用して学校と地域の連携した教育」が19.7%であり、「50歳代」が51.0%となっています。「大月市外の子どもの交流」は3.4%と少数になっています。



問 2-11 あなたは、大月市に若者が定住するため何が必要だと思いますか。
2つ選んでください。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 戸建住宅の整備	62人	3.9%	9.8%	63.6%	12.4%	8.2%	7.0%	4.3%	0.0%
2. アパート、マンション等集合住居の整備	101人	6.3%	25.6%	14.2%	19.5%	12.2%	7.0%	5.3%	0.0%
3. 産業振興による雇用の場の創出	635人	39.4%	50.0%	60.0%	74.3%	82.3%	83.7%	83.1%	20.0%
4. 出産祝い金や子育て支援の充実	156人	9.7%	28.0%	35.0%	13.3%	18.4%	12.8%	12.6%	20.0%
5. 結婚活動や結婚相談などの結婚対策	92人	5.7%	3.7%	3.3%	1.8%	10.9%	16.3%	18.8%	0.0%
6. 自主的な市民活動への援助	34人	2.1%	1.2%	1.7%	1.8%	1.4%	4.7%	8.7%	20.0%
7. 若者が集える施設の整備	178人	11.1%	22.0%	15.8%	15.9%	19.0%	20.3%	28.5%	20.0%
8. 商業施設や娯楽施設の整備	287人	17.8%	41.5%	43.3%	47.8%	37.4%	27.9%	21.3%	0.0%
9. 高速通信網の整備	20人	1.2%	4.9%	3.3%	0.0%	4.1%	1.7%	1.4%	0.0%
10. その他	45人	2.8%	7.3%	9.2%	8.8%	4.1%	5.2%	1.4%	0.0%
合計	1,610人	100.0%							

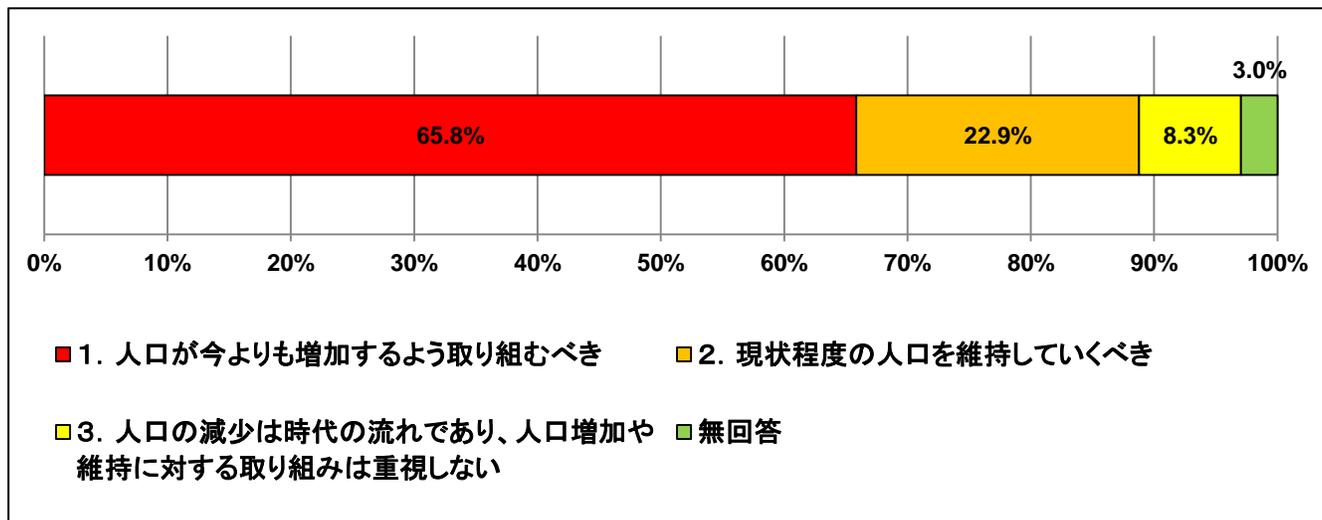
※ 2項目選択のため合計人数が回答者数を上回る

その他：教育費の補助、中央線の早朝特急の増便、都心への通勤通学の便を良くする、安い商店や服屋、働く職場がない、大月の風習の押しつけの排除、市行政の刷新、商業施設の誘致、医療施設の充実、減税、駅へのエレベーター設置、子供を育てやすい環境づくり、企業誘致を積極的に進める、大月でしかできないものがあれば興味をもった若者が集まるのでは、公共交通機関の充実、農業・物作りをしたい人へ土地・家の提供、市民税が都留市と比べて高いので考えてほしい、もっと活気あるまちづくりが必要だと思う、新築祝い金とか住宅ローンの金利負担とか市からの融資（低金利）、就職先の分野を増やす（スポーツ関係など）、インフラ整備、文化・芸術起業活動への支援、農業振興（特産物の一層のブランド化、直売所、地産地消や観光振興（旧甲州街道、登山など）、田舎としての良さの発信、企業・市会議員の私利私欲なく誘致が出来る企業の斡旋、田舎暮らし支援、地域住民との交流、神奈川県東京方面への通勤電車の高速化と10分ごと電車に乗れるように要請運動してほしい、教育（学校で使える機材）を充実させ子育てを大月でしたいという思いが芽生えるようアピールしてほしい、都心へ通勤することに対する利益の創出、考え方や地域の体質が悪い、公的機関の結婚対策（相談）、放送の自由化CATVの廃止、通勤のため駅周辺に駐車場をつくる、市民会館で低料金のコンサートを月1回行う

「大月市に若者が定住するため何が必要だと思いますか。」については、「産業振興による雇用の場の創出」が39.4%と多くなっており、「50歳代」が82.3%、「60歳代」が83.7%、「70歳以上」が83.1%となっています。次に「商業施設や娯楽施設の整備」が17.8%となっています。また、「戸建住宅の整備」は3.9%であります。また、「30歳代」は63.6%となっています。

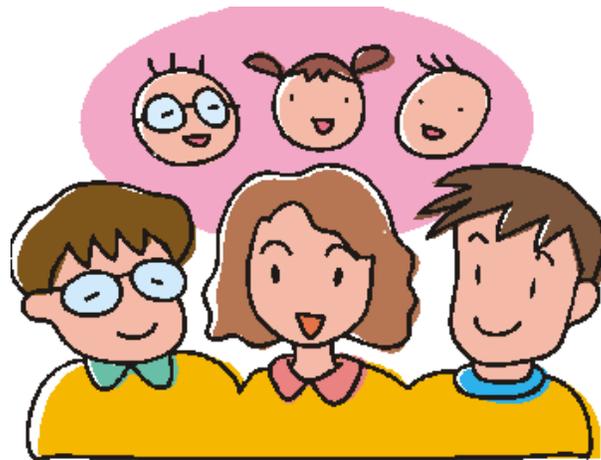
問2-12 大月市の人口について、あなたのお考えに近いものを選んでください。

（参考）平成26年4月1日現在の大月市の人口26,854人
 10年後に予想される大月市の人口21,189人
 25年後に予想される大月市の人口15,057人



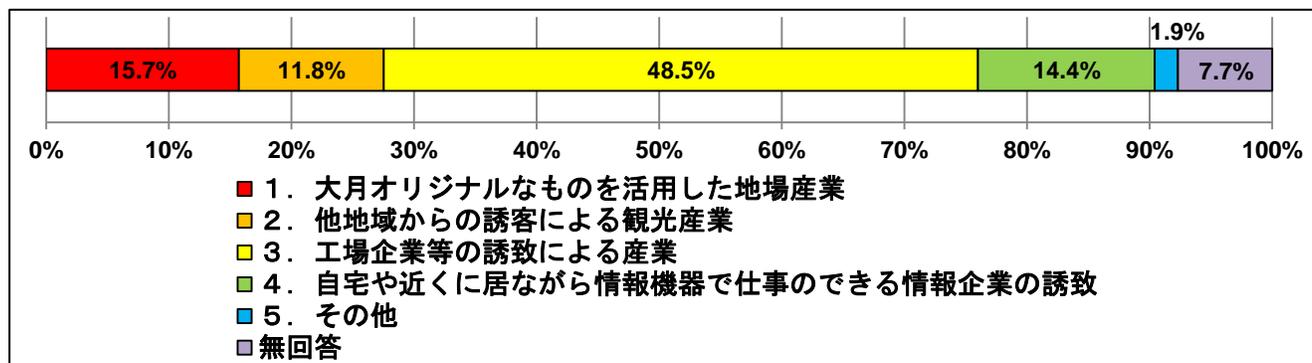
質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 人口が今よりも増加するよう取り組むべき	557人	65.8%	57.3%	60.8%	64.6%	64.6%	70.3%	71.0%	20.0%
2. 現状程度の人口を維持していくべき	194人	22.9%	31.7%	20.8%	24.8%	25.2%	22.7%	18.4%	20.0%
3. 人口の減少は時代の流れであり、人口増加や維持に対する取り組みは重視しない	70人	8.3%	9.8%	16.7%	9.7%	8.8%	4.7%	4.8%	0.0%
無回答	25人	3.0%	1.2%	1.7%	0.9%	1.4%	2.3%	5.8%	60.0%

「大月市の人口について、あなたのお考えに近いものを選んでください。」については、「人口が今よりも増加するよう取り組むべき」が、65.8%となっています。「人口の減少は時代の流れであり、人口増加や維持に対する取り組みは重視しない」は8.3%であり、「30歳代」が16.7%と最も多くなっています。



問3 大月市のまちづくりについてお聞きします。それぞれ該当する1つに○をつけてください。

問3-1 あなたが考える、これから大月市で働くための産業として、有効と思われるものは何だと思えますか。

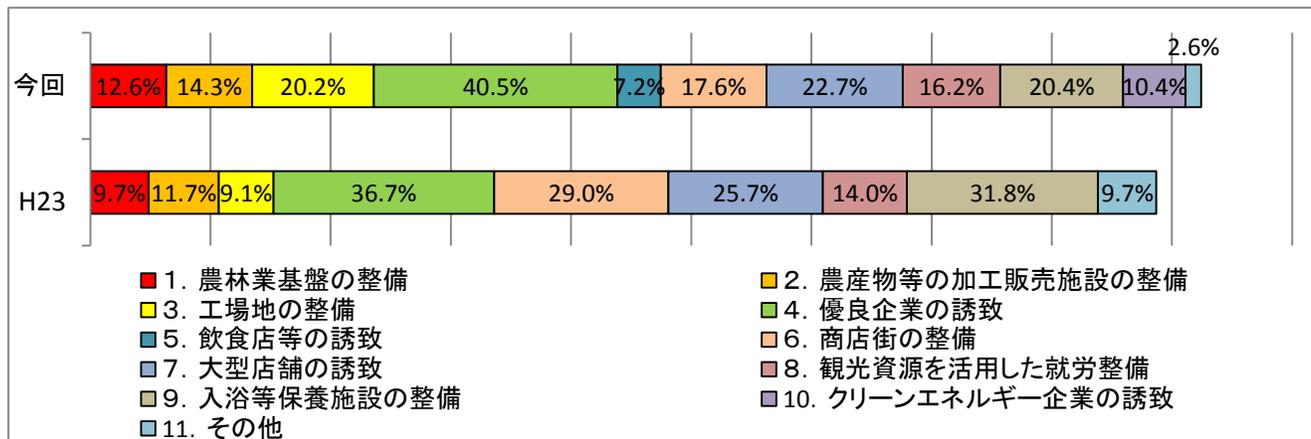


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 大月オリジナルなものを活用した地場産業	133人	15.7%	13.4%	7.5%	14.2%	21.8%	20.9%	14.0%	0.0%
2. 他地域からの誘客による観光産業	100人	11.8%	26.8%	18.3%	11.5%	11.6%	7.6%	6.3%	0.0%
3. 工場企業等の誘致による産業	410人	48.5%	26.8%	45.0%	46.0%	47.6%	52.9%	58.0%	20.0%
4. 自宅や近くに居ながら情報機器で仕事のできる情報企業の誘致	122人	14.4%	23.2%	22.5%	18.6%	12.9%	10.5%	8.7%	0.0%
5. その他	16人	1.9%	2.4%	1.7%	4.4%	1.4%	1.7%	1.0%	0.0%
無回答	65人	7.7%	7.3%	5.0%	5.3%	4.8%	6.4%	12.1%	80.0%

その他：通勤圏として他地域で働くのが現実的、カジノ、終活の為の施設の建設、介護施設病院誘致、樹木葬の施設建設、大月には産業も工業も工場もないし無理だから通勤に定住することだけを考えること、県外からの登山者が多いのでお風呂と食事を提供できる場所、健康産業、福祉事業、他の地域に無い事業、ハイキング客をターゲットにした施設と雇用、医療関連（総合リハビリセンター）、農業、自然を生かした福祉産業、福祉日本一の市、農林業の活性化、空いている農地を借り上げ大月市でまとまった農業を行いそこから発展させた商品作りにつなげて雇用につながるラインを作る、ショッピングモールが出来ればその中で仕事に就ける

「これから大月市で働くための産業として、有効と思われるものは何だと思えますか。」については、「工場企業等の誘致による産業」が、48.5%となっていますが、「20歳代」は、「他地域からの誘客による観光産業」が有効であると考えている傾向もみられました。

問3-2 今後、産業等で重点的に取り組むべきものは何だと思えますか。
2つ選んでください。



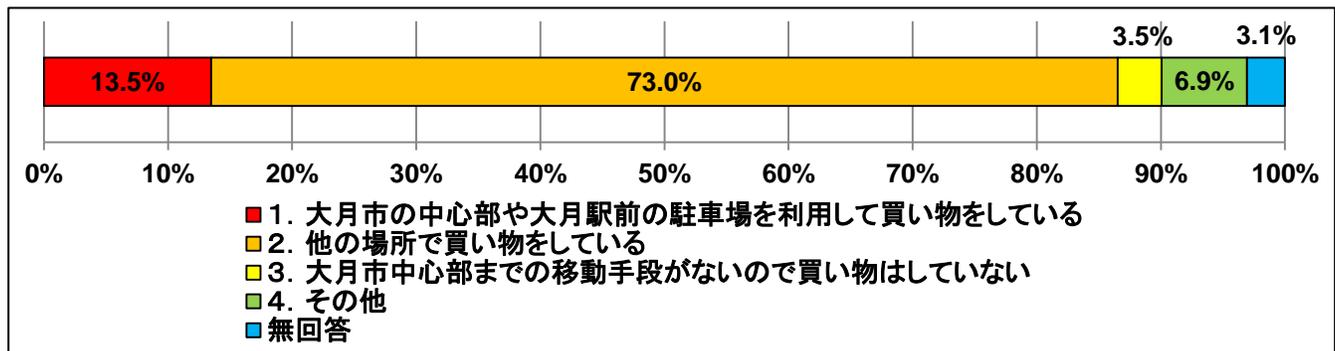
質問	今回		H23		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
1. 農林業基盤の整備	107人	12.6%	83人	9.7%	2.9
2. 農産物等の加工販売施設の整備	121人	14.3%	100人	11.7%	2.6
3. 工場の整備	171人	20.2%	78人	9.1%	11.1
4. 優良企業の誘致	343人	40.5%	314人	36.7%	3.8
5. 飲食店等の誘致	61人	7.2%	-	-	-
6. 商店街の整備	149人	17.6%	248人	29.0%	▲ 11.4
7. 大型店舗の誘致	192人	22.7%	220人	25.7%	▲ 3.0
8. 観光資源を活用した就労整備	137人	16.2%	120人	14.0%	2.2
9. 入浴等保養施設の整備	173人	20.4%	272人	31.8%	▲ 11.4
10. クリーンエネルギー企業の誘致	88人	10.4%	-	-	-
11. その他	22人	2.6%	83人	9.7%	▲ 7.1

質問	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 農林業基盤の整備	11.0%	7.5%	12.4%	10.2%	16.3%	15.5%	0.0%
2. 農産物等の加工販売施設の整備	11.0%	6.7%	14.2%	16.3%	18.6%	15.5%	0.0%
3. 工場の整備	14.6%	15.8%	24.8%	21.8%	19.8%	22.2%	0.0%
4. 優良企業の誘致	32.9%	34.2%	40.7%	38.1%	45.3%	45.4%	20.0%
5. 飲食店等の誘致	19.5%	11.7%	10.6%	6.1%	2.9%	2.4%	0.0%
6. 商店街の整備	19.5%	24.2%	13.3%	22.4%	14.5%	15.0%	0.0%
7. 大型店舗の誘致	37.8%	40.0%	25.7%	19.0%	12.8%	16.4%	0.0%
8. 観光資源を活用した就労整備	12.2%	15.0%	14.2%	23.8%	16.9%	14.0%	0.0%
9. 入浴等保養施設の整備	14.6%	18.3%	14.2%	21.1%	23.3%	25.1%	0.0%
10. クリーンエネルギー企業の誘致	8.5%	11.7%	12.4%	10.2%	14.0%	6.8%	0.0%
11. その他	3.7%	1.7%	5.3%	2.0%	2.3%	1.9%	0.0%

その他：工場地の整備に伴う道路整備、駅ビル建設有名テナント誘致、介護施設を設け人の受け入れ、市営共同墓地、市営巨大モール施設整備、交通の便を生かしたイベント会場整備、企業誘致は無理だから住みやすい環境にする、空き家や独居老人宅を整理し、町に人が住めるようにする、桂川ウェルネスパークを活用し周辺のテニスコート・体育館・野球場に宿泊施設を造り、スポーツ団体が合宿できるようにする、駅前に大月アンテナショップを設け特産物を集中させる、都会から人を引き付ける企画、福祉産業に力を入れる、工場跡地利用、農林産物の販路整備と拡大、住宅補助、首都圏から近い利点を生かした産業及び就労が見込まれる企業誘致、中小企業誘致

「今後、産業等で重点的に取り組むべきものは何だと思いませんか。」については、「優良企業の誘致」が 40.5%となっています。次に「大型店舗の誘致」が 22.7%、「入浴等保養施設の整備」が 20.4%、「工場地の整備」20.2%となっています。平成 23 年時と比較すると「入浴等保養施設の整備」が 10.8%から 20.4%に 9.6 ポイント増加し、「工場地の整備」は 11.2%から 20.2%に 9 ポイント増加となっています。また、「農林業基盤の整備」が 7.9%から 12.6%に 4.7 ポイント増加となっています。

問 3-3 大月市の中心部や大月駅前に駐車場が整備されてきていますが、あなたは駐車場を利用して買い物をしていますか。

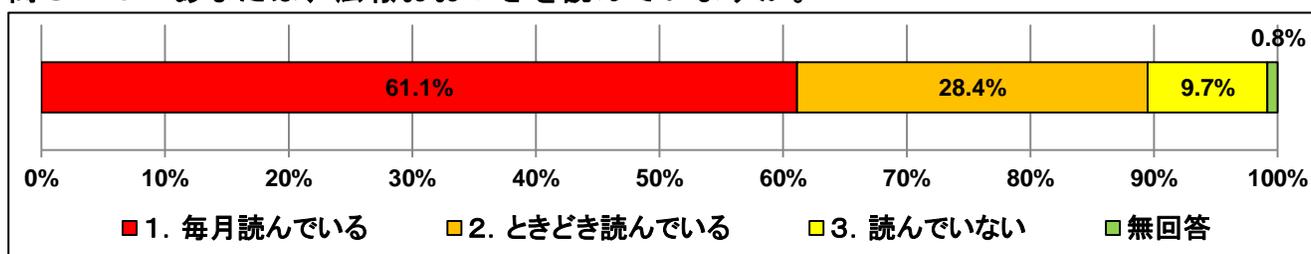


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 大月市の中心部や大月駅前の駐車場を利用して買い物をしている	114人	13.5%	17.1%	12.5%	12.4%	17.7%	11.6%	11.1%	40.0%
2. 他の場所で買い物をしている	618人	73.0%	75.6%	76.7%	77.9%	76.2%	73.3%	66.2%	20.0%
3. 大月市中心部までの移動手段がないので買い物はしていない	30人	3.5%	1.2%	1.7%	2.7%	1.4%	2.3%	8.7%	0.0%
4. その他	58人	6.9%	4.9%	6.7%	6.2%	4.1%	10.5%	7.2%	0.0%
無回答	26人	3.1%	1.2%	2.5%	0.9%	0.7%	2.3%	6.8%	40.0%

その他：魅力的な店がない、店舗専用駐車場のある店で買い物をしている、いつも停められず利用出来ない、大月駅前の駐車場は市外の方が利用している、希望する店がないから買い物していない、シルバーお出かけバスで買い物に行く、自宅が駅に近いため駐車場は利用していない、大月駅前の30分無料駐車場は買い物には良いので作って良かった、大月駅前の他に駐車場がどこにあるか市民だが知らない、駐車場の広い店に（他市）多少遠くても買い物に行く、30分駐車場無料では食事も出来ないのも無理、バスの時間に併せて外出、通販、商店街の商品の値段が高い、ネットでの買い物が多く、買い物がしづらい、市内で買い物をする施設がないため利用する機会がない

「大月市の中心部や大月駅前に駐車場が整備されてきていますが、あなたは駐車場を利用して買い物をしていますか。」については、「他の場所で買い物をしている」が73.0%となっています。大月駅周辺の駐車場を使用されている方は、買い物以外での利用が多いとみられます。

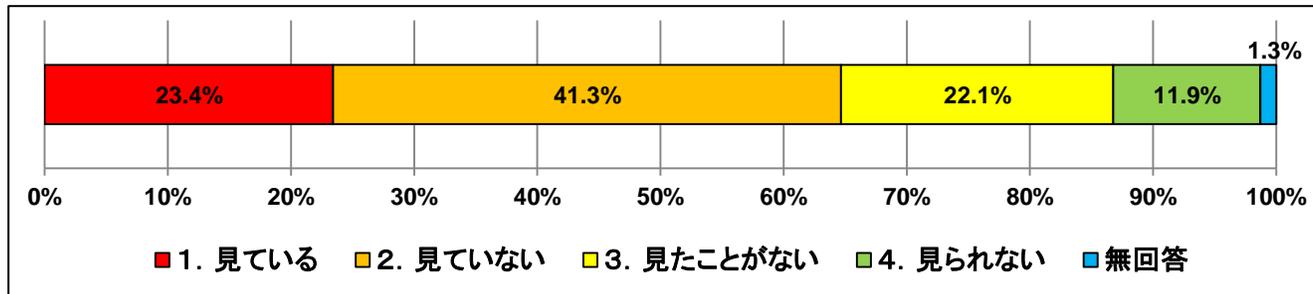
問3-4 あなたは、広報おおつきを読んでいますか。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 毎月読んでいる	517人	61.1%	19.5%	41.7%	52.2%	60.5%	80.2%	79.2%	20.0%
2. ときどき読んでいる	240人	28.4%	46.3%	39.2%	36.3%	33.3%	16.3%	16.9%	40.0%
3. 読んでいない	82人	9.7%	31.7%	17.5%	11.5%	6.1%	3.5%	3.4%	0.0%
無回答	7人	0.8%	2.4%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	40.0%

「広報おおつきを読んでいますか。」については、「毎月読んでいる」が61.1%、「ときどき読んでいる」が28.4%となっています。しかし、「20歳代」の「毎月読んでいる」が他の年齢層より低く19.5%となっています。「20歳代」の本市への関心を高めていくことが課題であると思われます。

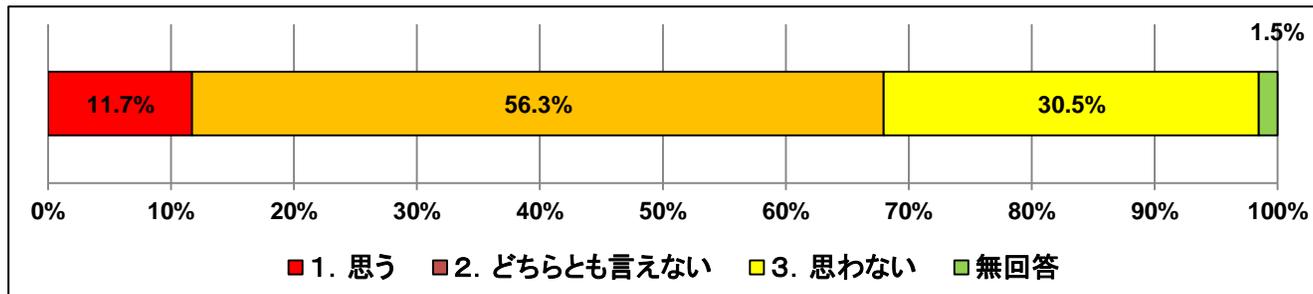
問 3-5 あなたは、大月市役所のホームページを見ていますか。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 見ている	198人	23.4%	17.1%	29.2%	32.7%	21.8%	22.1%	20.3%	0.0%
2. 見ていない	349人	41.3%	43.9%	37.5%	45.1%	43.5%	40.1%	39.6%	40.0%
3. 見たことがない	187人	22.1%	29.3%	30.8%	19.5%	21.1%	23.8%	15.5%	0.0%
4. 見られない	101人	11.9%	8.5%	1.7%	2.7%	12.2%	14.0%	22.7%	0.0%
無回答	11人	1.3%	1.2%	0.8%	0.0%	1.4%	0.0%	1.9%	60.0%

「大月市役所のホームページを見ていますか。」については、「見ていない」が41.3%、「見たことがない」が22.1%、「見られない」が11.9%となっています。「ホームページ」は市の情報を即時に伝えることができる手段であり、重要性が高いと考えられます。より一層、広めていくことが課題であります。また、「70歳代以上」の22.7%が、インターネットを見ることができない環境下にあることについても課題であると思われます。

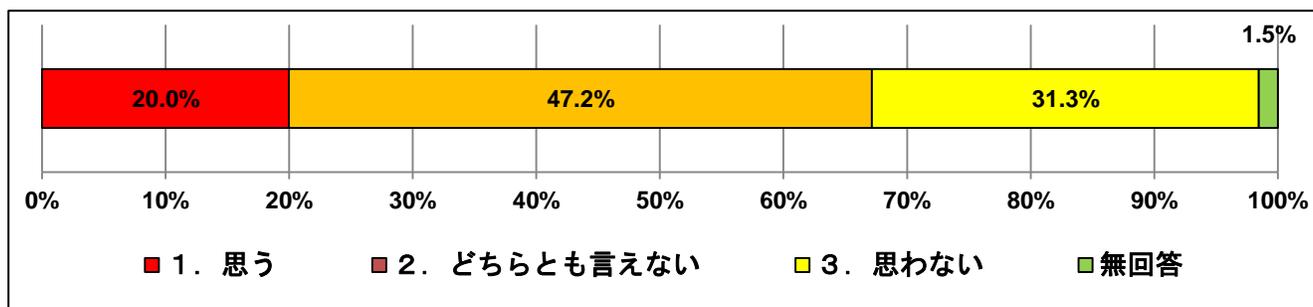
問 3-6 あなたは、大月市役所の情報が十分に伝えられていると思いますか。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 思う	99人	11.7%	8.5%	6.7%	6.2%	8.8%	11.6%	21.3%	0.0%
2. どちらとも言えない	476人	56.3%	57.3%	50.8%	63.7%	57.1%	59.3%	52.7%	20.0%
3. 思わない	258人	30.5%	32.9%	40.8%	30.1%	33.3%	29.1%	22.7%	40.0%
無回答	13人	1.5%	1.2%	1.7%	0.0%	0.7%	0.0%	3.4%	40.0%

「大月市役所の情報が十分に伝えられていると思いますか。」については、「思わない」が30.5%であります。すべての年齢層において「思わない」が「思う」を上回っています。

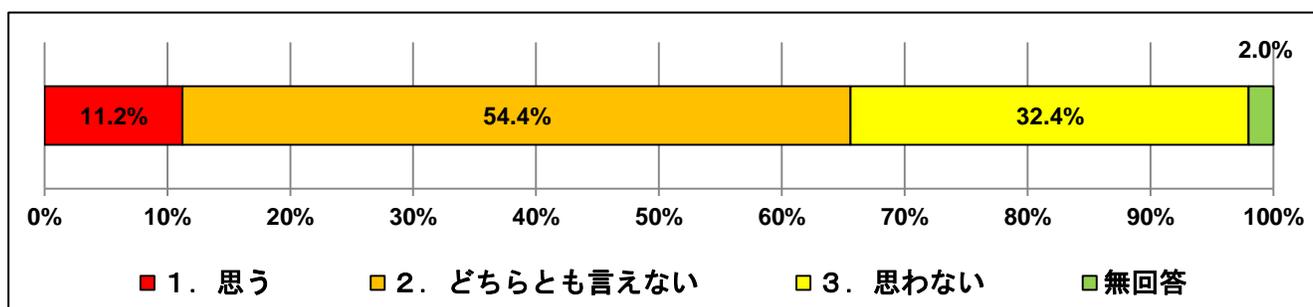
問3-7 あなたは、大月市（市・市長）に対して意見を言う機会が用意されていると思いますか。（地区対話集会、市長への手紙、出張市長室、耳寄り情報局など実施中）



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 思う	169人	20.0%	11.0%	10.8%	19.5%	12.9%	32.6%	24.2%	0.0%
2. どちらとも言えない	399人	47.2%	51.2%	53.3%	47.8%	46.9%	37.8%	50.2%	20.0%
3. 思わない	265人	31.3%	36.6%	35.0%	31.9%	40.1%	29.1%	22.2%	40.0%
無回答	13人	1.5%	1.2%	0.8%	0.9%	0.0%	0.6%	3.4%	40.0%

「大月市（市・市長）に対して意見を言う機会が用意されていると思いますか。」については、「思わない」が31.3%となっています。「60歳代」「70歳以上」は、「思う」が「思わない」をわずかではありますが、上回っています。

問3-8 大月市役所は、地域生活における相談業務や窓口サービスが充実していると思いますか。

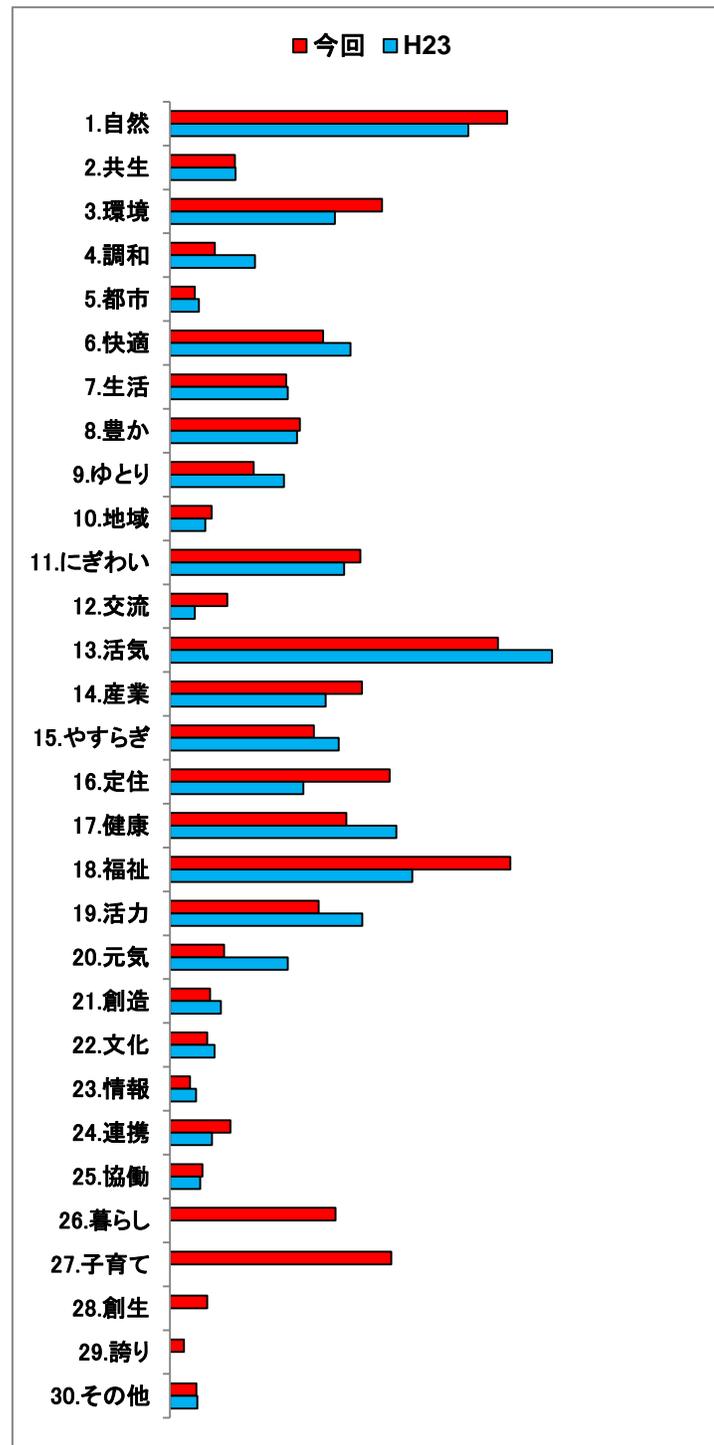


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 思う	95人	11.2%	11.0%	5.8%	4.4%	7.5%	12.2%	20.3%	0.0%
2. どちらとも言えない	460人	54.4%	54.9%	54.2%	63.7%	48.3%	52.9%	55.1%	40.0%
3. 思わない	274人	32.4%	31.7%	39.2%	31.9%	43.5%	33.7%	20.3%	20.0%
無回答	17人	2.0%	2.4%	0.8%	0.0%	0.7%	1.2%	4.3%	40.0%

「大月市役所は、地域生活における相談業務や窓口サービスが充実していると思いますか。」については、「思う」が11.2%であり、「思わない」が32.4%で約3倍となっています。

問3-9 あなたは、今後の大月市がどのような「言葉（キーワード）」を重視していくことが望ましいと思いますか。3つ選んでください。

質問	今回		H23		前回比
	回答数	比率	回答数	比率	
1. 自然	218人	25.8%	195人	22.8%	3.0
2. 共生	42人	5.0%	43人	5.0%	0.0
3. 環境	137人	16.2%	108人	12.6%	3.6
4. 調和	29人	3.4%	56人	6.5%	▲ 3.1
5. 都市	16人	1.9%	19人	2.2%	▲ 0.3
6. 快適	99人	11.7%	118人	13.8%	▲ 2.1
7. 生活	75人	8.9%	77人	9.0%	▲ 0.1
8. 豊か	84人	9.9%	83人	9.7%	0.2
9. ゆとり	54人	6.4%	74人	8.7%	▲ 2.3
10. 地域	27人	3.2%	23人	2.7%	0.5
11. にぎわい	123人	14.5%	114人	13.3%	1.2
12. 交流	37人	4.4%	16人	1.9%	2.5
13. 活気	212人	25.1%	250人	29.2%	▲ 4.1
14. 産業	124人	14.7%	102人	11.9%	2.8
15. やすらぎ	93人	11.0%	110人	12.9%	▲ 1.9
16. 定住	142人	16.8%	87人	10.2%	6.6
17. 健康	114人	13.5%	148人	17.3%	▲ 3.8
18. 福祉	220人	26.0%	158人	18.5%	7.5
19. 活力	96人	11.3%	126人	14.7%	▲ 3.4
20. 元気	35人	4.1%	77人	9.0%	▲ 4.9
21. 創造	26人	3.1%	33人	3.9%	▲ 0.8
22. 文化	24人	2.8%	29人	3.4%	▲ 0.6
23. 情報	13人	1.5%	17人	2.0%	▲ 0.5
24. 連携	39人	4.6%	27人	3.2%	1.4
25. 協働	21人	2.5%	20人	2.3%	0.2
26. 暮らし	107人	12.6%	-	-	-
27. 子育て	143人	16.9%	-	-	-
28. 創生	24人	2.8%	-	-	-
29. 誇り	9人	1.1%	-	-	-
30. その他	17人	2.0%	18人	2.1%	▲ 0.1

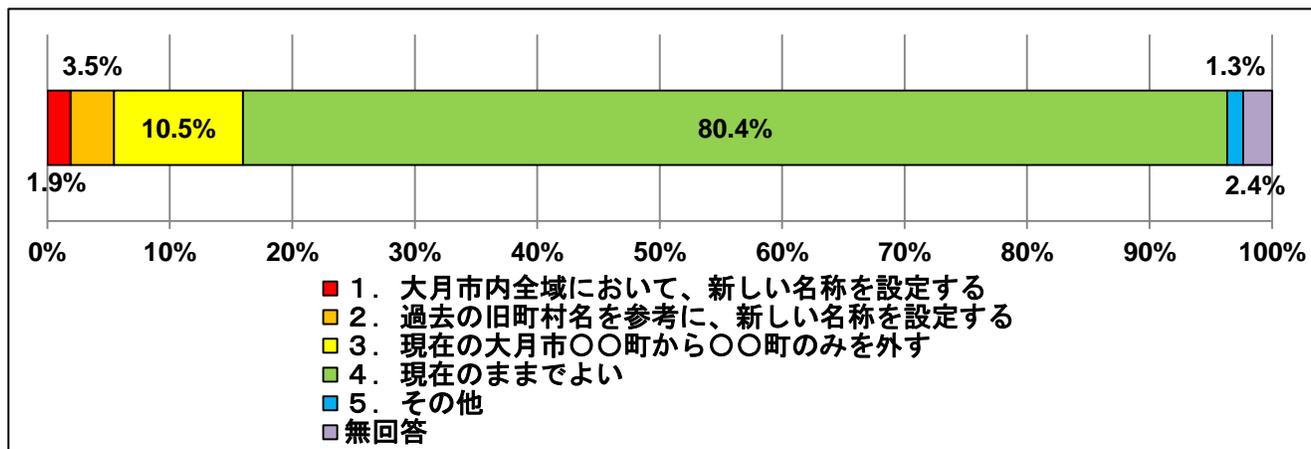


その他：想像、思いやり、地場、充実、整備、人間性、正しい政治、納得いく税金、第二の夕張、終活の地、若者定住、介護できる人がいなくなる、変化、教育、節約（特に市の正職員数）、本当の豊かさとは、教育、人口増加、企業誘致、田舎、変革、心豊かに

質問	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 自然	20.7%	20.0%	23.0%	25.9%	27.9%	30.9%	20.0%
2. 共生	2.4%	2.5%	3.5%	6.8%	6.4%	5.3%	20.0%
3. 環境	9.8%	12.5%	11.5%	18.4%	20.3%	18.8%	0.0%
4. 調和	2.4%	2.5%	4.4%	3.4%	4.7%	2.9%	0.0%
5. 都市	0.0%	3.3%	3.5%	2.0%	1.2%	1.4%	0.0%
6. 快適	19.5%	12.5%	13.3%	15.0%	7.6%	8.7%	0.0%
7. 生活	6.1%	8.3%	6.2%	11.6%	9.9%	9.2%	0.0%
8. 豊か	13.4%	10.0%	16.8%	8.8%	9.3%	6.3%	0.0%
9. ゆとり	7.3%	2.5%	4.4%	6.1%	8.1%	8.2%	0.0%
10. 地域	2.4%	1.7%	1.8%	5.4%	3.5%	3.4%	0.0%
11. にぎわい	22.0%	20.8%	17.7%	10.9%	12.2%	11.1%	0.0%
12. 交流	4.9%	5.8%	3.5%	4.8%	5.2%	2.9%	0.0%
13. 活気	31.7%	26.7%	25.7%	27.2%	21.5%	22.7%	20.0%
14. 産業	4.9%	12.5%	22.1%	12.2%	17.4%	15.0%	20.0%
15. やすらぎ	9.8%	5.0%	12.4%	14.3%	11.6%	11.6%	0.0%
16. 定住	19.5%	16.7%	15.0%	11.6%	19.2%	18.8%	0.0%
17. 健康	8.5%	7.5%	9.7%	8.2%	19.8%	19.3%	20.0%
18. 福祉	22.0%	26.7%	26.5%	25.9%	26.7%	26.1%	40.0%
19. 活力	7.3%	11.7%	12.4%	11.6%	12.8%	11.1%	0.0%
20. 元気	1.2%	3.3%	8.0%	2.7%	2.9%	5.3%	20.0%
21. 創造	0.0%	1.7%	1.8%	6.1%	4.7%	2.4%	0.0%
22. 文化	2.4%	2.5%	1.8%	4.1%	4.7%	1.4%	0.0%
23. 情報	6.1%	0.0%	0.0%	2.0%	1.2%	1.4%	0.0%
24. 連携	6.1%	10.0%	2.7%	4.1%	2.3%	4.3%	0.0%
25. 協働	4.9%	1.7%	4.4%	4.1%	1.7%	0.5%	0.0%
26. 暮らし	11.0%	13.3%	11.5%	11.6%	12.8%	14.5%	0.0%
27. 子育て	34.1%	32.5%	21.2%	13.6%	8.7%	8.2%	0.0%
28. 創生	0.0%	5.8%	5.3%	2.7%	2.9%	1.0%	0.0%
29. 誇り	3.7%	0.8%	0.9%	1.4%	0.0%	1.0%	0.0%
30. その他	0.0%	4.2%	2.7%	3.4%	1.2%	0.5%	20.0%

「今後の大月市がどのような「言葉（キーワード）」を重視していくことが望ましいと思いますか。」については、「福祉」が26.0%、「自然」が25.8%、「活気」が25.1%、「子育て」が16.9%、「定住」が16.8%、「環境」が16.2%の順に多くなっています。各年齢層で最も多かったのが「20歳代」が「子育て」で34.1%、「30歳代」も「子育て」で32.5%、「40歳代」が「福祉」で26.5%、「50歳代」が「活気」で27.2%、「60歳代」が「自然」で27.9%、「70歳以上」が「自然」で30.9%となっています。平成23年時と比較して、「福祉」が7.5ポイント、「定住」が6.6ポイントの増加となっています。反対に減少している項目では、「元気」が4.9ポイント「活気」が4.1ポイント、「活力」が3.4ポイントの減少となっています。

問 3-10 大月市は昭和 29 年に誕生し、平成 26 年 8 月に市制 60 周年を迎えました。これを機に、地域の意識改革を図ることを視野に入れ、市内の町名について考えたとき、あなたのご意見をお聞かせください。

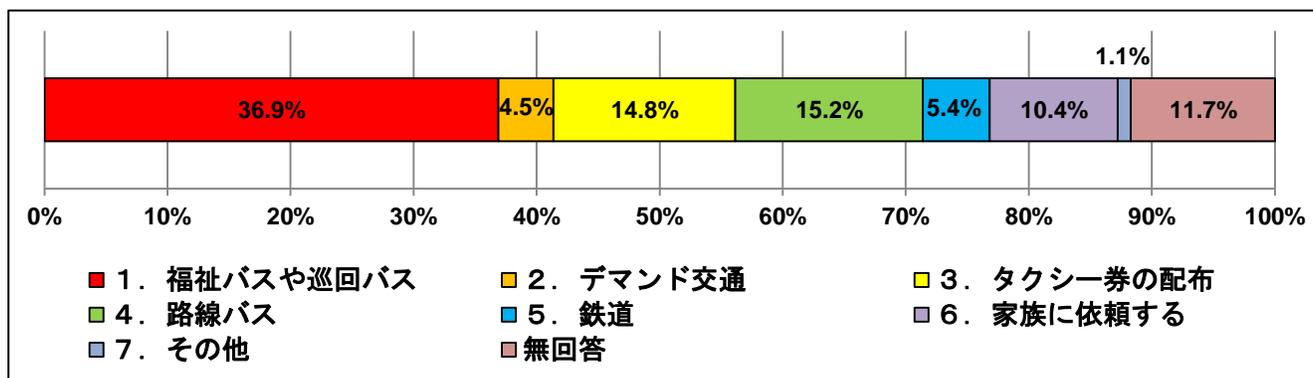


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 大月市の全域において、新しい名称を設定する	16人	1.9%	1.2%	5.8%	1.8%	1.4%	0.0%	1.9%	0.0%
2. 過去の旧町村名を参考に、新しい名称を設定する	30人	3.5%	3.7%	1.7%	1.8%	4.1%	6.4%	2.9%	0.0%
3. 現在の大月市〇〇町から〇〇町のみを外す	89人	10.5%	3.7%	10.0%	8.8%	9.5%	12.2%	13.5%	20.0%
4. 現在のままでよい	680人	80.4%	90.2%	80.8%	84.1%	82.3%	77.3%	76.8%	20.0%
5. その他	11人	1.3%	0.0%	1.7%	3.5%	1.4%	0.6%	1.0%	0.0%
無回答	20人	2.4%	1.2%	0.0%	0.0%	1.4%	3.5%	3.9%	60.0%

その他：変更することにより無駄な出費がある、もっと効果の出るところにお金を使ってほしい、町名変更で地域の意識改革はできないこれは行政の自己満足の表れ、名前を変えたところで中身が変わらなければ無意味、地域ごとに意見が異なると思うのでわからない

「地域の意識改革を図ることを視野に入れ、市内の町名について考えたとき、あなたのご意見をお聞かせください。」については、「現在のままでよい」が 80.4%と最も多くなっています。「新しい名称を設定する」はわずか 1.9%になっています。

問3-11 あなたは、年齢を重ねて自動車等の運転が出来なくなった時、
外出時に交通手段として求めるものはどのようなものですか。

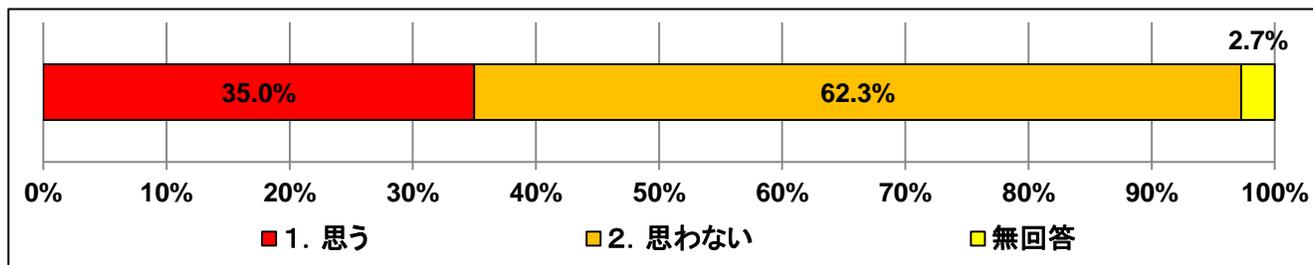


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 福祉バスや巡回バス	312人	36.9%	30.5%	45.8%	34.5%	38.8%	36.6%	34.3%	40.0%
2. デマンド交通	38人	4.5%	3.7%	4.2%	4.4%	5.4%	5.2%	3.9%	0.0%
3. タクシー券の配布	125人	14.8%	14.6%	19.2%	15.9%	17.0%	13.4%	11.6%	0.0%
4. 路線バス	129人	15.2%	9.8%	12.5%	11.5%	10.2%	18.6%	21.7%	20.0%
5. 鉄道	46人	5.4%	9.8%	3.3%	6.2%	7.5%	4.7%	3.9%	0.0%
6. 家族に依頼する	88人	10.4%	17.1%	6.7%	15.0%	8.8%	7.6%	11.1%	0.0%
7. その他	9人	1.1%	1.2%	1.7%	1.8%	0.7%	0.6%	1.0%	0.0%
無回答	99人	11.7%	13.4%	6.7%	10.6%	11.6%	13.4%	12.6%	40.0%

その他：市運営によるコミュニティバス、駅前に医療施設などを集中させてくれればそれでよいのでそこまではバスなどを運行されたい、小型でいいからバスの本数を増やしてもらいたい、乗り合いタクシー、1日数便でも巡回ワゴン車による地域の巡回

「年齢を重ねて自動車等の運転が出来なくなった時、外出時に交通手段として求めるものはどのようなものですか。」については、「福祉バスや巡回バス」が36.9%と最も多く、次に「路線バス」が15.2%となっています。児童・生徒の通学バスシステムを含め、利用者ニーズに即した利用環境の向上を図るための、新たな交通システムの構築が大きな課題であります。

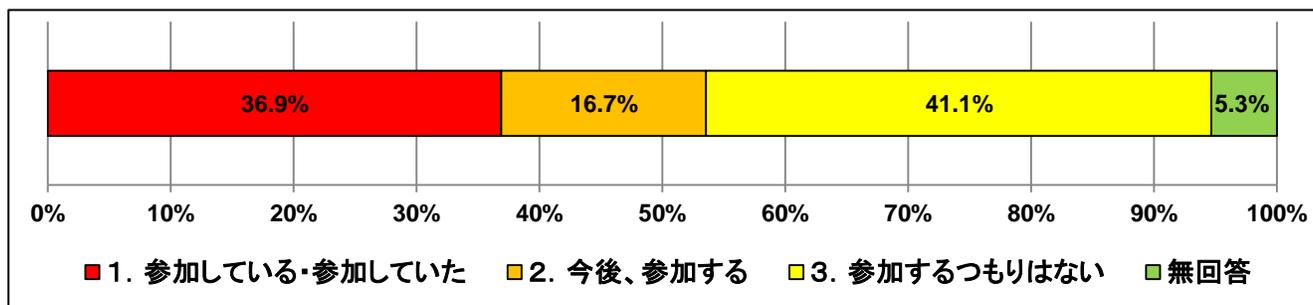
問3-12 あなたが住んでいる地域は、安心して暮らすことのできる消防や救急医療体制が整っていると思いますか。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 思う	296人	35.0%	28.0%	19.2%	25.7%	29.3%	32.6%	58.5%	20.0%
2. 思わない	527人	62.3%	70.7%	80.8%	72.6%	66.7%	65.1%	37.7%	40.0%
無回答	23人	2.7%	1.2%	0.0%	1.8%	4.1%	2.3%	3.9%	40.0%

「あなたが住んでいる地域は、安心して暮らすことのできる消防や救急医療体制が整っていると思いますか。」については、「思わない」が62.3%であり、「30歳代」が80.8%、「40歳代」が72.6%で子育て世代で高くなっています。「70歳以上」は、「思う」が58.5%となっており、「思わない」の37.7%を上回っています。

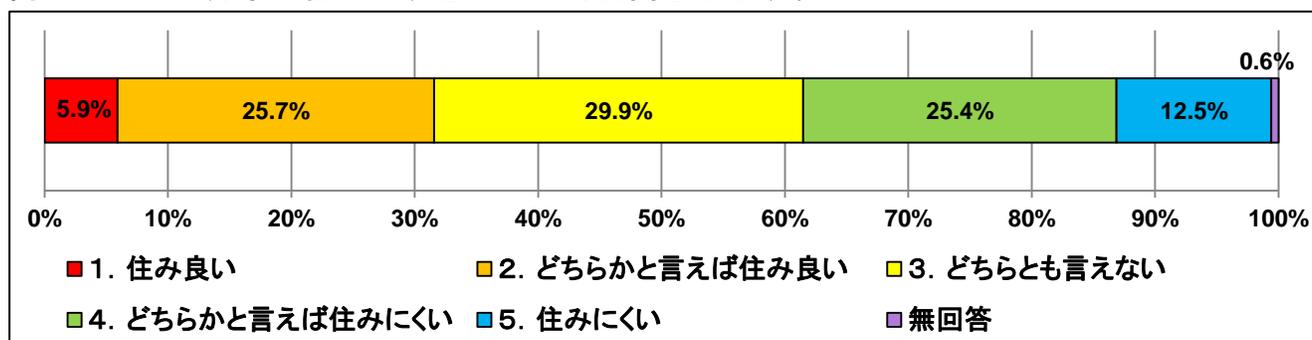
問3-13 あなたは、消防団や自主防災組織の活動に参加していますか。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 参加している・参加していた	312人	36.9%	3.7%	26.7%	36.3%	43.5%	50.0%	41.1%	20.0%
2. 今後、参加する	141人	16.7%	20.7%	15.8%	23.9%	19.0%	11.0%	15.0%	0.0%
3. 参加するつもりはない	348人	41.1%	73.2%	55.8%	38.9%	33.3%	33.7%	32.9%	40.0%
無回答	45人	5.3%	2.4%	1.7%	0.9%	4.1%	5.2%	11.1%	40.0%

「消防団や自主防災組織の活動に参加していますか。」については、「参加するつもりはない」が41.1%で最も多いが、「今後、参加する」の16.7%と「参加している・参加していた」の36.9%を合わせた割合が53.6%と上回っています。年齢層別では、参加するつもりはないが、「20歳代」が73.2%、「30歳代」が55.8%で高い割合となっています。また、「参加している・参加していた」と、「今後、参加する」を合わせた割合は「40歳代」が60.2%、「50歳代」が62.5%、「60歳代」が61.0%、「70歳以上」で56.1%となっています。

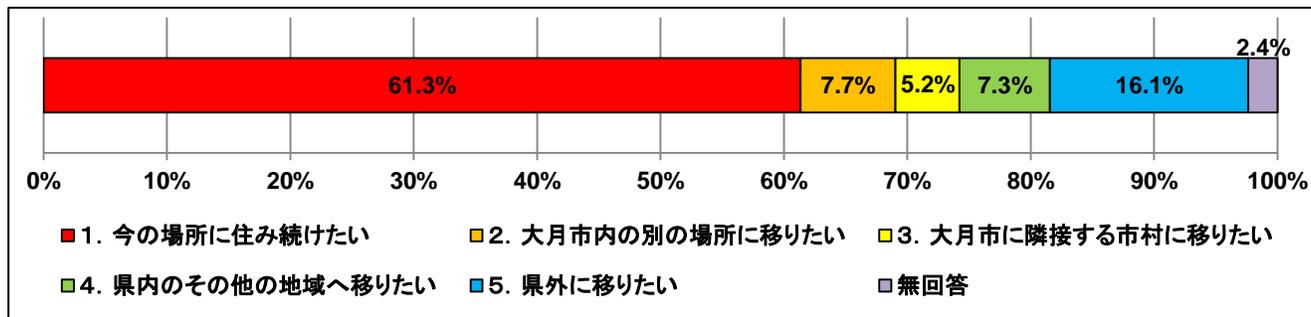
問3-14 大月市の住みやすさについてお聞きします。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 住み良い	50人	5.9%	3.7%	5.8%	3.5%	4.8%	6.4%	8.7%	0.0%
2. どちらかと言えば住み良い	217人	25.7%	26.8%	17.5%	20.4%	32.0%	22.7%	30.4%	40.0%
3. どちらとも言えない	253人	29.9%	28.0%	33.3%	34.5%	23.8%	27.9%	32.9%	0.0%
4. どちらかと言えば住みにくい	215人	25.4%	31.7%	23.3%	28.3%	26.5%	29.7%	18.8%	0.0%
5. 住みにくい	106人	12.5%	9.8%	20.0%	13.3%	12.9%	12.8%	8.2%	20.0%
無回答	5人	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.0%	40.0%

「大月市の住みやすさについてお聞きします。」については、「住み良い」が5.9%、「どちらかと言えば住み良い」が25.7%となっております。また、「住みにくい」は12.5%、「どちらかと言えば住みにくい」が25.4%であります。「70歳以上」に関しては「住み良い」が8.7%、「どちらかと言えば住み良い」が30.4%で合計39.1%となっております。「住みにくい」が8.2%、「どちらかと言えば住みにくい」が18.8%で合計が27.0%となり「住み良い」と感じている方が多くなっています。

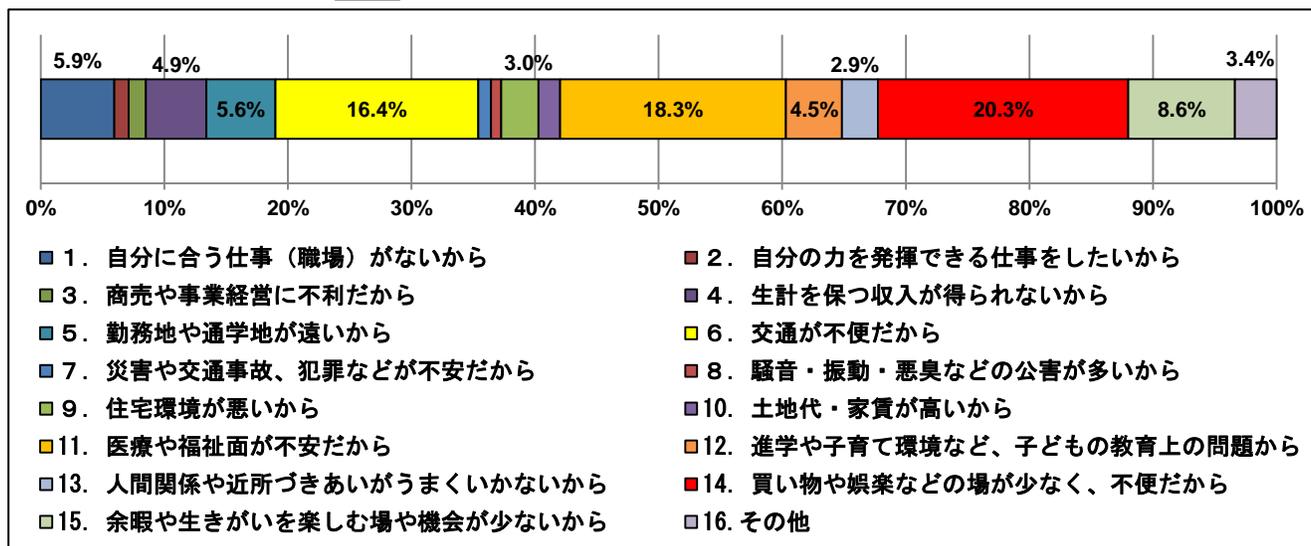
問 3-15 今後の暮らしについてお聞きします。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 今の場所に住み続けたい	519人	61.3%	36.6%	52.5%	55.8%	54.4%	65.7%	81.2%	40.0%
2. 大月市内の別の場所に移りたい	65人	7.7%	12.2%	6.7%	12.4%	8.2%	5.8%	5.3%	0.0%
3. 大月市に隣接する市村に移りたい	44人	5.2%	4.9%	8.3%	8.8%	5.4%	2.9%	3.4%	0.0%
4. 県内のその他の地域へ移りたい	62人	7.3%	14.6%	8.3%	8.0%	8.8%	7.6%	2.4%	0.0%
5. 県外に移りたい	136人	16.1%	31.7%	20.8%	13.3%	21.1%	15.7%	5.3%	20.0%
無回答	20人	2.4%	0.0%	3.3%	1.8%	2.0%	2.3%	2.4%	40.0%

「今後の暮らしについてお聞きします。」については、「今の場所に住み続けたい」が、61.3%であります。「20歳代」が36.6%で「70歳以上」が81.2%であり、年齢層が高くなるにつれ、「今の場所に住み続けたい」割合が高くなる傾向が見られます。

問 3-15-2 「2～5に○を付けた方」にお聞きします。移りたいと思う理由を、3つ選んでください。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 自分に合う仕事(職場)がないから	51人	5.9%	34.6%	28.1%	12.0%	7.5%	5.1%	7.7%	0.0%
2. 自分の力を発揮できる仕事をしたいから	10人	1.2%	9.6%	3.5%	2.0%	0.0%	1.7%	2.6%	0.0%
3. 商売や事業経営に不利だから	12人	1.4%	3.8%	7.0%	4.0%	1.5%	1.7%	5.1%	0.0%
4. 生計を保つ収入が得られないから	42人	4.9%	11.5%	12.3%	12.0%	14.9%	13.6%	12.8%	0.0%
5. 勤務地や通学地が遠いから	48人	5.6%	32.7%	21.1%	10.0%	13.4%	6.8%	2.6%	0.0%
6. 交通が不便だから	141人	16.4%	34.6%	36.8%	56.0%	52.2%	32.2%	48.7%	33.3%
7. 災害や交通事故、犯罪などが不安だから	9人	1.0%	1.9%	1.8%	4.0%	4.5%	3.4%	0.0%	0.0%
8. 騒音・振動・悪臭などの公害が多いから	7人	0.8%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	6.8%	5.1%	0.0%
9. 住宅環境が悪いから	26人	3.0%	7.7%	8.8%	6.0%	9.0%	5.1%	12.8%	0.0%
10. 土地代・家賃が高いから	15人	1.7%	9.6%	3.5%	10.0%	3.0%	1.7%	0.0%	0.0%
11. 医療や福祉面が不安だから	157人	18.3%	36.5%	50.9%	38.0%	62.7%	57.6%	33.3%	33.3%
12. 進学や子育て環境など、子どもの教育上の問題から	39人	4.5%	15.4%	21.1%	22.0%	7.5%	5.1%	0.0%	0.0%
13. 人間関係や近所づきあいがうまくいかないから	25人	2.9%	3.8%	5.3%	8.0%	7.5%	6.8%	15.4%	33.3%
14. 買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから	174人	20.3%	61.5%	50.9%	60.0%	53.7%	44.1%	53.8%	0.0%
15. 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから	74人	8.6%	19.2%	14.0%	14.0%	25.4%	39.0%	23.1%	0.0%
16. その他	29人	3.4%	3.8%	8.8%	12.0%	11.9%	10.2%	5.1%	0.0%

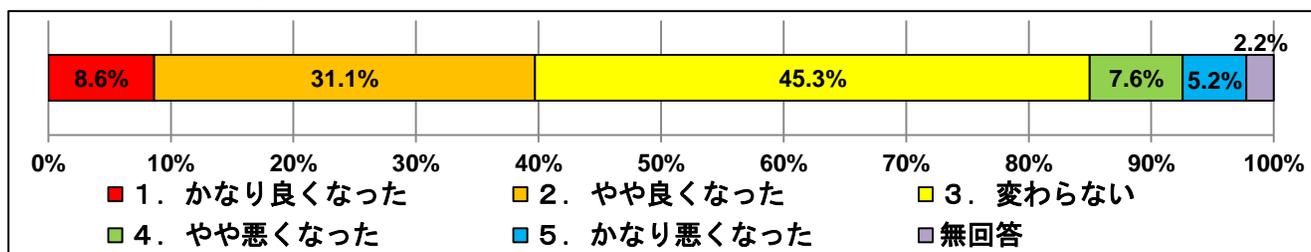
※該当者のみの回答のため合計人数が回答者数を下回る

その他：海がないから、生まれ育った場所に戻りたいから、政治が悪い、自治会等の強制力が強くプライバシーがないから、順法精神に欠ける住人が多く行政側にもいる、人口減少が続き安心して住むことができなくなるから、税金が高いので、親が高齢になった時心配だから、他の市や県に比べると劣っているところが多すぎる、県民性が悪い、賃金が低い、実家（市外）の近くに住みたいから、福祉面が悪いから、年齢的に雪かき等の負担、家族が県外での生活を営んでいるから、高齢者世帯が増えて地域行事も大変、給与が低い割に住民税が高く地域活性がない、電車の本数も少なくなり、利用したくても利用しづらい、民度の低さ

問3-15について「大月市内の別の場所に移りたい」「大月市に隣接する市村に移りたい」「県内のその他の地域へ移りたい」「県外に移りたい」と回答した方の理由として、「買い物や娯楽などの場が少なく不便だから」が20.3%、「医療や福祉面が不安だから」が18.3%、「交通が不便だから」が16.4%となっています。また、「20歳代」の61.5%、「40歳代」の60.0%が「買い物や娯楽などの場が少なく不便だから」を理由に挙げています。「50歳代」の62.7%の方が「医療や福祉面が不安だから」と回答しています。

問3-16 おおよそ10年前の大月市と比べてそれぞれどのように思いますか。
 （居住期間が10年未満の方も、住みはじめてからの実感でお答えください。）

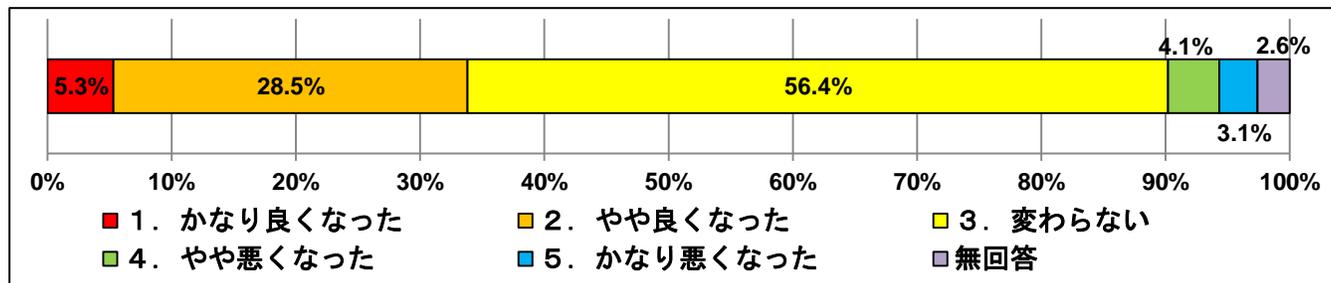
16-1 健康、福祉、子育て支援について



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. かなり良くなった	73人	8.6%	1.2%	1.7%	6.0%	3.4%	9.9%	19.8%	0.0%
2. やや良くなった	263人	31.1%	22.0%	29.2%	31.0%	33.3%	33.1%	32.9%	0.0%
3. 変わらない	383人	45.3%	61.0%	50.0%	43.1%	50.3%	42.4%	37.7%	20.0%
4. やや悪くなった	64人	7.6%	12.2%	11.7%	12.1%	4.8%	7.0%	3.4%	0.0%
5. かなり悪くなった	44人	5.2%	3.7%	6.7%	6.0%	6.1%	6.4%	2.4%	20.0%
無回答	19人	2.2%	0.0%	0.8%	1.7%	2.0%	1.2%	3.9%	60.0%

「健康、福祉、子育て支援」については、45.3%の方が「変わらない」としています。特に「20歳代」の61.0%が「変わらない」としています。また、「20歳代」で「かなり良くなった」が1.2%、「やや良くなった」が22.0%で合計23.2%に対して、「70歳以上」「かなり良くなった」が19.8%、「やや良くなった」が32.9%で合計52.7%となっています。

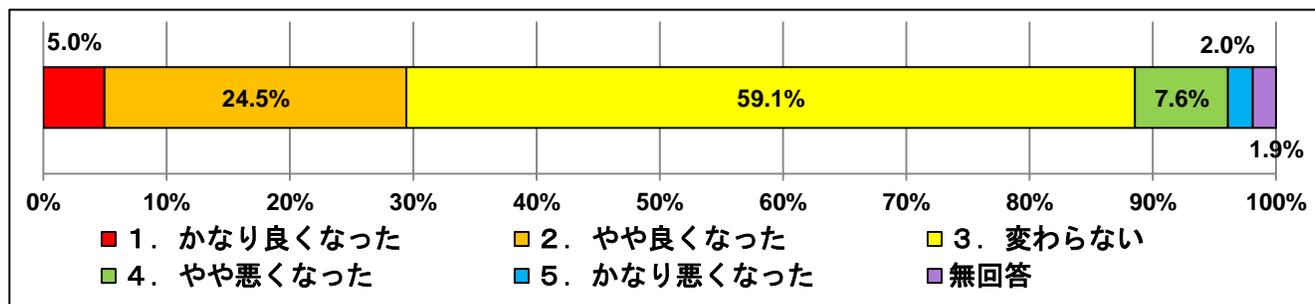
16-2 自然環境の保全、環境衛生について



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. かなり良くなった	45人	5.3%	1.2%	2.5%	0.9%	4.1%	5.2%	12.1%	0.0%
2. やや良くなった	241人	28.5%	25.6%	23.3%	27.4%	21.1%	35.5%	32.9%	20.0%
3. 変わらない	477人	56.4%	67.1%	65.0%	62.8%	64.6%	48.3%	45.4%	20.0%
4. やや悪くなった	35人	4.1%	2.4%	4.2%	1.8%	7.5%	4.7%	3.4%	0.0%
5. かなり悪くなった	26人	3.1%	1.2%	3.3%	6.2%	1.4%	4.1%	1.9%	20.0%
無回答	22人	2.6%	2.4%	1.7%	0.9%	1.4%	2.3%	4.3%	40.0%

「自然環境の保全、環境衛生」については、「変わらない」が56.4%となっています。また、「かなり良くなった」が5.3%、「やや良くなった」が28.5%で合計が33.8%であり、「やや悪くなった」が4.1%「かなり悪くなった」が3.1%で合計7.2%となっています。特に「70歳以上」は、「かなり良くなった」が12.1%、「やや良くなった」が32.9%で合計45%となっています。

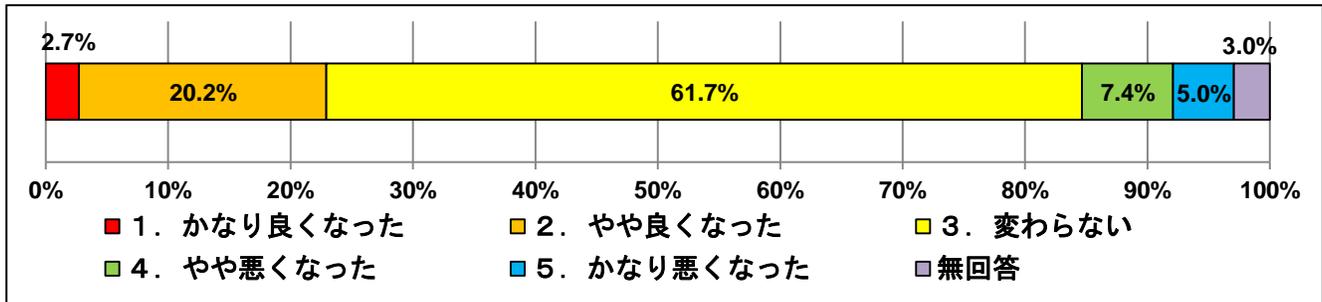
16-3 安心・安全（防災、防犯、住環境）について



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. かなり良くなった	42人	5.0%	1.2%	0.8%	4.4%	2.7%	5.8%	10.1%	0.0%
2. やや良くなった	207人	24.5%	23.2%	21.7%	22.1%	17.0%	25.0%	32.9%	20.0%
3. 変わらない	500人	59.1%	65.9%	68.3%	58.4%	72.1%	54.7%	46.9%	20.0%
4. やや悪くなった	64人	7.6%	6.1%	7.5%	13.3%	4.8%	9.3%	5.8%	0.0%
5. かなり悪くなった	17人	2.0%	3.7%	0.8%	0.9%	2.0%	3.5%	1.0%	20.0%
無回答	16人	1.9%	0.0%	0.8%	0.9%	1.4%	1.7%	3.4%	40.0%

「安心・安全（防災、防犯、住環境）」については、「変わらない」が 59.1%となっています。「かなり良くなった」が 5.0%、「やや良くなった」が 24.5%で合計が 29.5%であり、「やや悪くなった」が 7.6%「かなり悪くなった」が 2.0%で合計 9.6%となっています。

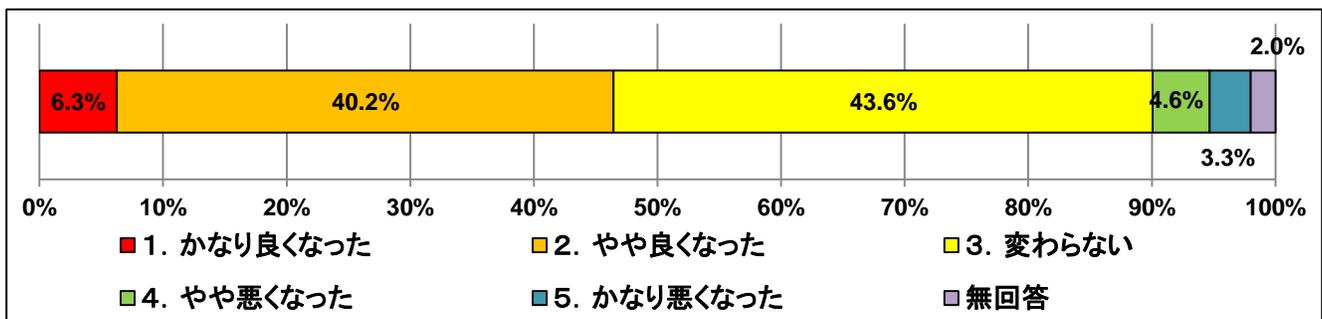
16-4 教育、スポーツ、文化について



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. かなり良くなった	23人	2.7%	1.2%	0.8%	1.8%	0.7%	4.1%	5.3%	0.0%
2. やや良くなった	171人	20.2%	17.1%	13.3%	12.4%	12.9%	23.3%	32.9%	0.0%
3. 変わらない	522人	61.7%	65.9%	67.5%	66.4%	71.4%	58.7%	50.2%	40.0%
4. やや悪くなった	63人	7.4%	7.3%	11.7%	11.5%	8.2%	6.4%	3.4%	0.0%
5. かなり悪くなった	42人	5.0%	7.3%	5.8%	7.1%	5.4%	5.8%	1.0%	20.0%
無回答	25人	3.0%	1.2%	0.8%	0.9%	1.4%	1.7%	7.2%	40.0%

「教育、スポーツ、文化」については、「変わらない」が 61.7%となっています。「かなり良くなった」が 2.7%、「やや良くなった」が 20.2%で合計 22.9%であり、「やや悪くなった」が 7.4%、「かなり悪くなった」が 5.0%で合計 12.4%となっています。

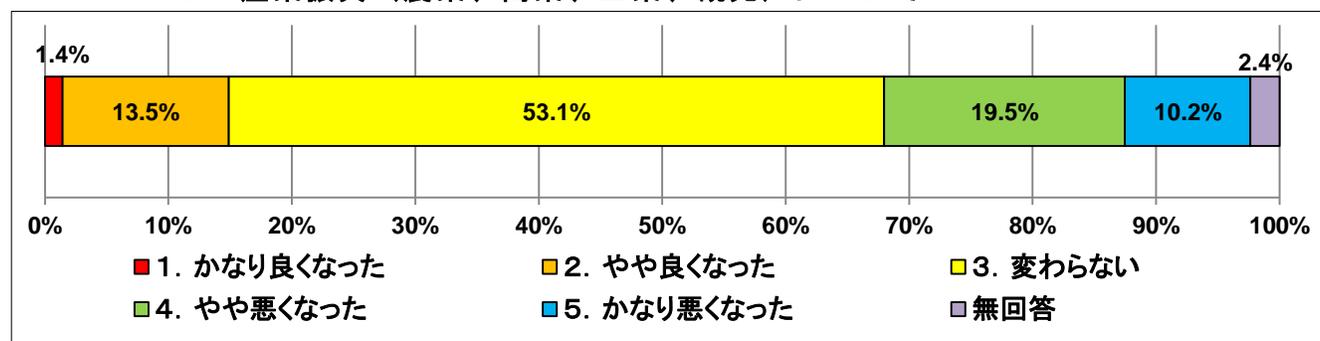
16-5 道路、公園などの都市整備について



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. かなり良くなった	53人	6.3%	4.9%	4.2%	6.2%	2.7%	8.7%	8.7%	0.0%
2. やや良くなった	340人	40.2%	47.6%	40.8%	37.2%	42.9%	40.7%	36.7%	20.0%
3. 変わらない	369人	43.6%	39.0%	46.7%	51.3%	44.9%	37.2%	44.4%	20.0%
4. やや悪くなった	39人	4.6%	6.1%	4.2%	0.9%	4.8%	6.4%	4.8%	0.0%
5. かなり悪くなった	28人	3.3%	1.2%	2.5%	3.5%	3.4%	5.8%	1.9%	20.0%
無回答	17人	2.0%	1.2%	1.7%	0.9%	1.4%	1.2%	3.4%	40.0%

「道路、公園などの都市整備」については、「変わらない」が43.6%となっています。「かなり良くなった」が6.3%、「やや良くなった」が40.2%で合計46.5%であり、「やや悪くなった」が4.6%、「かなり悪くなった」が3.3%で合計7.9%となっています。「20歳代」に関しては「かなり良くなった」が4.9%、「やや良くなった」が47.6%で合計52.5%が「良くなった」と感じているようです。

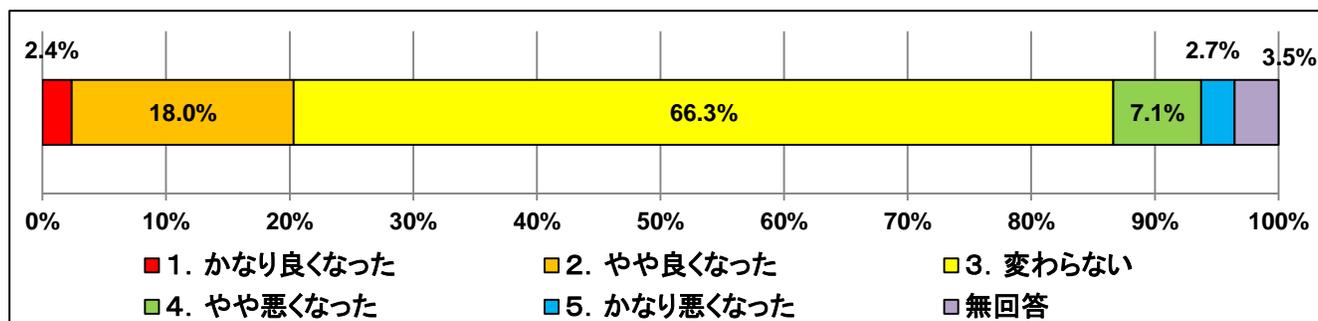
16-6 産業振興（農業、商業、工業、観光）について



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. かなり良くなった	12人	1.4%	0.0%	0.0%	1.8%	2.0%	0.6%	2.9%	0.0%
2. やや良くなった	114人	13.5%	22.0%	10.8%	8.0%	9.5%	13.4%	17.4%	20.0%
3. 変わらない	449人	53.1%	52.4%	58.3%	54.9%	55.1%	52.3%	49.3%	20.0%
4. やや悪くなった	165人	19.5%	14.6%	20.8%	17.7%	18.4%	22.7%	20.3%	0.0%
5. かなり悪くなった	86人	10.2%	11.0%	9.2%	16.8%	14.3%	8.7%	4.8%	20.0%
無回答	20人	2.4%	0.0%	0.8%	0.9%	0.7%	2.3%	5.3%	40.0%

「産業振興（農業、商業、工業、観光）」については、「変わらない」が53.1%となっています。「かなり良くなった」が1.4%、「やや良くなった」13.5%で合計が14.9%であり、「やや悪くなった」が19.5%、「かなり悪くなった」が10.2%で合計29.7%となっています。

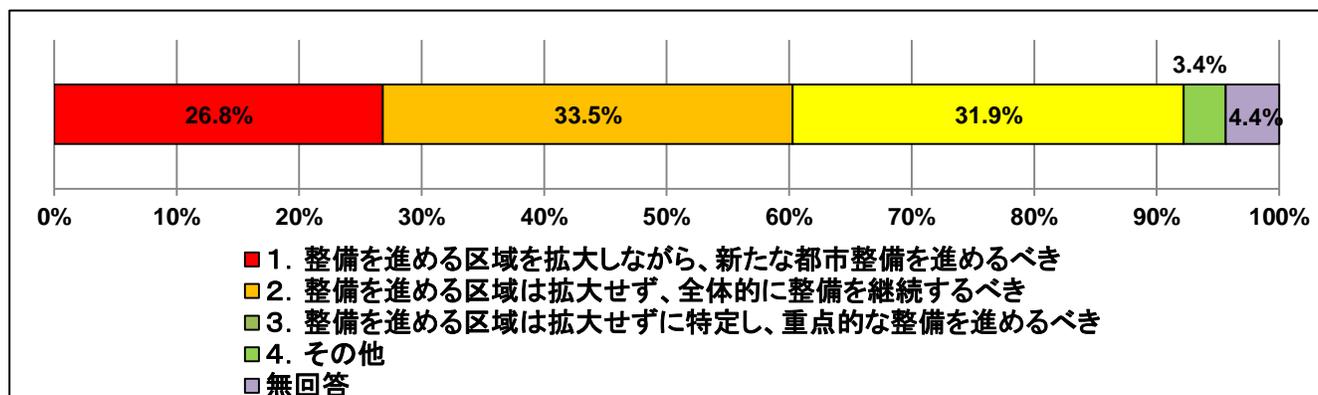
16-7 市民参加・市民協働について



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. かなり良くなった	20人	2.4%	0.0%	0.8%	0.9%	0.7%	1.7%	6.8%	0.0%
2. やや良くなった	152人	18.0%	13.4%	7.5%	13.3%	14.3%	30.8%	20.8%	0.0%
3. 変わらない	561人	66.3%	76.8%	82.5%	73.5%	70.7%	52.9%	58.0%	20.0%
4. やや悪くなった	60人	7.1%	6.1%	6.7%	5.3%	10.2%	8.7%	4.8%	20.0%
5. かなり悪くなった	23人	2.7%	2.4%	0.8%	3.5%	3.4%	4.1%	1.4%	20.0%
無回答	30人	3.5%	1.2%	1.7%	3.5%	0.7%	1.7%	8.2%	40.0%

「市民参加・市民協働」については、「変わらない」が66.3%となっています。「かなり良くなった」が2.4%、「やや良くなった」18.0%で合計20.4%であり、「やや悪くなった」が7.1%、「かなり悪くなった」が2.7%で合計9.8%となっています。

問3-17 近年、少子高齢化が進み、日本全体の人口は減少し、都市整備を支える財源が厳しい中、大月市の都市整備はどのような方向に進むべきだと思いますか。

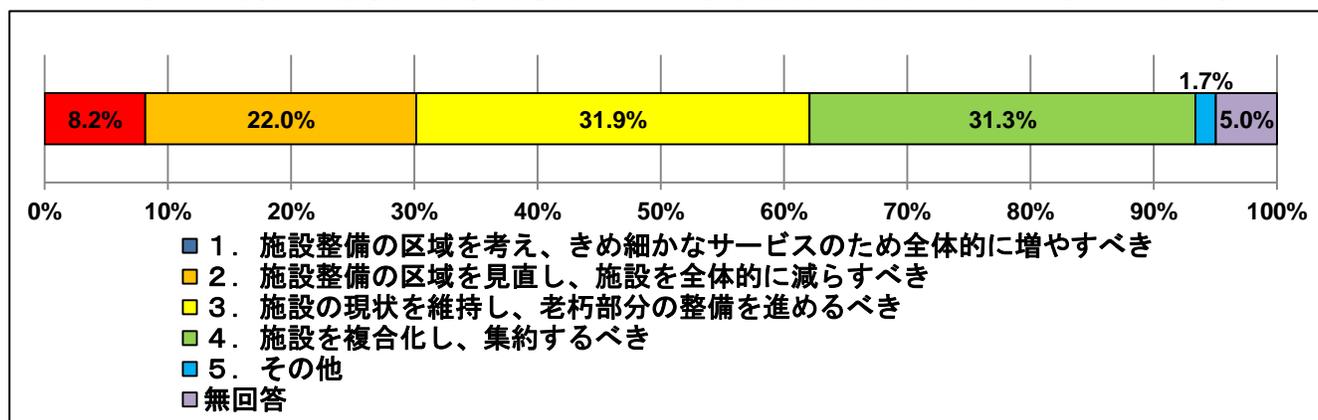


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 整備を進める区域を拡大しながら、新たな都市整備を進めるべき	227人	26.8%	30.5%	29.2%	22.1%	26.5%	26.7%	27.5%	0.0%
2. 整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続するべき	283人	33.5%	29.3%	27.5%	38.9%	32.7%	30.2%	38.6%	40.0%
3. 整備を進める区域は拡大せずに特定し、重点的な整備を進めるべき	270人	31.9%	37.8%	36.7%	36.3%	32.0%	33.7%	23.7%	0.0%
4. その他	29人	3.4%	1.2%	4.2%	2.7%	3.4%	4.7%	3.4%	0.0%
無回答	37人	4.4%	1.2%	2.5%	0.0%	5.4%	4.7%	6.8%	60.0%

その他：いらぬ物は作らないで住宅地の集約化を進めそこに財源を投入する、駅周辺を重点的に整備すべき、都留市のように人が集まる町を作るべき、抜け道など道路を整備して欲しい、区域を縮小し重点的整備を進める今の基盤をしっかりと維持管理すべき、老朽化したインフラを直す際に使い勝手の向上や災害への強さに留意、大規模な都市整備は不要、大月駅北側の開発を、都市整備より医療福祉を充実させることが大切、限界集落にも目を向けてほしい

「大月市の都市整備はどのような方向に進むべきだと思いますか。」については、「整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続するべき」が33.5%、「整備を進める区域は拡大せずに特定し、重点的な整備を進めるべき」が31.9%で、「整備を進める区域を拡大しながら、新たな都市整備を進めるべき」が26.8%で、全体として意見が分かれています。

問3-18 大月市内の公共施設（いわゆるハコモノ）は老朽化が進み、施設の維持には多くの費用が必要です。今後、どのような方向に進むべきだと思いますか。

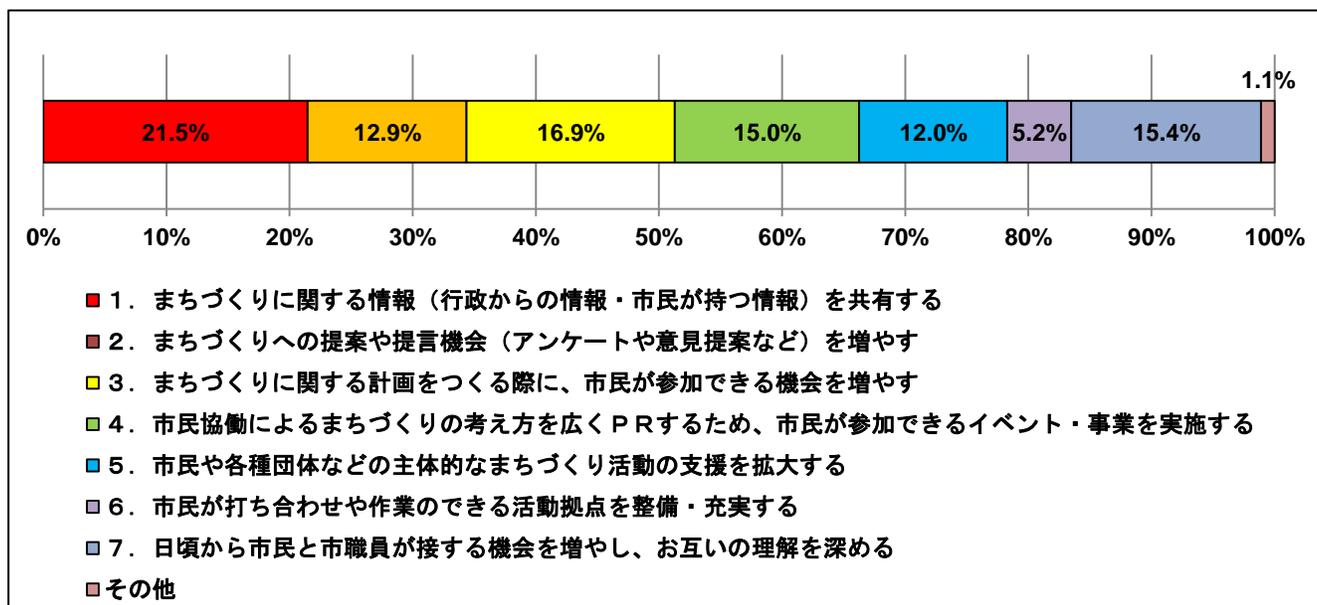


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 施設整備の区域を考え、きめ細かなサービスのため全体的に増やすべき	69人	8.2%	17.1%	15.0%	8.8%	8.2%	5.8%	2.4%	0.0%
2. 施設整備の区域を見直し、施設を全体的に減らすべき	186人	22.0%	18.3%	18.3%	23.0%	22.4%	23.8%	23.7%	0.0%
3. 施設の現状を維持し、老朽部分の整備を進めるべき	270人	31.9%	29.3%	22.5%	27.4%	29.3%	32.0%	43.0%	20.0%
4. 施設を複合化し、集約するべき	265人	31.3%	29.3%	40.8%	38.1%	36.7%	30.8%	19.8%	20.0%
5. その他	14人	1.7%	3.7%	1.7%	2.7%	0.7%	0.6%	1.9%	0.0%
無回答	42人	5.0%	2.4%	1.7%	0.0%	2.7%	7.0%	9.2%	60.0%

その他：市民会館等多くの市民が利用する施設は今より施設を充実すべき、使える施設を有効活用すべき、お金がかかるものはいらない、市の向うべき方針を立て、メリハリある対応をすべき、第三セクターに移行する、一部を修繕して介護施設の集約・充実、現在ある施設の状態・使用状況を確認し、その結果から施設の整備や増減を決めるべき

「大月市内の公共施設（いわゆるハコモノ）は老朽化が進み、施設の維持には多くの費用が必要です。今後、どのような方向に進むべきだと思いますか。」については、「施設の現状を維持し、老朽部分の整備を進めるべき」が31.9%であり、次に「施設を複合化し、集約するべき」が31.3%となっています。「施設整備の区域を考え、きめ細かなサービスのため全体的に増やすべき」は8.2%と少数意見となっています。

問3-19 大月市は「市民との協働によるまちづくり」に取り組んでいます。
 今後の取り組みでは、何が重要だとお考えですか。2つ選んでください。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. まちづくりに関する情報（行政からの情報・市民が持つ情報）を共有する	334人	21.5%	39.0%	43.3%	42.5%	44.2%	36.6%	34.8%	40.0%
2. まちづくりへの提案や提言機会（アンケートや意見提案など）を増やす	201人	12.9%	30.5%	31.7%	22.1%	26.5%	25.0%	15.0%	0.0%
3. まちづくりに関する計画をつくる際に、市民が参加できる機会を増やす	263人	16.9%	23.2%	30.0%	32.7%	34.0%	33.1%	30.0%	40.0%
4. 市民協働によるまちづくりの考え方を広くPRするため、市民が参加できるイベント・事業を実施する	233人	15.0%	30.5%	33.3%	28.3%	27.9%	29.1%	21.7%	0.0%

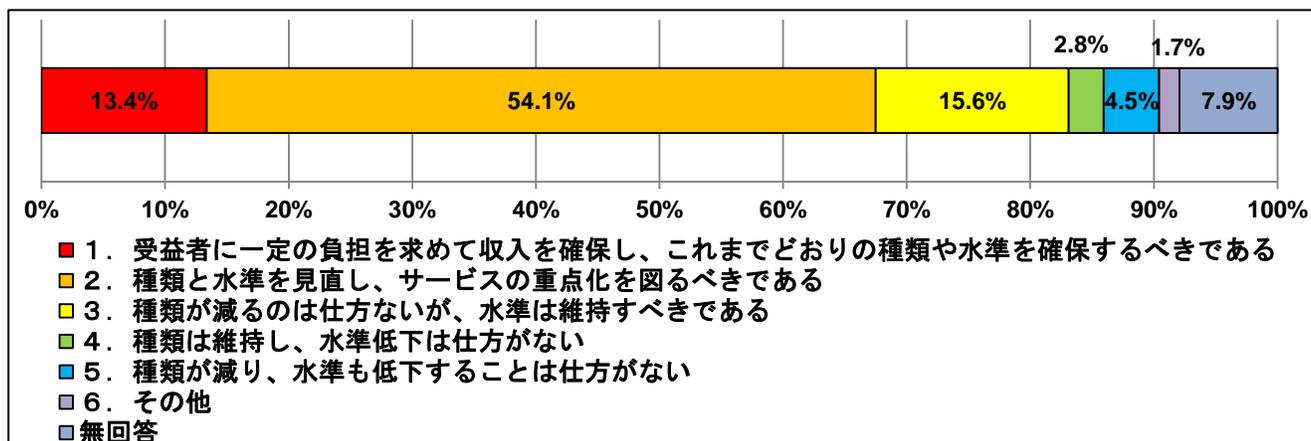
5. 市民や各種団体などの主体的なまちづくり活動の支援を拡大する	187人	12.0%	25.6%	16.7%	24.8%	23.1%	20.3%	23.7%	0.0%
6. 市民が打ち合わせや作業のできる活動拠点を整備・充実する	81人	5.2%	15.9%	7.5%	11.5%	6.8%	10.5%	8.7%	0.0%
7. 日頃から市民と市職員が接する機会を増やし、お互いの理解を深める	240人	15.4%	25.6%	23.3%	26.5%	25.2%	27.3%	37.2%	0.0%
その他	17人	1.1%	3.7%	2.5%	3.5%	1.4%	1.2%	1.4%	0.0%

※ 2項目選択のため合計人数が回答者数を上回る

その他：全体の指針となるグランドプランの策定、市職員の意識改革、各分野から、何に「困り感」を持っているか生の声を聞くようにする、世代別に集まり意見を交換し合える場を設ける、何をしても市民の意見は通らないと思う、県外の人々への周知を増やす、大月市を好きになれるイベント、地元を盛り上げる気持ちになれるイベントを実施する、市民が自由に活躍できる環境を整える、市民からの要望にすぐ動く課をつくる、形だけで意味がない事はすべきでない、若い人の意見を取り入れ土地を有効活用すべき

「大月市は「市民との協働によるまちづくり」に取り組んでいます。今後の取り組みでは、何が重要だとお考えですか。」については、「まちづくりに関する情報（行政からの情報・市民が持つ情報）を共有する」が21.5%で最も多く、次に「まちづくりに関する計画をつくる際に、市民が参加できる機会を増やす」が16.9%となっています。

問3-20 限られた市の財源を、より効果的に配分・活用していくことが求められています。これからの行政サービスのあり方についてどのようにお考えですか。

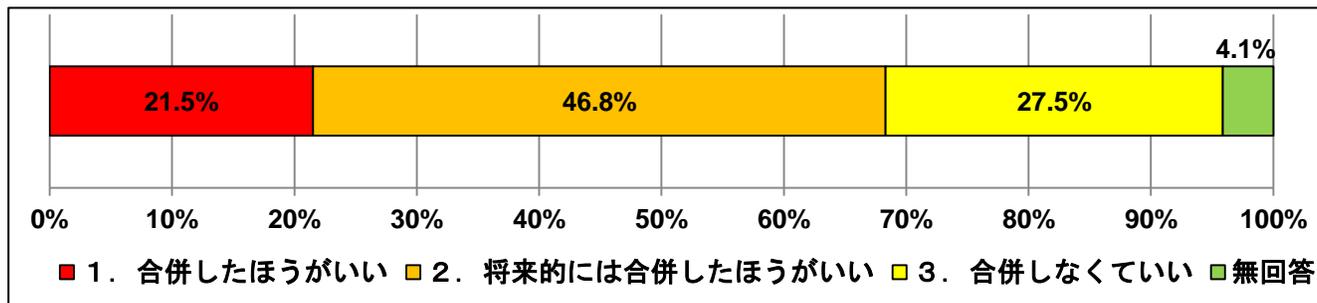


質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 受益者に一定の負担を求めて収入を確保し、これまでどおりの種類や水準を確保すべきである	113人	13.4%	14.6%	10.8%	9.7%	7.5%	14.5%	19.8%	0.0%
2. 種類と水準を見直し、サービスの重点化を図るべきである	458人	54.1%	51.2%	60.0%	60.2%	62.6%	51.2%	45.4%	40.0%
3. 種類が減るのは仕方ないが、水準は維持すべきである	132人	15.6%	19.5%	14.2%	16.8%	16.3%	14.0%	15.5%	0.0%
4. 種類は維持し、水準低下は仕方ない	24人	2.8%	3.7%	2.5%	2.7%	1.4%	4.7%	2.4%	0.0%
5. 種類が減り、水準も低下することは仕方ない	38人	4.5%	1.2%	4.2%	7.1%	4.1%	4.7%	4.8%	0.0%
6. その他	14人	1.7%	0.0%	3.3%	3.5%	2.0%	0.6%	1.0%	0.0%
無回答	67人	7.9%	9.8%	5.0%	0.0%	6.1%	10.5%	11.1%	60.0%

その他：市職員の質の向上が先決、給付すべきでない人の見直し、市営にて収入源を考慮すべき、保守的な町に人は住まない、県立美術館のミレー収入などを真似してみても、病院を黒字にすれば行政サービスは行える、財源が無いとよく言われるが何がどのように不足しているのかわからない、受益者負担は当然で選択と集中である、生活に直結する部分切実な部分は維持して優先度（切実度）の低い物から削減する、本当に必要なサービスかどうかを精査して種類水準を見直す、市議会議員を減らしていく大月市のために働いていない、受益者に一定の負担を求めて収入を確保し種類と水準を見直す、優良企業の誘致に力を入れ法人税を増やすことを考えれば極端な行政サービスの低下は考えられない

「これからの行政サービスのあり方についてどのようにお考えですか。」については、「種類と水準を見直し、サービスの重点化を図るべきである」が、54.1%で最も多くなっています。

問3-21 大月市は平成の大合併をしておりません。しかしながら、効率的な行政運営を行うには、今後も継続して広域的な連携を検討する必要があります。
市町村合併について、あなたはどのようにお考えですか。



質問	回答数	比率	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1. 合併したほうがいい	182人	21.5%	12.2%	25.8%	23.0%	21.1%	23.8%	20.8%	0.0%
2. 将来的には合併したほうがいい	396人	46.8%	35.4%	42.5%	46.0%	51.7%	51.2%	47.3%	40.0%
3. 合併しなくていい	233人	27.5%	50.0%	29.2%	28.3%	23.8%	20.9%	26.1%	0.0%
無回答	35人	4.1%	2.4%	2.5%	2.7%	3.4%	4.1%	5.8%	60.0%

「市町村合併について、あなたはどうのようにお考えですか。」については、「将来的には合併した方がいい」が、46.8%と最も多くなっています。「合併したほうがいい」とあわせると、68.3%が合併について前向きな回答となっています。しかし、「20歳代」の50%が「合併しなくてもいい」と考えています。

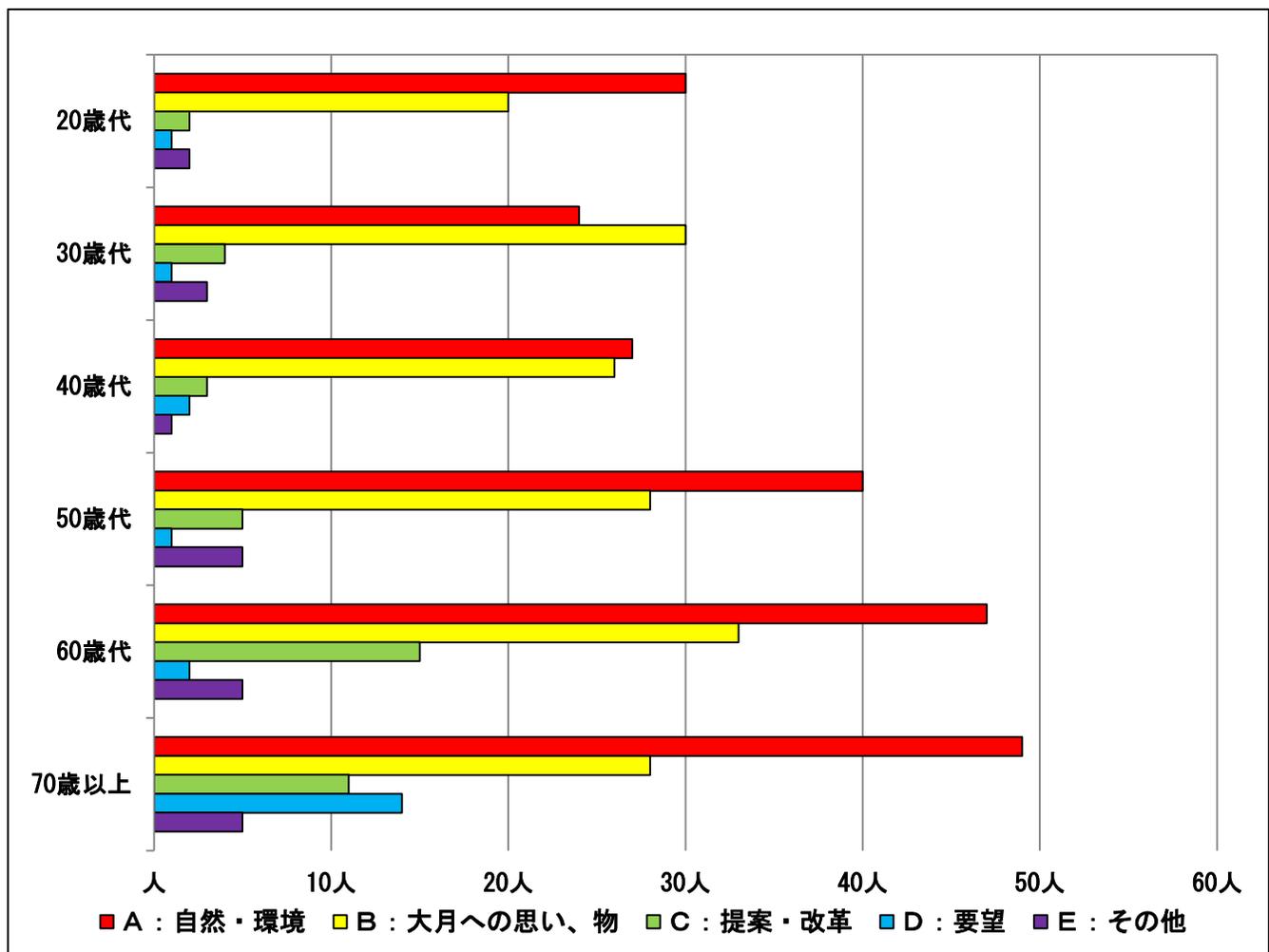


問3-22 あなたが、大月市の一番誇りに思うことや、大切にしたいと思うことは何ですか。人・自然・産業・伝統文化など簡潔に記入してください。

(フリーアンサー)

記入あり	468人	55.3%
記入なし	378人	44.7%
合計	846人	100.0%

項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
A：自然・環境	30人	24人	27人	40人	47人	49人
B：大月への思い、物	20人	30人	26人	28人	33人	28人
C：提案・改革	2人	4人	3人	5人	15人	11人
D：要望	1人	1人	2人	1人	2人	14人
E：その他	2人	3人	1人	5人	5人	5人
合計	55人	62人	59人	79人	102人	107人



No.	性別	年齢	居住地区	項目	フリーアンサー
1	男	70歳以上	猿橋	A	自然が豊かで街がきれい
2	女	30歳代	大月	A	自然
3	女	20歳代	七保	A	自然が多い。東京へのアクセスもよく住みやすい。
4	女	40歳代	猿橋	A	登山者が来るので自然を残す
6	女	50歳代	大月	B	庭から富士山が見える
10	女	20歳代	猿橋	A	自然が多く住むところとしてはとても良いと思う。自然を大切にしていきたい。また人がとても温かい。
11	男	70歳以上	猿橋	A	緑、山、川
13	男	70歳以上	賑岡	B	人の和
14	男	20歳代	大月	C	鉄道、高速道の分岐位置するメリット拡大。駅前にビジネスホテル充実。ご飯を食べるところが少ない。
16	男	40歳代	笹子	C	星空がきれいなので、これ以上照明で明るくしない方がよい。
20	男	60歳代	笹子	A	自然が美しい。東京まで1時間強で行ける地の利。
22	女	20歳代	猿橋	B	自然。中学生の時に授業の一環として植林を体験し、大月だからこそ出来た経験だと誇りに思っている。
24	女	60歳代	七保	B	かがり火祭り
26	女	30歳代	大月	B	名勝猿橋
27	男	70歳以上	富浜	C	素晴らしい自然ありながら気づいていない人が多い。きれいにして観光につなげる。
30	男	20歳代	大月	A	中央道、中央線と多くの面で交通の要所で都内まで1時間以内であること、その中でも自然が多く夜は静かでのどかなところ・住みやすい・居心地がよい。
32	女	60歳代	梁川	C	スカイツリーと岩殿山で名前が聞かれたか。山登り人気をなんとか活かさないか。
33	女	70歳以上	賑岡	E	都心まで乗り換えなしで行けること・人と人とのつながり・自然は山林など手入れしながら残す・産業はいまいち
37	男	50歳代	富浜	B	伝統文化

38	男	70歳以上	初狩	B	自然が素晴らしい・人と人のつながり・思いやり・いつも近所の人に助けて頂いている
40	女	60歳代	七保	A	自然
44	男	70歳以上	笹子	A	自然環境の保全
45	女	70歳以上	梁川	A	自然の美しさ
46	女	40歳代	真木	A	山の多さ
47	男	20歳代	瀬戸	B	人と人とのつながり
50	女	70歳以上	富浜	B	伝統文化・自然を大切にしたい
51	女	50歳代	猿橋	B	猿橋・日本三奇橋
53	男	60歳代	賑岡	A	首都圏からも近く交通手段の条件もある程度整っていて自然環境が美しい
54	男	30歳代	真木	A	ウェルネスパークなどの自然
55	女	20歳代	初狩	A	自然豊か
56	女	20歳代	賑岡	A	自然豊か
60	女	60歳代	猿橋	B	自然環境
61	男	40歳代	猿橋	B	猿橋・岩殿山
66	男	20歳代	猿橋	B	ゆったり流れる時間・東京から一番近い田舎
67	男	50歳代	梁川	A	私の住んでいる周囲においては付き合う人々は付き合いやすいし、周りは山、川の自然環境も良く、四季折々が感じられる素晴らしい環境にあると思います。
69	男	40歳代	賑岡	B	自然を活かしたやり方を全面にして守っていく
73	女	60歳代	賑岡	A	岩殿山・猿橋、他県から訪れる人々がいるので、その周りにもっと人をひきつけるようなお店とか公園など充実すればよいと思う。自然に関しては素晴らしいと思う。
74	女	20歳代	大月	B	人
75	女	50歳代	猿橋	A	自然・静かさ

76	女	70歳以上	七保	C	日本三奇橋の猿橋をボランティア任せでなく市がイニシアティブをとってPR活動すべき
78	男	70歳以上	七保	B	私は一人暮らしのため遠くの親戚より近くの他人を大事に、この美しい大月市の自然を誇りに思い生きていきます。
79	女	70歳以上	猿橋	E	猿橋に住む者として三奇橋の観光をより一層宣伝し、駐車場の整備をもっと増やし、お客を増やして欲しい。
81	女	30歳代	猿橋	B	人の優しさ・自然
82	男	30歳代	七保	A	豊かな自然
86	女	30歳代	富浜	B	伝統文化
88	男	60歳代	梁川	B	猿橋・観光がいまいち
89	男	50歳代	富浜	A	自然・山・登山客が多く来る
90	女	50歳代	富浜	A	自然
91	女	50歳代	梁川	B	猿橋・矢立の杉・倉岳山・岩殿山
93	男	40歳代	大月	B	名勝猿橋
97	男	20歳代	猿橋	A	自然
98	女	50歳代	初狩	C	県外の人達が立ち寄る初狩パーキングを整備し、店を大きくして、地場産の物を置いたショップなどの大月市をアピールできるようにすれば良いのでは。
99	女	20歳代	猿橋	B	猿橋まんじゅう
101	女	40歳代	初狩	E	何もないので誇れる町にしてほしい
102	女	60歳代	賑岡	E	自然・伝統文化は素晴らしいと思います。若い人が少なくなり、地域活動を行う上でかなり支障が出ています。後継者がいない為、地域の役職等引き受けても次に渡せず困ることが多いです。
103	男	40歳代	大月	A	豊かな自然
104	男	60歳代	大月	A	自然
105	女	50歳代	七保	A	川がきれい

108	女	50 歳代	富浜	E	都心に近いが自然が豊かである。真面目な人が多い。富士山の眺めは日本一ではないが美しい富士山が見られる。名勝猿橋がある。おつけだんごはおいしくないが安全な農産物が取れる。
110	女	60 歳代	初狩	A	今のままの自然がずっと続いていくように
116	女	50 歳代	猿橋	A	自然
120	男	20 歳代	笹子	B	伝統
123	女	40 歳代	賑岡	A	自然環境・人のよさ
124	女	30 歳代	猿橋	B	各地区に伝統的な文化や行事があるのでそれを大切に
126	男	60 歳代	真木	A	大自然の美しさ
127	男	60 歳代	真木	A	自然豊かな、落ち着いたまち
131	男	60 歳代	笹子	A	自然のみ・他に何もない
132	女	20 歳代	大月	A	大自然でいい
137	女	30 歳代	梁川	A	自然が大きく残っていること
139	女	60 歳代	瀬戸	A	自然が豊かなこと。交通の便がまあまあだと思う。
143	女	70 歳以上	七保	E	豊かな自然を大切にしたい。隣接の山への登山客がここ数年増え続けていると思う。これらのルートを整備する。市民も健康志向が強いので、自然を求めて行動する意欲は大きいと思う。
144	女	60 歳代	猿橋	A	自然
145	女	30 歳代	富浜	B	地域の小規模な祭りはどんどん衰退していつているが、かがり火祭りだけは盛大に行っていること。
146	女	40 歳代	猿橋	A	平和・自然豊か
150	男	70 歳以上	梁川	A	自然
151	女	30 歳代	賑岡	B	自然に囲まれている大月市、人と自然をつなぐ、つないでいく事、いける事をこれからも大切に思っていきたいです。

152	女	70歳以上	猿橋	A	自然
153	女	20歳代	猿橋	E	福祉
155	女	60歳代	猿橋	A	自然と都心に近い
156	女	30歳代	富浜	A	自然
159	女	70歳以上	賑岡	A	自然の美しさ
160	男	50歳代	賑岡	A	自然
162	女	60歳代	猿橋	A	大月の自然はとても良いのでこのまま残す・産業は増える といい
167	男	70歳以上	猿橋	A	自然
168	女	60歳代	大月	C	植林を盛んにして自然環境保全のための樹種を育ててほ しい。植林は販売目的ではなくCO2削減に効果のある樹 種を植えることが望ましい。また山の動物のエサになる 木。
169	男	60歳代	賑岡	D	岩殿山の丸山公園までの車の乗り入れ出来るように道路 の整備、駐車場等の設置
172	女	70歳以上	大月	A	美しい自然・比較的都会に近く文化に触れる機会に恵まれて いる
175	女	60歳代	猿橋	C	東京に近く、自然などの環境の良さをアピールして住みや すさを追求していく姿勢を持っていけばいいと思う。
179	女	20歳代	初狩	A	自然が近く、富士山がきれいに見られるところ。
180	女	40歳代	大月	B	それを探しています。嫁いできましたが、ご近所との付き 合いは良く、優しい方々ばかりだなあと感じます。
181	男	60歳代	猿橋	A	山、川、人、富士山、先人からの教え
187	男	50歳代	七保	B	市内自体に大きな産業等は少ないが、素朴な人柄や穏やか な自然を大切にしていけばいいのでは。
189	女	40歳代	富浜	B	自然を活かした観光面で、富士山世界遺産決定後のここ数 年以前より良い方向に向いているように思う。更なる集客 のために問3-18にも書いた感じの施設に観光客が利 用できるフロアーも設けたりしたらどうか。興和跡地あた りは富士山も見えるかと思えますし、市民も観光客も共に 集える施設として。

192	男	20 歳代	富浜	A	自然
193	男	60 歳代	大月	A	自然豊かで都会に近く人々が温かい
195	女	50 歳代	初狩	A	初狩町の自然
200	男	60 歳代	初狩	A	都心に近く山や川の自然の美しさ
202	女	30 歳代	猿橋	A	大月市の自然は大切にしていきたい
203	男	30 歳代	猿橋	B	古くから交通の要所である点・近年富士山が世界遺産に登録され富士急行線のターミナルとして世界的にも注目されていると思う。
205	男	50 歳代	猿橋	B	伝統文化財
206	女	70 歳以上	初狩	A	自然と伝統文化
207	男	20 歳代	賑岡	B	富士山に近く岩殿山（小山田氏）
208	男	70 歳以上	初狩	B	高川山
210	男	40 歳代	七保	A	自然
211	女	70 歳以上	富浜	A	自然と人のつながり
213	女	40 歳代	賑岡	B	歴史財産が数多く大月市にはあるので大切にしながら伝えていく事
214	女	40 歳代	猿橋	B	自然や文化（猿橋など）、名物（おつけ団子）
215	女	50 歳代	富浜	A	自然
216	男	70 歳以上	七保	A	自然、伝統文化
217	女	70 歳以上	七保	D	自然の良さをもっとPRして近県の人に来て見たい町になってほしい
218	女	70 歳以上	富浜	A	自然
220	女	30 歳代	富浜	E	電車に座れる
221	女	50 歳代	大月	A	都市部への交通が便利

222	女	60歳代	大月	A	自然、多くの登山できる山々がある。
223	男	20歳代	富浜	A	東京都へのアクセスが可
227	男	40歳代	賑岡	B	猿橋・岩殿山
229	男	40歳代	大月	A	自然
230	男	60歳代	大月	C	岩殿山に今以上に桜を植えて自然環境を大切にと思いません
231	女	70歳以上	大月	A	公害の無い町、豊かな自然を守り、山梨の観光の玄関口として県外のお客様を迎える重要な役割を担っている事等です。
232	男	40歳代	笹子	A	自然が豊か
233	女	60歳代	笹子	B	笹子追分人形保存会（伝統文化）、それぞれ学生、仕事があるなか、続けていくことに誇りを感じます・息子も孫も頑張っています。
234	男	70歳以上	猿橋	A	自然の美しさ
236	男	60歳代	猿橋	B	人
238	男	60歳代	瀬戸	A	自然と伝統文化を大切に更に発展を望む
241	女	70歳以上	笹子	B	笹子追分人形長く続けてほしい
244	女	50歳代	賑岡	A	都心に近くなのに、自然と空気と水と山がきれい。
245	男	20歳代	富浜	A	自然が豊かで各種交通網が充実したまちであること
246	男	50歳代	賑岡	A	たくさんの自然
248	女	40歳代	賑岡	C	自然豊かな環境でありながら都心への交通の便が良く、通勤圏であること。都心の人に来やすいこと。もっと大月に来たい、行ってみたいと思うような町、小さくても魅力のあるまちにしてもらいたい。
249	男	70歳以上	富浜	A	自然に恵まれた環境
250	女	30歳代	梁川	B	絹産業
251	女	70歳以上	大月	A	自然が多くて住みやすい

254	女	40 歳代	大月	A	自然の多さ・富士山の眺望
255	女	30 歳代	初狩	B	色んな町がありますが、やっぱり大月市民の人柄
256	女	50 歳代	真木	A	自然
258	女	70 歳以上	七保	D	市民病院に泌尿器科がほしい
259	男	70 歳以上	猿橋	D	何とか人口増加、居住者増加に取り組んでいることは立派 伝統をPRする専門部の充実を願いたい。
260	男	70 歳以上	富浜	D	伝統文化と産業を進め、人と自然を大切にしてい明るい市を 目指してほしい。
262	女	70 歳以上	猿橋	A	自然環境の整備について
263	女	70 歳以上	富浜	D	都心へも電車で直通でつながり、また富士山文化遺産で観 光客も増え、大月市内の名所や食べ物をもっとアピールし て大月市の良さをもっと知ってもらいたい。
264	男	60 歳代	猿橋	A	自然に恵まれ、都心へのアクセスも良い。
266	女	70 歳以上	猿橋	B	三奇橋の一つ猿橋を誇りに思う。田んぼのある風景を大切 にし、なくならないでほしいと思う。
267	男	30 歳代	笹子	B	人
268	女	30 歳代	猿橋	B	人がみんなあたたかい
270	女	50 歳代	猿橋	B	挨拶、思いやり
275	男	40 歳代	大月	B	山
281	女	50 歳代	賑岡	A	文化の面ではとても素晴らしい人材がいたはず。自然では あまり手を加えていない所だと思うので、素の自然を活か し、林業に力を入れたい。
283	女	70 歳以上	大月	A	自然…市外から越してきた方々に大月の自然のすばらし さを聞かされます。そして大月に住むことの美しさをほめ ていただけます。便利も不便もありますが、四季折々の季 節の中で、自然とちょうどよい距離の中で生活できる心地 よさを喜んでおります。
285	女	70 歳以上	猿橋	B	猿橋、岩殿山、かがり火祭り
287	女	70 歳以上	真木	B	世界遺産の富士山がきれいに見える事と日本三奇橋の猿 橋があることです。山梨百名山も大月市にはたくさんあり

					ます。これらを観光に活かすべきです。
288	女	50 歳代	七保	B	自然の中で子育てが出来たことや、地域の方々の思いやりのある気持ちに接することなど、人間として、豊かな感受性が持て、住めることです。
295	女	70 歳以上	富浜	B	近所付き合い、人間関係、自然、伝統文化
299	女	40 歳代	真木	A	富士山がきれいに見える。市民全員が感動する心づくり見えてあたり前ではなく、感動の心を。
302	男	30 歳代	猿橋	A	自然
303	女	70 歳以上	賑岡	A	自然
304	女	70 歳以上	大月	C	何もかも明るく楽しく住みたいです。
305	女	50 歳代	賑岡	B	人
307	男	70 歳以上	猿橋	A	6つの駅からすぐ登山口に近くてハイキングコースがあること
308	男	40 歳代	猿橋	B	昔はあったが今はない。ただ桂川の自然は大切にしたい。
309	女	70 歳以上	梁川	B	人と自然がなか良く過ごせる時間
310	女	50 歳代	富浜	B	人・地域の和
311	女	70 歳以上	富浜	C	日本で富士山が一番綺麗に見える町と云われていますが、其の場所のPRとそこ迄の道路の整備と安全の確保を充実させていけたらと思います。
312	女	50 歳代	七保	A	自然を大切にしたい。人の交流が少ない。
313	女	60 歳代	大月	E	大切にしたい事、東京へ電車で行くにも便が昔より良くなったので近郊からの人の流れを感じることがあります。 (土日のハイカー) せっかく大月へきたのだからよろこんで帰ってもらえるよう、駅前を整備してくれきれいになった。
314	男	20 歳代	大月	B	どこに行くにもアクセスのよい所が誇りに思う
316	女	50 歳代	大月	A	世界遺産の富士山に近く自然があふれている
317	女	60 歳代	猿橋	B	土地で取れた野菜、手づくりのおまんじゅうとかその他いろいろその土地でとれたもので物を作るという事は、買う者にとって安心して求められるので、その点大月市はいい

					所であり、自然を大切にしていきたいと思う。
318	女	60歳代	大月	A	豊かな自然・東京方面への通勤通学が便利
319	男	60歳代	猿橋	B	日本三奇橋の「猿橋」の近くに住んでいます。大月市在住の方でもこの「猿橋」をよく知っている人は少ないのではないのでしょうか。この「猿橋」の素晴らしさを大月市の方々にはもちろん全国の方々にももっと観て知って戴きたい。
320	女	70歳以上	賑岡	A	誇りに思う事はないが、どちらかと言えば自然だけ。
321	女	70歳以上	大月	B	猿橋や追分人形（笹子）真木の奥の自然、ちょっとしたハイキングが楽しめる山々や美しい川、七保の川釣や炭焼き、大きな柿の実の干し柿の美味しさ、残して欲しいものが沢山あります。
323	男	70歳以上	猿橋	A	自然の大切さ、伝統文化の継承
326	女	30歳代	猿橋	A	空気がきれいで自然（花、鳥、木、草）にあふれている
327	男	40歳代	猿橋	A	自然（都心からも近いのに自然豊かである）
328	男	70歳以上	富浜	A	自然を大切にしてもらいたいです
329	男	40歳代	猿橋	A	自然
332	男	60歳代	富浜	B	東京圏に近く自然が豊かである
333	男	60歳代	大月	C	岩殿山・猿橋などの観光客を呼べそうな所を保護、整備する。
335	女	40歳代	大月	B	岩殿山、猿橋等他の場所にはないもの。
337	女	30歳代	賑岡	C	大月は富士山の眺めがよいのでそれをもっと全国的に広めていければよいと思う。
339	男	40歳代	富浜	A	自然
341	女	60歳代	賑岡	A	大月は自然があり大好きです
342	男	20歳代	七保	A	自然が豊かなところ
345	男	60歳代	笹子	B	追分人形、岩殿城跡、猿橋、矢立の杉、自然環境の保護
348	女	30歳代	笹子	C	大月市だけのもの。伝統ブランドを大切にしてほしい。

349	女	20歳代	七保	A	景色（自然が豊か）がきれい
350	男	70歳以上	猿橋	A	豊かな自然を守り活用し、観光（集客）に役立せること。地域住民の助け合いの気持が強く有り、災害発生時等安心である。
351	男	60歳代	富浜	A	自然
354	女	60歳代	七保	C	安定した収入が得られる仕事を増やし、産業を活性化させる。
355	男	70歳以上	賑岡	D	人との協力を大切にして、やすらげる大月市にしたい。
356	女	60歳代	笹子	B	笹子追分人形の復活、猿橋の子供歌舞伎、山の自然
357	女	60歳代	笹子	B	自然が豊かで何にもない所でものんびり暮らせ自然災害でも壊滅的な打撃を受けない所
358	男	70歳以上	賑岡	E	文化と言いたいが、文化の振興を目指す努力が行政には見られない。
359	男	70歳以上	富浜	A	首都圏に近く自然豊かな所
361	女	60歳代	富浜	E	自然に恵まれている。人は独身の人が多い・結婚できないそのため人口がどんどん減っている。
362	女	30歳代	猿橋	B	名勝猿橋とかは大事に残したほうがいいと思う
363	女	50歳代	猿橋	A	自然
364	男	70歳以上	大月	C	産業を誘致し増やしていったら良いと思う
367	女	30歳代	猿橋	B	猿橋
369	女	70歳以上	大月	D	必要のない所にお金をかけすぎない事。もっと身近な所に目を向けてほしいです。これと云って、特に良いと思う所がありません。
371	男	30歳代	富浜	B	人間関係（お互いに助け合いながら生活できればいい）
373	男	50歳代	七保	B	山紫水明。猿橋があること。
376	女	60歳代	猿橋	D	自然が豊かで住むのには環境が良いと思います。でも大型店舗が欲しいです。（ウェルネスパークの所）
378	男	50歳代	七保	A	田舎で自然豊か
379	女	20歳代	富浜	B	桃太郎伝説や追分人形などの歴史的なもの。猿橋や百名山などの自然、イルミネーションやウェルネスパークなどの

					イベントや娯楽・リニアに近い・深城トンネルなどの交通の便など、誇りに思うことはたくさんあります。もっとPRしてもよいと思います。最近はTV（富士山方面）の取材で大月駅などたくさん出てよいことと思う。
383	女	20歳代	七保	A	自然豊かなところ
386	女	70歳以上	大月	B	人、自然は良いのに生かしきれていないのがおいしい。
389	女	70歳以上	猿橋	B	三奇矯の一つである猿橋を大事にし、観光面においても、もっともっと盛り上げて行きたい。
392	女	40歳代	猿橋	A	自然の豊かさ、都心への近さ。
397	女	40歳代	真木	B	桂台や四季の丘をもっと拡大し、住民増加に力を入れた方がよいと思います。大月に来て20年になりますが、どんどんさみしくなっていると思います。
398	女	20歳代	賑岡	A	自然と共生
399	女	50歳代	猿橋	B	岩殿山、宿場町文化、織物、地場の木、野菜、酒
401	女	20歳代	賑岡	E	岩殿山、猿橋などの観光名所を大切にしてほしい。
403	男	30歳代	真木	B	「お茶のみ」という言葉を大月市に来て初めて聞きましたみんな他人と話をしたがっているし、ふれ合いたがっているが上手くできない人もいます。みんな仲がいい・東京では知らない人ばかりである。
404	男	40歳代	初狩	B	首都圏に近い、住み良い町！活気あふれる大月人！といたいところですが・・・。
405	男	60歳代	猿橋	B	東京に近い。登山客が多い。適当な山登りのできる山がある。猿橋がある。観光名所が数多くある。これを利用。農業振興のためには道の駅等の生産した農産物が出荷できる場所を造れ、活力ある市にするには市役所職員にやる気を起こさせよ。
406	女	20歳代	大月	A	自然
407	男	50歳代	大月	A	自然
408	男	30歳代	賑岡	B	岩殿山
410	女	20歳代	大月	B	人とのつながり、商店街のぬくもり。
412	女	20歳代	大月	B	地域の仲の良さ、つながり。

414	女	60歳代	大月	B	人（大切な宝です）
415	男	20歳代	富浜	D	誇りや大切にしたいのは、自分の生まれ育った市・町ということ。だから若い人が定住できる、しやすい環境を今以上に考えて下さい。若い人たちも大月が好きな人は多いですが、今のままでは減少するのはしかたないと思います。
416	男	20歳代	梁川	A	自然
417	女	60歳代	猿橋	A	ひとりひとりが健康にすごせる自然環境
421	女	30歳代	猿橋	A	すごい田舎なのに中央道・中央線沿線に存在している。
422	男	50歳代	猿橋	A	東京への通学、通勤圏内にあること。
423	女	40歳代	七保	B	産業
424	女	40歳代	七保	B	自然
427	男	50歳代	梁川	B	人
428	女	30歳代	猿橋	C	登山、ゴルフ場など、東京からも気軽に訪れる事ができる。今人気の趣味の施設（山、ゴルフ場）があるのでもっと沢山の人の来て頂きたいと思います。
429	男	60歳代	大月	A	自然
433	男	50歳代	猿橋	B	自然、猿橋
434	男	70歳以上	初狩	C	登山道の整備
436	男	70歳以上	富浜	A	自然環境が良いこと
437	女	70歳以上	富浜	A	豊かな自然・きれいな水・おいしい空気・次の代のためにしっかり守りたい。
441	女	20歳代	七保	A	大月に普段いないので詳しくは分かりませんが、ドラマに使われていたりして嬉しく感じたのでそういう場所は今後も大切にしたいです。
443	女	60歳代	無回答	A	自然がまだまだ沢山残っているので大切にしていきたい。
444	男	60歳代	富浜	B	皆人が良く自然が多く住みやすい

445	女	40 歳代	賑岡	A	阿波踊りは有名になって来ている為、盛大に実行したほうが良いと思います。
447	女	50 歳代	瀬戸	A	人と自然
448	男	40 歳代	賑岡	A	自然に恵まれた環境が大月の最大の魅力だと思います
449	男	60 歳代	七保	A	自然、山、川
450	男	70 歳以上	笹子	A	自然
452	女	60 歳代	初狩	A	自然が多いこと
455	女	50 歳代	真木	B	世界遺産の富士山を見る絶景スポットが多い。日本三奇橋猿橋、伝統の笹子追分人形。
458	男	30 歳代	猿橋	A	自然
459	女	60 歳代	猿橋	A	自然
461	男	50 歳代	七保	E	大月市の人口も減少している中、子供、若者の数がさらに少なく学校も減少し、大月の中の地域社会がなくなる。文化、書店が1つもない市。
462	男	60 歳代	猿橋	A	自然
464	女	30 歳代	大月	A	都心からもアクセスしやすい地・伝統文化。
467	女	20 歳代	七保	B	岩殿山、猿橋
468	女	60 歳代	七保	B	今の大月には、これといってないにひとしいと思います。あるとすれば岩殿山、猿橋。
469	男	70 歳以上	初狩	B	自然、人は地区によって違う。
470	女	30 歳代	富浜	A	人とのつながりです
472	男	50 歳代	猿橋	B	中央線の快速が乗り入れていること
473	女	20 歳代	富浜	A	自然が多い
474	男	20 歳代	七保	A	自然（山、林、緑、空気）・文化
477	女	70 歳以上	猿橋	B	猿橋、大自然

479	女	70歳以上	初狩	A	自然
480	男	30歳代	猿橋	B	伝統文化、芸術
481	女	70歳以上	猿橋	B	猿橋中学校の生徒が日本三奇矯の美化作業の様子をTVで放映されたこと
482	男	40歳代	猿橋	B	大月市は都心から近いですが、とてもものどかな所で住みやすい市だと思います。人口減少は進んでいますが、むかしながらの伝統的な祭りなどを大切にしている所はずっと続いてほしいと思います。
484	男	30歳代	猿橋	A	自然環境
485	男	40歳代	真木	A	多くの自然
488	男	50歳代	大月	C	自然があり東京からも近い利点がある。ハイキング、山登りのお客さんがきている。駅周辺などで列車を待つ間の喫茶店やおみやげ店の充実を図る。(通年発売可能な農産物店など)
489	女	20歳代	大月	B	治安のよさ。道路にゴミが落ちていないこと。
494	男	70歳以上	富浜	C	人口増加に努め、公共施設を建物とも早期利用してもらいたい。
495	男	70歳以上	七保	B	大切にしたい事、自然、静かさである、人々のつながり。
496	女	50歳代	富浜	E	思うことがありません
500	男	50歳代	梁川	B	山や川の自然、かがり火まつり
502	男	60歳代	笹子	A	自然
504	男	70歳以上	梁川	C	昨今都心から自然との触れ合いを求めて尾根歩き登山などをする人々が年々増えて来ています。住居を持ちたいと思う人も少なからずいると思えます。ただ、生活道路、国道の歩行者道等のインフラ整備が遅れている。
509	女	40歳代	大月	A	自然
511	男	40歳代	猿橋	A	自然と地域産業の調和
514	女	60歳代	猿橋	A	自然
515	女	50歳代	猿橋	A	自然

519	男	70歳以上	真木	A	自然環境、人情
522	女	70歳以上	初狩	C	休耕田を利用できないか。ボランティアで野菜づくりとか。
526	男	70歳以上	賑岡	A	自然環境の保全、福祉の充実
529	男	40歳代	大月	A	山、川
532	男	70歳以上	猿橋	C	猿橋観光を10億、20億ぐらい国・県・市の補助金を使って整備する。駐車場、道の駅、みやげ、レストラン等を造る。
533	男	40歳代	富浜	C	富士山に見える山がたくさんあるので、観光に力を入れると良いと思う。山から降りてきたときに入浴施設があると人が来ると思う。都内から近いのもったいない。
535	女	60歳代	大月	B	自然、山林等の手入れが行われていない。クズの葉やきれいだけドフジの花などが咲いていますが山が荒れていると思います。
538	男	40歳代	笹子	B	JR特急、富士急、富士山は県内唯一だと思います。住みたい山梨を活用して人口増、都内通勤等のできる市だと思います。
540	男	20歳代	七保	A	交通機関の充実性
542	女	60歳代	富浜	A	今現在の自然（山、川）を大切にしたいです。
543	女	70歳以上	猿橋	B	子供の頃から岩殿山が大好きで、桜まつりがある頃は最高です。また、高月橋から岩殿山の登山口に登っていくと富士山が素晴らしくきれいです。岩殿山のPR。
544	男	70歳以上	猿橋	A	自然の豊かさ
546	男	60歳代	大月	B	自然、祭り（かがり火祭りなど）、猿橋
547	女	50歳代	猿橋	B	祭り・猿橋山王宮祭りのおみこしは珍しい。
549	男	40歳代	梁川	A	豊かな自然
550	女	30歳代	賑岡	A	自然
551	男	30歳代	賑岡	A	自然が豊かでのんびり暮らせる町
552	女	50歳代	賑岡	A	豊かな自然

553	男	40 歳代	猿橋	B	伝統文化（猿橋）
555	女	60 歳代	大月	C	猿橋だけでなく、観光ボランティアを増やして市内の名所を案内する方を募集したらいいと思います。
562	男	70 歳以上	笹子	A	豊かな自然があること
564	女	70 歳以上	初狩	D	地震や台風があった時は、1人住まいの人の安全を見極めてすぐに対応する。
566	男	20 歳代	真木	A	豊かな自然
568	女	20 歳代	笹子	A	周りが山に囲まれていて、水もおいしいところ。
572	男	30 歳代	大月	B	人
573	男	50 歳代	賑岡	A	自然
574	女	50 歳代	笹子	B	誇りに思うことは富士山が見えることです。今住んでいる笹子の町からは見えないですけど、生まれ育った所は最高の富士山です。大切にしたいことは人とのつきあいです。
577	女	30 歳代	大月	B	犯罪等が少ないのは良い
578	男	50 歳代	富浜	E	他地域において自慢できる事（＝誇りに思うこと）が特にない
579	女	70 歳以上	富浜	A	豊かな自然、ウェルネスパークの活用
581	女	70 歳以上	賑岡	B	60歳以上の方が、老人大学ことぶき勸学院等に参加し、芸術文化活動をいきいきと行っていること。
582	女	40 歳代	賑岡	D	かがり火祭りへの取り組みが素晴らしい。文化活動を行っているが、趣味で活動の場で市民会館を借用しています。大月市内にファンも多いため（演奏会は満員になるが）継続していくためにも検討していただきたい。
583	男	40 歳代	大月	B	岩殿山から見る景色
584	女	60 歳代	梁川	A	自然
586	女	70 歳以上	賑岡	A	自然
587	女	50 歳代	大月	A	岩殿山など比較的楽に登れる山がたくさんあること
588	女	60 歳代	猿橋	E	人の気持ちが落ち込めば前進はありえない。有識者は大勢いるが、末端各個人が意識を高めようという気持ちが低下していると思う。身近なサークルや学習意欲をかきたてる

					ようなものに各個人が参加する事が、健康（高齢化する中で）にもつながると小さなことですが、大切と思う。
589	男	60歳代	賑岡	A	自然と歴史と一体化したまちづくり。
591	女	50歳代	賑岡	A	自然
592	女	30歳代	大月	A	都内への交通アクセスがよいことは強味だし、自然環境への馴染み易さも良い所だと思う。
594	女	70歳以上	大月	B	山、川、そこに自然に繁殖している木、植物、伝統行事を残す。地酒、浅利子安神社を安産の神社に。笹子餅。
595	女	60歳代	大月	E	誇りに思うこととか大切にしたいことは何もない。そう思えるものがない。
596	男	70歳以上	富浜	A	自然は素晴らしく、もてなしの心がある。
597	男	60歳代	梁川	A	山や川などの自然、桂川、扇山等
599	女	40歳代	猿橋	B	猿橋を大事にしていく
600	女	60歳代	富浜	C	東京に近いことを利点にし、自然の多さ、文化活動の活発さを誇りにし、良い所を他県、外国人にアピールしたい。
602	女	30歳代	大月	A	自然
603	女	60歳代	猿橋	A	自然
604	男	60歳代	瀬戸	B	伝統行事の1つ子供祭り、大人祭りの行事が人口減少化と同時に出来なくなった事が残念です。何とか再起したいと思っています。
605	女	30歳代	大月	E	立地条件
606	女	30歳代	笹子	A	東京に一番近い自然豊かな田舎暮らし
607	男	30歳代	真木	B	不可な土地、地形と思われる場所で、（山梨県内で）様々な産業や文化を期待できている方だと思う。逆に言うと特化したモノが無くさみしく思う。
608	女	50歳代	笹子	B	県立都留高校の存在。子育て、教育、文化の充実の上にわかりやすい象徴として存在すると考えます。
610	女	60歳代	猿橋	B	猿橋があること。より多くの人に見に来てほしい。
612	女	30歳代	賑岡	B	伝統文化（猿橋）
614	女	60歳代	賑岡	B	自然が豊かで住みやすい

616	男	50歳代	賑岡	B	三遊亭小遊三師匠
618	女	60歳代	七保	B	あふれんばかりの自然に囲まれ環境が抜群に良い。また人と人とのつながりが濃密であたたかい。
619	女	70歳以上	大月	B	自然を生かした場所づくりをして産業につなげている事だと思う。観光名勝猿橋岩殿山を都会の人が日帰りでバスツアーで来客が呼べるような規模の場所を総合計画の中に入れて、まず場所を作ることそうすればそこから産業へとつながる。
620	男	70歳以上	賑岡	C	人口流出が重大です。歯止めをして、空き家が多いようですが、空き家の活用を検討し、都会より人を集め安く貸し出す。
623	男	20歳代	賑岡	B	人の温かさ
624	女	50歳代	猿橋	A	自然が豊かで都心の通学通勤圏内である
627	女	30歳代	七保	E	子供、子育て、教育
628	女	60歳代	猿橋	A	自然は素晴らしいです
631	女	70歳以上	初狩	E	ありません・悲しいことです。私たちの責任かもしれません。
633	男	70歳以上	七保	A	鮎釣りで有名な桂川
638	男	40歳代	真木	B	人
639	女	50歳代	大月	B	水道をひねって直ぐにお水が飲める。こんな事東京ではありえないし、もしそうしたとしてもおいしくないし、恐る恐るな感じです。きれいな水、きれいな空気、きれいな山々、この大月から観る富士山は本当に日本一だと思います。近すぎなく、遠すぎないちょうど良い距離です。もっともっとアピールすべきだと思います。
641	男	70歳以上	大月	B	大月市には岩殿山という自然の山がある。東京のスカイツリーと高さと同じ観光の目玉にしたら良いと思います。
644	男	30歳代	賑岡	B	初狩宿、鳥沢宿の建物は大切にしてほしい。
645	女	20歳代	大月	A	岩殿山、バイパスから富士山がよく見える。大月駅の駅舎東京行きの快速電車の本数が多い。
646	女	70歳以上	大月	B	自然、岩殿山、猿橋、扇山、滝子山

647	男	50 歳代	大月	D	大月市には素晴らしい自然がある。その価値をもう一度見直し、活用する新たな施策を望む。
648	女	50 歳代	大月	A	自然が豊かである
650	女	60 歳代	賑岡	B	自然、岩殿山からの景観、日本中及び世界に誇れる三奇橋の一つである猿橋など、外に向けて発信する材料はたくさんあるように思われますが、ひとつひとつが単発で終わり、機能していないのでは。
653	男	50 歳代	笹子	A	飲料水の美味しい所
655	女	60 歳代	富浜	A	山が多い為、自然がいっぱい、地域の人々のつながり、ぬくもり、その中で育っている子供たちが素直。
656	男	40 歳代	富浜	B	岩殿山を中心に自然に恵まれた土地だと思います。猿橋はもっと県外の多くの人々にアピールできる名所だと思います。
657	男	30 歳代	猿橋	A	自然
659	女	60 歳代	猿橋	A	自然
660	女	30 歳代	真木	B	人があたたかい。地域の行事（お祭りや運動会等）がさかん。
662	女	60 歳代	梁川	A	東京に近い自然がある事
663	男	60 歳代	大月	C	大月市出身で素晴らしい方々がたくさんいます。それぞれの分野での紹介等、広報で知らせて下さい。自然、産業、伝統文化等も定期的に市民に伝える事で共有できる誇りになって行くと思います。
664	女	30 歳代	賑岡	A	自然
667	女	70 歳以上	猿橋	D	自然をもう少し手を入れて生かしてほしい
669	女	50 歳代	梁川	A	自然
671	男	40 歳代	富浜	A	豊かな自然
672	女	60 歳代	富浜	C	人、少子化をくいとめる・自然、山、山林の手入れ・大月市には多くの大切な伝統文化がある。
673	男	40 歳代	賑岡	B	都留高があること、その伝統と沿革。
674	男	40 歳代	大月	B	J Rの駅があること。以前の様な町の明るさ、人の往来（昼も夜も平日も休日も全て寂しくなった）山や川のレジャー

					に訪れた人がいる。
678	女	40歳代	猿橋	A	自然
679	女	70歳以上	大月	A	素晴らしい人と美しい自然がある大月市です。発展することを祈ります。
681	男	60歳代	猿橋	A	自然が豊かであり、環境もいいと思う。
685	女	60歳代	富浜	B	豊かな自然、甲州織物、人との調和。
689	女	70歳以上	猿橋	A	自然
690	女	50歳代	梁川	B	日本三奇橋の猿橋、東京への通勤・通学もでき、自然があふれている。
694	女	50歳代	猿橋	B	豊かな自然
695	男	60歳代	富浜	B	日本三奇橋の一つである「猿橋」
696	女	70歳以上	大月	B	交通の便が良いこと、大月駅は特急も停車し、また上り下りとも通勤に時間もかからず便利なこと。
697	女	60歳代	大月	B	富士山が見える風景
698	男	40歳代	賑岡	A	自然及び下水道
699	女	70歳以上	富浜	A	自然と陽がよくあたり、気に入って住んでいる。
700	女	70歳以上	猿橋	D	福祉の整った住みやすい環境を望みます。人口の減少を止めて財政の豊かな市に成長して欲しい。若い人も老人（年寄り）も安心して暮らせたら良いと思います。人口増加できれば良いですね。
701	男	50歳代	七保	A	自然
702	女	60歳代	富浜	B	人：ボランティアやサークルが多いことがすばらしい。 自然：里山をもっと整理してほしい。
703	男	70歳以上	初狩	B	我が国の大動脈が通っている事（リニア、中央道、中央線、国道20号）、世界遺産富士山が美しく見える自然を更に大事に活用する事
705	男	30歳代	富浜	B	三遊亭小遊三
706	男	60歳代	富浜	B	猿橋

707	女	60歳代	真木	B	自然はすばらしい物、所がたくさんあると思います。伝統文化もいい物があります。産業はもっと考える所があると思います。人と人とのつながりが難しい所もあります。
708	女	20歳代	笹子	A	自然が豊か
716	女	60歳代	初狩	B	鉄道が走っている事です。特に家の前を特急が通過するのを見るのが好きです。
718	女	50歳代	賑岡	A	自然 伝統文化
719	女	70歳以上	大月	A	自然
721	女	50歳代	賑岡	A	空気のきれいな自然（開発の為にこわさないこと）
723	男	40歳代	大月	D	岩殿山を整備してほしい
725	男	60歳代	富浜	A	自然、人間関係
726	女	30歳代	猿橋	A	大月市にいてもきっと大月市のほんの一部しか理解できていない。自然が多くて、都内への交通の便はまあ良い点田舎なのが良いと思うがあまり一番誇りに思う事は浮かばない。
730	女	30歳代	富浜	B	人付き合い
731	女	20歳代	七保	A	豊かな自然
732	男	70歳以上	七保	D	開発が進むなかでも緑を大切に自然豊かな風土を守ってほしいと思います。
733	女	50歳代	富浜	A	自然 旧道整備
734	女	70歳以上	富浜	A	自然
735	男	60歳代	猿橋	A	自然（豊かな）
736	男	60歳代	七保	C	自然と歴史、文化があり、インターチェンジがあるメリットをもっと生かし、松姫トンネルから小菅・丹波山・奥多摩へのルートを売りに観光客の取り込みに力を入れる。
741	女	60歳代	笹子	A	自然、山林、緑が豊か
742	女	50歳代	猿橋	C	地域での人のつながりは高齢者を手本としたい。自然ももう少し手を入れ、生活を密着した美しい街に出来ればいいと思う。もっと豊かな市になるよう産業も企業誘致に力を入れ、伝統文化も大切に後世に伝えていくべき。

743	女	70歳以上	猿橋	D	大月市の自然に恵まれたきれいな水と緑をいつまでも守っていただけるように環境の保全には充分取り組んでいただきたいと思います。
745	男	60歳代	賑岡	C	自然と環境・富士山が見える街でアピールする。岩殿山から見える素晴らしい富士山をもっとアピールする。
747	男	30歳代	富浜	A	自然
749	女	30歳代	初狩	A	自然
751	女	70歳以上	真木	D	住みやすい（定住しやすい）よう環境を守り、つくってもらいたい。
752	女	60歳代	富浜	B	全国に誇れる猿橋
753	女	30歳代	賑岡	B	人とのふれあい、自然
755	女	50歳代	笹子	B	笹子の追分人形
756	女	20歳代	大月	A	自然に囲まれており、幼い時から自然と触れ合い成長できること。
758	男	50歳代	大月	E	20～30年前より現在の市長、市議会議員さんの質が良くなっている。
759	男	60歳代	笹子	C	市の大部分を山林が占めている特長を活かしてもっと自然を大々的に全面に出すべきと思います。今のままでは自然が活かしきれていない。
762	男	70歳以上	初狩	A	自然
765	男	70歳以上	猿橋	A	自然を大切にしたい
766	女	50歳代	富浜	A	自然…簡易水道の地域も多くあると聞きます。原発以来、山林に囲まれている中で生活しているので心配です。
767	男	30歳代	大月	B	水資源です
768	女	20歳代	大月	A	自然が多いこと
770	女	70歳以上	富浜	A	美しい自然・小中学生の挨拶がさわやかです。富浜中学校だより（回覧）に感銘を受けます。
771	女	70歳以上	富浜	D	公共施設とか自然の公園とかを作っても自動車のないものは利用が出来ません。交通手段も考えて下さい。
772	女	70歳以上	初狩	A	自然豊かな山、川が有り、自然災害が割と少ない郷土である事は本当にありがたい事だと思っています。

773	女	30歳代	大月	C	自然を守ることが大切だと思います。そのために林業に力を入れるべきだと思います。
776	男	70歳以上	大月	A	豊かな自然
777	女	70歳以上	富浜	B	名勝猿橋、ウェルネスパーク、扇山、笹子人形、岩殿さくら祭り、大月夏祭り
780	男	60歳代	梁川	A	自然環境
781	女	20歳代	七保	B	自然が豊かで、県外からも沢山の人が観光に来るのはとても良いことだと思う。交通網も充実しており良い。都市的すぎず、そうかと言って衰退しているとも言えない、バランスのとれた住みやすい場所だと思う。
784	男	60歳代	梁川	B	自然が一番・JR大月駅から富士山が見えたらいいね。市民病院の裏山の頂上を50m程低くすると見えるかも。
785	男	30歳代	瀬戸	B	人
786	男	50歳代	賑岡	B	首都圏にありながら、山・谷・川といった自然に囲まれている事が誇りである。欠点と思われがち「高齢者が地域に多いこと」は子供の精神的発育にとってはプラスになっていると感じる。
787	男	60歳代	初狩	B	都市に近い割に自然が豊かで人々の温かな交わりがある
790	男	60歳代	初狩	C	岩殿山登山道整備、猿橋の観光
792	男	40歳代	富浜	B	人の温かさ、人のつながりの深さ等物やお金に代える事のできない貴重な財産・大月の歴史や伝統を語り継ぐ中で、地域のよさについて改めて見つめ直すきっかけになる。伝えるべき大人が模範となる行動をしていきたい。
795	男	50歳代	富浜	B	人柄が良い、自然に恵まれている、伝統文化を大切にしている。
796	女	40歳代	真木	B	文化、歴史、景観（街並み）
797	男	70歳以上	真木	A	自然の素晴らしさ
798	女	50歳代	賑岡	C	大月は東京に近く交通の便も良く自然に囲まれ住みやすい市ですが、市外の方に誇れるものがなく、市民がもっと地元固有の物に感心を持たれたい。
799	女	40歳代	真木	A	自然は財産なので、都会では味わえないこと。
801	男	60歳代	賑岡	A	従来より、中央線沿線の豊かな自然を持つ通勤圏内として位置づけてきました。豊かな自然を持つ特性を生かし改め

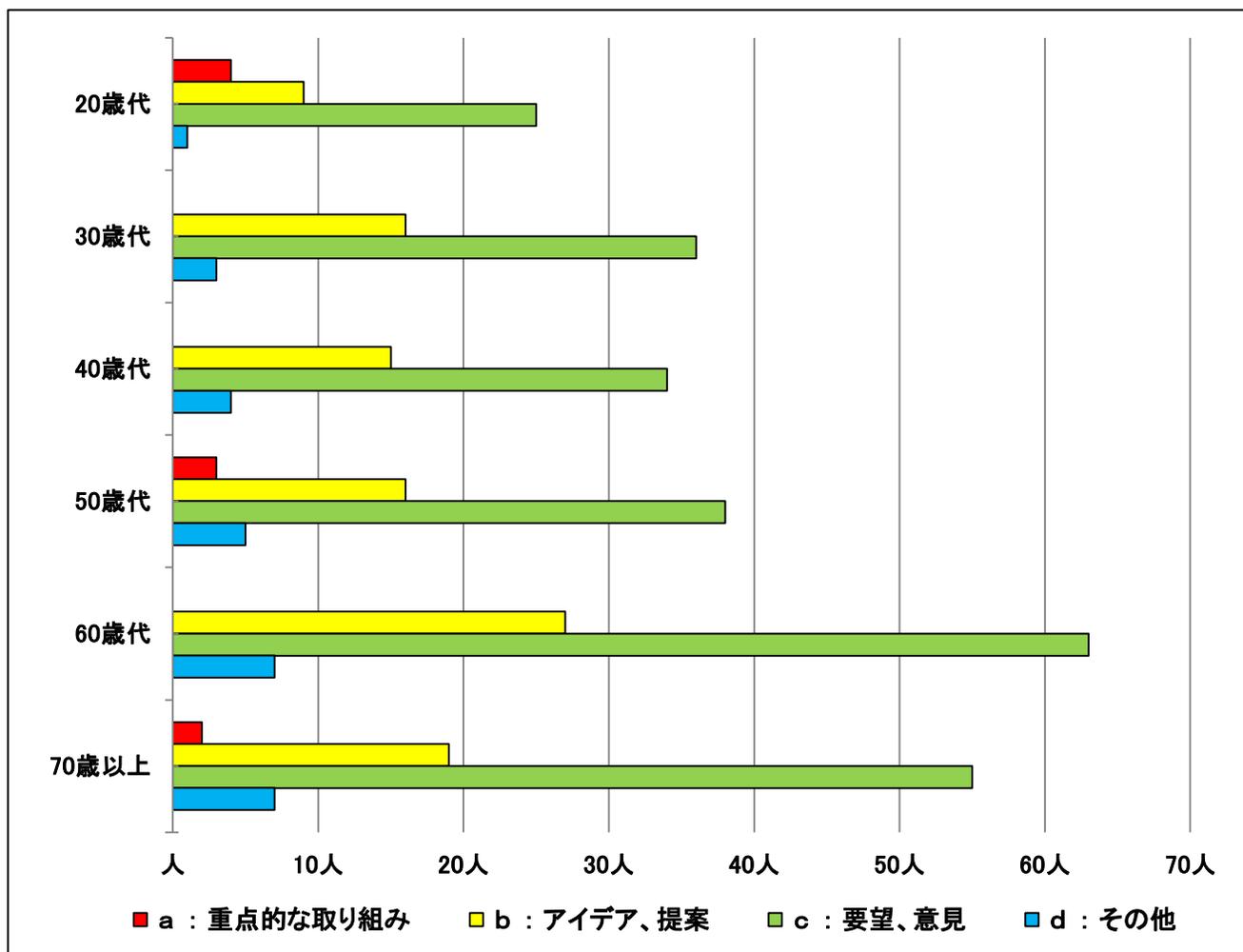
					て都内住宅地の移転まで考慮できると言われる様な環境にしたい。
805	女	50 歳代	真木	A	豊かな自然
806	女	60 歳代	瀬戸	C	大切にしたいのは自然を守ること。その自然を何かに活かせればいいのではないかと思います。
807	女	20 歳代	梁川	B	首都圏に近い地域であること、緑豊かな地域であること。
808	男	30 歳代	猿橋	B	岩殿山からの風景、かがり火祭り、大月市内の山々
809	女	20 歳代	猿橋	A	新宿から 1 時間半という立地にこれだけの自然があるのは大月の誇るべきところであり、魅力だと思います。大きな商業施設よりも中央線という強みを生かして大月の自然と暮らしを知ってもらいたい。
811	女	20 歳代	富浜	C	大月市は歴史があり、自然豊か、伝統文化がある・また山梨県は長野県を抜いて住みたい都道府県の一番になり、今後、期待できる県であってほしい。
813	女	50 歳代	七保	A	東京へ通勤圏であり、自然がたくさんある所、自然をメンテし、維持して行く事が大切だと思う。
814	男	50 歳代	梁川	C	自然がいっぱいあると思います・また大月市のマップを作成して 1 回きりでなく、こと細かく作成して、ここに行ったらこういうものが体験できる。また買うことができるそんな市内のわかりやすいマップの作成が活性化になると思います。
816	男	50 歳代	賑岡	A	緑に囲まれ自然が豊かなので、四季折々の情緒が楽しめ、比較的空気がきれい（今ウグイスが鳴きはじめ癒されています、これから桜を始め色々な花の開花が楽しみです）自然や名勝猿橋、精密機械工場の存在が誇りに思います。
817	女	20 歳代	猿橋	B	地元愛
818	男	30 歳代	猿橋	B	大月は昔から自然を大切にきてきて、自然をうまく利用して（本当にうまく活用）長い年月生きてきた街・水も土地も自然をうまく現代の科学技術と調和させて、エコビレッジを安く実現させて大月の名前を全国に出してほしい。
819	男	50 歳代	七保	A	都心に近いが自然に溢れている、大月市から見える富士が美しい。
823	女	20 歳代	大月	B	大月市には地酒、追分人形、猿橋とよくよく考えればいくつか有名なものがあります。これらを私たちは失われなように維持しながら大切に継承していきたいと思っています。

825	男	40 歳代	大月	A	人、自然、文化
826	女	20 歳代	初狩	A	山、自然、景観
828	男	60 歳代	七保	A	自然を生かした産業
832	女	30 歳代	大月	D	とても山や空がきれいなので、もっと山登りをする方の歩きやすい歩道があると嬉しいです。また、車の通りが少ないところは、空気もきれいなので排気ガスが少ない歩けるルートがほしいです。もっと登山者にアピールして行きやすくしてほしいです。
833	男	30 歳代	猿橋	A	自然
834	男	20 歳代	富浜	B	日本三奇橋猿橋があること
835	男	70 歳以上	猿橋	B	おもてなしの精神を常に心がける（大切にしたいこと）
839	女	50 歳代	猿橋	A	自然
841	女	20 歳代	七保	B	人
842	女	50 歳代	富浜	B	山登りをいろいろなコースで楽しめて都内、他県からたくさんの方が来られている。日本三奇橋猿橋があること・桂川（鮎釣りなど）。
843	男	60 歳代	富浜	B	人と自然（人間関係さえ良ければ何事もうまく行く）
845	男	40 歳代	大月	A	自然や伝統文化

問3-23 最後に、今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき取り組み、アイデアやご提案などがあれば、以下にご記入ください。

記入あり	396人	46.8%
記入なし	450人	53.2%
合計	846人	100.0%

項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
a：重点的な取り組み	4人	0人	0人	3人	0人	2人
b：アイデア、提案	9人	16人	15人	16人	27人	19人
c：要望、意見	25人	36人	34人	38人	63人	55人
d：その他	1人	3人	4人	5人	7人	7人
合計	39人	55人	53人	62人	97人	83人



No.	性別	年齢	居住地区	項目	フリーアンサー
1	男	70歳以上	猿橋	c	市民プールの必要性を検討してほしい。市役所耐震化または新規（移転）建設。
4	女	40歳代	猿橋	c	働く場所が増えると他県にいかなくてもいいので職場を増やしてほしい
7	男	60歳代	富浜	b	現状では危機がこないと変わらない
14	男	20歳代	大月	c	人口世代比率をみても年配方が今後いなくなると若者の世代になります。者は減っているので、子育て充実させて。
15	女	60歳代	大月	b	温泉等公共施設を増やすべきである
16	男	40歳代	笹子	d	市役所の職員がバカみたいが多く、来庁者を越えているから無駄な税金を使っていると思われる。せっかく大月に籍を移したのだから、歓迎されても良いと思うのだが、もっと税金の使い道の適性を見直す必要がある。
18	男	40歳代	大月	b	周辺に富士山、甲府などあるにも関わらず観光客素通りされているので、立ち寄れる施設、湯、キャンプ場等大胆な政策。
20	男	60歳代	笹子	d	郷土愛の無い議員が多い。議員給料の日当制。
21	女	60歳代	梁川	c	病院・各科いつでも診察してもらえるよう、曜日によらず。
22	女	20歳代	猿橋	a	若年層の人口増加に努めることも大切だと思うが、まずはお年寄りが住みやすいまちづくりを行っていくことが最も重要であると思う。
23	男	60歳代	猿橋	b	旧甲州街道遊歩道を確保。宿の入口には大きな立て看板を設置。
24	女	60歳代	七保	b	若者の出会いの場婚活を作してほしい
26	女	30歳代	大月	c	雇用、交通が乏しいこと。名勝猿橋は観光名所になるのに生かされていない悲しいもっと他者他県へアピールして。
27	男	70歳以上	富浜	b	東京近いのだから高齢者が気軽に泊まったり来たり出来る施設があれば市民が何か趣味を持ちサークルから町の情報が得られ、町の事は誰もが知っているようにしたい。1人にしない、生涯元気なまちづくり。
29	男	60歳代	大月	c	駅裏開発、現在の駅前は何のために開発したか、富士急か。
30	男	20歳代	大月	c	空き家を活用して新しいことが出来ないか。休耕地の畑を作って暮らす。人気はあると思うし自分もしたい。工場型の農業などと合わせてやることで、一定の収入は見込める住みやすい街であってほしい。

32	女	60歳代	梁川	c	大月にいて良かったと思える様な人生を送りたい。大きな月が見えるから大月と聞いた・大月の名前を消えないことを願う。
33	女	70歳以上	賑岡	c	人口が多くなれば自然と全てに動きが出ると
39	男	70歳以上	猿橋	b	市議会議員を8人ぐらいに
45	女	70歳以上	梁川	a	就職支援・障害者出所者支援活動について相談を密にしたい。
47	男	20歳代	瀬戸	b	大型商業施設・大企業の工場等誘致
50	女	70歳以上	富浜	a	産業振興に力を入れてほしい
53	男	60歳代	賑岡	c	退職したら定住はしませんが、就業できる場の増加を望みます。
54	男	30歳代	真木	c	かがり火祭りの花火充実
56	女	20歳代	賑岡	b	都心から近いことを推す。スポーツできる所を増やすボルダリング、スカッシュおしゃれなもので都内から呼び込む+入浴施設+アスレチック+登山客の呼び込み。プラネタリウムはみんな再建してほしいと願っています。大月市に住むメリットがない。東京から1本で行けるのにそこが推されていない。山梨は田舎なイメージ。千葉や埼玉の田舎より東京に近いということを推した方が良くと思う。
60	女	60歳代	猿橋	c	大月市での農産物販売を拡大してほしい
61	男	40歳代	猿橋	d	交通整備・ショッピングモール建設・全体的に商業施設の数が多い。他の町と比べていない道路工事が多い・交通の便が悪い。
65	男	30歳代	初狩	c	地域の若者の消防団活動に対して親と子の理解がなく、これ以上ボランティア活動をやっていけない。
66	男	20歳代	猿橋	b	富士山目当ての観光客が増えている中で、大月駅周りの設備を重点的に行うことで、少しずつ人が増えるはず。
67	男	50歳代	梁川	a	やはり大月市の人口減少率を少しでも低下させる為、若者たちが地元で働いて生活のできる産業の整備であると思います。
69	男	40歳代	賑岡	b	高齢者を元気にしてもらうためにシルバーの登録活動をもっと検討する。また市内だけでなくネットを駆使する。アンケートを活用していいアイデアを市民からもらう。
70	男	30歳代	大月	c	大月市の主な通勤圏は八王子、甲府が中心であるものと考えられる。このため、産業振興策より早朝保育夜間保育等の福

					祉施策を充実化させ、勤労者にとって住みやすい町を構築していく必要がある。
73	女	60歳代	賑岡	b	車の駐車場を増やしてほしい。無料で使用できれば商店等で買物などゆっくりできる。
75	女	50歳代	猿橋	c	電車の本数を増やしてもらい通勤通学に便利なまちづくり。駅、病院に行きやすいアクセスの取り組みをお願いします。
76	女	70歳以上	七保	b	若者が定住できる産業の誘致が重要
78	男	70歳以上	七保	b	人口が減っている。若者に結婚の場をもっと作って戴きたい。どこの地域にも若者がたくさんいます。出会いの場所を作ってください。
79	女	70歳以上	猿橋	c	猿橋に住む者として三奇橋の観光をより一層宣伝し、駐車場の整備をもっと増やし、お客を増やして欲しい。
80	女	50歳代	賑岡	b	外部から経験豊富なまちづくりを提案、企画できる人材（専門家）を採用すること。
81	女	30歳代	猿橋	c	温泉施設等を作ってほしい。遊べる施設を作ってほしい。福祉子育て支援に力をいれてほしい。
88	男	60歳代	梁川	c	自然を活かした桂川や山等で観光からの収益を望みます。富士山への玄関口としても。
89	男	50歳代	富浜	c	まちづくりより人口減少対策。大月市内はゴーストタウンになっている。商店街は商いをまともにしているようには見えない。祝日、土日には死んでいる。田野倉地域にお客様が流れている。子供の数がだいぶ減っていると聞いている。
90	女	50歳代	富浜	c	大月市の福祉施設のみでなく近隣の市の福祉施設とも合同で郡内地域の福祉について考えてもらいたい。
93	男	40歳代	大月	b	観光地への通過地からの脱却。町の駅・道の駅を設置し、地産地消による活性化を進める。教育の向上、子育て。
98	女	50歳代	初狩	c	温泉などの家族でのんびり過ごせるような施設をつくってほしいです。
99	女	20歳代	猿橋	a	病院の充実。特に夜間診療・救急医療の対応できる体制を整えてほしい。
100	女	30歳代	真木	c	子供の生活にしわ寄せが来るような市政はやめてください。小学校、中学校、幼保など親にも子供にも不便を強いるような事をしていたら若い人の定住も少子化対策も進まない。今とても不便不安を感じています。
101	女	40歳代	初狩	c	まず、バイパス。道路、信号、縁石の位置など良く見直して欲しい。通勤時間帯、三連休等毎回同じように混む場所はまったく何も改善策が取られていないと思う。
102	女	60歳代	賑岡	b	地区合併。それぞれの地区にある団体等を町単位でまとめる等。

103	男	40 歳代	大月	c	国道や市道の歩道が少ないので、車を利用しなくても安心安全に行動できるよう整備して欲しい。
104	男	60 歳代	大月	b	子供を安心して出産できる医療機関及び出産しても安心して働ける職場
105	女	50 歳代	七保	d	市職員の意識改革がまず必要であると思う。そこからが1歩目である。よからぬ話しか聞こえてこない。皆、知り合いすぎるため誰もが言えない組織になっているのでは？
107	男	60 歳代	猿橋	b	東京に住む人の終活の地として、施設共同墓地を建設し、人口の増加とサービス産業の創出を図り、人が一生を終えるにふさわしい場所とする。
108	女	50 歳代	富浜	c	大月駅には、近年、富士山観光に向かう国内外の人の多さに驚かされますが、何もない大月ただの通過点になっていて惜しいところです。もっと財政が豊かであれば、大月駅を駅ビルとした商業施設にすれば活性化するのではと思うのですが、財源は何も仕事をしていない市会議員の定数削減や給与削減をしたらどうですか。市会議員なんてボランティアでも良いくらいです。
110	女	60 歳代	初狩	b	作らなくなった田畑の活用を考える。工場跡地学校跡地も含む若い人が働ける場所の確保。
112	女	30 歳代	大月	b	今後未来を生きる30代40代の意見を重視できる町づくりを必要不可欠。大月駅北口美術館 総合ビル：美術館だけでなく1階に料理店を集中させ、2階に常設展を、3階にレンタルスペースの確保。インターチェンジからアクセスを考えたアウトレットの誘致、三井などをターゲットに願います。宿泊施設付巨大スパランド（冬は風呂、夏はプールなど人を呼べる施設に）。日本のカジノ第1号店を目指してみる産婦人科を今すぐにでも。幼・小・高・大のエスカレーター式学校を市立にて造る。
117	女	20 歳代	賑岡	c	道の駅を作ってほしい
120	男	20 歳代	笹子	c	交通の便を活かすべき東京に近いこと
123	女	40 歳代	賑岡	c	障害者や老人のためにユニバーサルデザインバリアフリーに力を入れる
126	男	60 歳代	真木	c	誰もが住みたくなる町、老後安心して暮らせる町、学校、医療が無料。
127	男	60 歳代	真木	b	町の婚活をもっと行い、子供の数を増やす。
130	男	30 歳代	賑岡	c	商業施設周辺の道路整備

131	男	60 歳代	笹子	c	若者が定住できる環境整備しかない。予算もなく大月には何もないから、いかに通勤しやすい町にするか考えるしかない自然を生かした別荘地の分譲住宅の推進。空き家の定住の推進、補助金や10年住んだら空き家をあげる etc。自然を利用したアスレチック等レジャー産業を誘致。キャンプ場を作る。火葬場、セレモニーホールを新築してほしい。他市から来るとひどいと笑われる。都留市並みに。
137	女	30 歳代	梁川	b	雇用場所の確保を行わないと定住できない。商業、娯楽がない為、通過地点となっている為、人が止まりお金を落とすための施設が必要と考えます。
138	男	20 歳代	梁川	c	北海道の某市の様に、破たんすることがないようにこれからも大月市に住み続けたい人の為に早めに行動してほしい
139	女	60 歳代	瀬戸	c	これといった産業がなく、観光客も吉田方面への通過に過ぎない。大月で何が賑やかがあれば人も足も向けてこられるはず、その点を何かすべき。
143	女	70 歳以上	七保	b	大都市に隣接しているのだから、大月市の名物を何か作りたい。例えば花の丘、芝桜の丘、遊園地など、行ってみたいと思う場所をつくる。富士山を見る絶好の場が多いのだから、それを生かした取り組みをする。
144	女	60 歳代	猿橋	c	医療施設の充実 大型スーパー進出 中央線の列車本数をもう少し増やして欲しい。
145	女	30 歳代	富浜	b	若者が住める住みやすい場所にしてもらいたいが、若者が活用したいイベントや、商業施設、さらには産科が整備されていない。「大月市内で生活の事が足りる」という状態が理想だと思う。
150	男	70 歳以上	梁川	c	提案はあれども今後も人口減少、給与、税収財源の確保は、厳しく住環境は悪化するばかり。残念ながら希望は持てない現状だが、人口増対策を進めるべきだと思う。
153	女	20 歳代	猿橋	d	生活保護の見直し
155	女	60 歳代	猿橋	b	自然が多く県外のハイカーが多いのでおしゃれな浴場を運営すればお年寄りの憩いと市外のお客さんからの収入も入り雇用にもつながると思います。
158	男	30 歳代	大月	d	えらい人が好きにやればよい
159	女	70 歳以上	賑岡	c	安心して住めるまちづくり。医療機関、健康増進施設の充実を望みます。病気になったら本当に不安。子どもを産めない子供が実家に帰って産めない。
160	男	50 歳代	賑岡	b	自然を活かした観光集落

162	女	60 歳代	猿橋	d	今は思いつかないが考えたいと思う
164	男	70 歳以上	富浜	d	夫婦の市職員は廃止
167	男	70 歳以上	猿橋	c	大月市は全体に見て傾斜地が多すぎる。遊休地を平滑化し、企業を誘致する方向性を見出すことができないか。
168	女	60 歳代	大月	b	市民の健康増進のためラジオ体操や軽運動などを紹介して公園等、体操のできる場所をつくる。
172	女	70 歳以上	大月	b	遊休地の効率的な利用。若者の流出を防ぐ手立て。
175	女	60 歳代	猿橋	b	医療福祉を充実して市外、特に都会人が魅力に応じる様にし、人の定住化を図る。市民、行政、市議会など、一体になったの取り組みが必要。リーダー的存在に乏しいのが問題ではないか。
180	女	40 歳代	大月	c	昔ながらの付き合いや行事を重んじていて、新たな変化を受け入れようとしているとは思いませんでした。
181	男	60 歳代	猿橋	c	道路整備、猿橋農協前の信号、朝は混む。スクールゾーン通学路で使っていない道路は解除してほしい。通勤する人はかなりのストレス朝から大月市は道が狭いので4m道路が出来たらそれなりに土地の評価もあがるし、車社会なので道路整備をよろしく。
187	男	50 歳代	七保	c	市民個々の意識の問題もあるが、市として市民がまちづくりに参加できる機会（分野は問わず）を増やしてもらいたい。
189	女	40 歳代	富浜	c	入浴施設が加わるとより良いのでは。近隣の市町村にはありますが、大月にはありません。温泉でなくてよいのです。今、流行りのスーパー銭湯で。真木温泉は地元の者には馴染みなく感じます。
192	男	20 歳代	富浜	b	自然を活かした商業施設
193	男	60 歳代	大月	c	市議会議員の定数削減。大月独自の大月だけの何かを創るエネルギーとか。
195	女	50 歳代	初狩	b	高齢者が主に活躍できる場を増やし、高齢者の力を借りて運営するまちづくり。
198	女	60 歳代	初狩	d	東京から引越ししてきてちょうど10年です。なので、あまりよくわかりません。主人が病気になり大月の福祉の方は良く動いてくれると思います。
200	男	60 歳代	初狩	d	住人主体の市運営が大切。市への提案する人たちを広く考え一部の選ばれた人の意見に限らず、全体からの提案を求めるべき。市役所職員の採用方法を市民に明確にすべき。
202	女	30 歳代	猿橋	b	若者が好むようなお店（ショッピングモールや飲食店）が欲

					しい。子供が遊べる公園の充実。
203	男	30歳代	猿橋	b	富士山へ向かう観光客を日本人、外国人ともに大月を単なる通過駅やポイントではなく、足を止めさせお金を落としてもらう工夫を急務として取り組むべき。観光開発し、インターネット等を通じ、広く宣伝するべき。
207	男	20歳代	賑岡	b	若者への仕事（定住する為）を増やし、老後の福祉に重点を置く。
213	女	40歳代	賑岡	b	大月インター周辺を活性化
214	女	40歳代	猿橋	c	駅周辺に福祉施設スポーツ施設等便利な場所に置いてほしい。平日午後5時終わりだと仕事帰りに寄れないので、開業時間を延ばして欲しい。
215	女	50歳代	富浜	c	若者が住みやすい町にするために、働く場所がたくさん近くにある町を作ってほしい。仕事を求めて多くの若者が都会に流出している。大月市内にある空き家を有効活用し、家を持たない若い家族に貸し出す等、団地も老朽化しているので。
216	男	70歳以上	七保	c	大月市には平地が少ないため、でこぼこの山地を利用してアイデアを出して観光に生かせればよいと思います。
217	女	70歳以上	七保	c	空き家が私達の町にも大変多くなりました。行政の責任で、賃貸契約を推進し、町の人口減の歯止めにならないかと思っています。
222	女	60歳代	大月	c	市民が安価で入浴できる施設がほしいです
223	男	20歳代	富浜	b	限られた予算の中で、公共施設などを集約していくべき。不便になったとしても仕方ないと思うので。
226	女	30歳代	猿橋	b	日本三奇橋にもなっている猿橋をもっと活性させ、猿橋周辺の環境を良くしてほしい。
227	男	40歳代	賑岡	c	商店街で買物したくても駐車場が少ない店がない
229	男	40歳代	大月	c	仕事が無ければ話にならない。自然と産業の組み合わせが必要。大月でなければならぬもののメリットは何か。
230	男	60歳代	大月	b	商店街の活性化を図り、地元での買い物客を増やして人通りの多いまちをと思っています。
233	女	60歳代	笹子	c	若い人が生計を保つ職場があれば、人口の減少も歯止めがかかりそうですが。
234	男	70歳以上	猿橋	b	猿橋町の橋をもっと全国的にアピールしたらいかがですか
237	女	40歳代	猿橋	d	用があり市役所に行った時、一斉にじろじろ見るのはやめて下さい。暇な人は用が終わるまでずっと見えています。

238	男	60歳代	瀬戸	b	人づくりに力を入れる。教育に力を入れ共働の精神を植え付ける。
239	女	70歳以上	初狩	d	大月中央病院に申し上げます。病院の先生をもっと良い人を選んで下さい。
241	女	70歳以上	笹子	b	若い人たち、お年寄りが一緒になり、話し合いなどをする事。
244	女	50歳代	賑岡	d	どんな田舎に住んでいる人でも人として認めてほしい。地図にも載せてほしい。小さいバスでも来てほしい。年をとったら孤立が心配。
245	男	20歳代	富浜	c	人の流出を抑えて定住化を目指す。職場、住める場所を増やせるように。
246	男	50歳代	賑岡	b	各JR中央線の駅を起点とした登山道の整備。登山者を対象とした各種施設の充実。
251	女	70歳以上	大月	c	駅のまわりに駐車場がないので都留市の方に買い物に行ってしまう。
252	男	40歳代	真木	b	若年層の人口を増やすこと。企業誘致などで職場を市内で確保できる様にする事。
254	女	40歳代	大月	b	観光で訪れた方々が、山登り富士山など帰りに大月駅前立ち寄れる大月の特産物や大月ならではののおみやげを、一通り取り揃えたお店があったらいいと思います。
255	女	30歳代	初狩	c	ガラガラした商店街を見ると淋しいです。もっと町が活気づけばいいなと思います。新たなまちづくり期待しています。
257	男	60歳代	大月	c	市の総合計画は過去において職員が一生懸命に策定してもトップ（市長）が変わるたびに計画変更し、市の将来ビジョンがきちっと定まらないまま今日に至っていると聞いている。市の人口減少の原因の一つがこの結果の表れであると思う。イベント等による目先の人集めをやめて、職員一丸となって人口減少の歯止め策を考えるべきである。計画の策定には熟議を重ね将来に渡ってその柱を不変なものとして示してほしい。企業誘致はその一つの策であるが、ただ待っていては企業はこない。土地の造成やライフラインの整備に、市はもっと投資して企業を迎えるようにしてほしい。
259	男	70歳以上	猿橋	c	大月市内を案内する無料参加バスの運行を企画し、首都圏に広くPRする。財政難の中ではあるが、人口増加と移住者を増加させるのが優先である。
260	男	70歳以上	富浜	b	空き家を利用して住民を増やしていく。
263	女	70歳以上	富浜	c	市内に入浴施設（大型）があると良いと思う。乗り継ぎだけの大月市でなく駅から外へ出て楽しんでもらいたい。

264	男	60 歳代	猿橋	c	若者が定着できる雇用の確保。猿橋や岩殿山等の観光地をPRし集客を促進する。猿橋の旧道を休日通行止めにし、朝市等を行う。県と連携し、桂川ウェルネスパークの充実、入浴施設等。
265	男	50 歳代	富浜	b	国道20号に道の駅施設を造って、農産物地場産物を販売し、収入を得る方法はどうでしょうか。他の市町村では平日夜遅くまで市役所、役場が開いていると聞いておりますが、大月市役所では検討してもらえないでしょうか。
268	女	30 歳代	猿橋	c	子育てのしやすい町、若者が定住できるまち、大月市で働けるように雇用を増やす、とにかく人口を増やすべきだと思います。
271	女	30 歳代	猿橋	b	医療の充実や税金の値下げ等を重点的に行っていただきたい
274	女	30 歳代	賑岡	b	軽トラ市など市外からも参加者がある様なイベントを増やすといいと思う。大月駅から富士急行線へ乗り換える客が、大月で下車してくれる様に、駅前に土産店を増したり、大月ならではの食事ができる店を出したらいいと思う。
275	男	40 歳代	大月	b	人口が減っているのだから、行政コストも下げるべく、合併の必要性を感じる。
279	女	20 歳代	大月	a	子育て支援を重点的にお願いしたい。例えば大月市民会館に子供向けの劇団や演奏団体、サイエンスショーの団体などを多く呼んでもらって、子供にとって啓発的なイベントをたくさんやってもらいたいです。（子供向けなら利用料を安くしますとか、そんな風に）都留市や富士河口湖町では割とあるので、大月でもお願いします。
281	女	50 歳代	賑岡	c	大月市が何を重点にして、基にして生き残っていくか、まず大月の「月」というイメージから月が一番きれいに見える町、どこで猿橋の橋の上、岩殿山に登って富士と重なるとか富士山が世界遺産になり大月はその通路となる場、そこで必ず観光客が立ち寄りたくなる町だとすれば、駅前、裏を道の駅にする。大月インターから裏通りを整備し、大型車が入れるようにする。岩殿山を通り桜の時期には桜の木を昔のように整備する。猿橋に必ず立ち寄られ猿橋の周辺の木々を整備する上野原のインターで乗り都内に戻る道筋を作る。猿橋の周辺はもっと整備すべき。常、「文化」という面で月の詩人がいたはず。道路の整備や施設の充実は、人の流れを作れるように考えるべきだと思う。市の花やまゆりを住民に植えてもらい、見えるところ例えば国道脇や線路沿いに行い、育てる人には市から支援金が出るなど協力してもらおう。

285	女	70歳以上	猿橋	c	駅裏広場に大型のホームセンターがあれば、買い物により便利になると思います。市内に人が集まる温泉施設があれば良いと思います。
287	女	70歳以上	真木	c	車社会の現在、道路整備を早急に行い、観光をもっと宣伝して、多くの観光客に来ていただき、町を活性化していく事だと思います。
288	女	50歳代	七保	a	医療機関の充実。大月中央病院をもっと良くしてください。総合的な受診科が欲しい。少子化で子供も少なく安心して住めるような大月市になってほしいと思います。病気になった時、大月の病院だけでは対応できないことが多々あり、甲府、東京に行かなければならないこともあります。専門外来もつくってほしい。
290	男	50歳代	猿橋	b	次の世代の人材育成。特に教育の専門性への特化。行政職員の他県からの導入。
291	女	50歳代	大月	c	買い物に市外に出る人が多く残念だと思う。病院も同じ。
292	男	30歳代	初狩	b	都内の会社に通勤しているが、朝5時台の列車が少なく不便である。せつかく通勤圏内であるが、将来都内に移住することを考えている。JR東日本にもっと強く要望を市の方からしてほしい。朝6時からの電車では都内に間に合わない。列車の選択肢が少なすぎる。
293	男	30歳代	猿橋	c	特別養護老人ホームのベッド数を増やす。入所希望者が多いため。
296	男	70歳以上	猿橋	b	都会で必要としない企業の誘致整備、高速通信光ファイバーの充実。
297	男	70歳以上	大月	c	菊花山の総合開発
298	女	60歳代	真木	d	市の職員が多すぎると思う。まず、市の経費を減らすよう考えてほしい。活用・利用が少ない施設は閉鎖してほしい。
299	女	40歳代	真木	b	歓楽街誘致。どうにもできなくなったら、最終処分場誘致で収入（財政）確保。
301	男	50歳代	真木	b	大月駅北側に市役所と駐車場を作ったらどうですか？（今の場所は狭いと思います）
302	男	30歳代	猿橋	b	工業団地を作り、企業の誘致をし、税収入の増加をねらう。特に大月駅北側。
303	女	70歳以上	賑岡	c	年寄りが住みやすいまちづくり。
305	女	50歳代	賑岡	d	終業時間になると時間を待っていた（時計を見ながら）かのようにきっちりと帰宅できる職員が多いということは、パートタイマーを増やして職員を減らせば人件費の削減になる

					のでは……。人口が減り収入も減っているのだから職員の数ももっと減っても大丈夫なはず！！
307	男	70歳以上	猿橋	b	上野原市に学んでふるさと長寿館とかびりゅう館、また農林業に他県から仕事をできるようにして若者の呼び込むことを考えること。
308	男	40歳代	猿橋	c	市職員がアイデアを出し、未来に投資する考えをもたなければ衰退しか考えられない。
310	女	50歳代	富浜	c	大月市の商店街の活性化。土砂災害が起こらない町づくり。
311	女	70歳以上	富浜	b	大月市にも是非入浴施設を考えて頂きたいと思います。市外に行くと市外料金を支払わなくてはなりません。大月市にあつたらとつくづく思います。入浴中や休み食事中にも色々な話が出ます。商店街の事、病院内容の充実の事等、また産地野菜特産等色々な利点が出て来ると思います。大月市の発展に連がるのではないのでしょうか。
313	女	60歳代	大月	c	出産できる病院があり、子どもたちが安全・安心に育ってくれるよう願っております。そのため若い世代のかたが大月に職を求めることができ、家庭も持てるよう行政で取り組むことが必要だと思います。
316	女	50歳代	大月	b	大月市の商店街を活性化させる
318	女	60歳代	大月	b	大月駅北口開発。駅周辺駐車場整備
319	男	60歳代	猿橋	b	自然の山と川に恵まれ東京からも近いので、山は登山道の整備（トイレの設置など）をして、登山客（男女）を呼び込む川はイベントを幾つか考え〇〇釣り大会などを行う。また、道の駅を常設し登山客、釣り客、観光客に地元産物を販売する。
320	女	70歳以上	賑岡	d	大月市に活力がなさすぎて明るい希望がなさすぎ。大月市の職員の方も頑張ってください。お願いします。
321	女	70歳以上	大月	c	高尾駅を過ぎると急に各駅での停車時間が長くローカルな雰囲気ゆっくり走る中央線で、東京に行く時は高尾に車を置いて行っていますが、通勤の足として時間が短縮され本数が増えたら便利になるでしょう。大月に住んで東京で仕事をする人が多くなるかもしれません。恵まれた自然を生かし退職教員の方達の力も借りて自然活動も取り入れた教育システムを充実した特徴ある大月教育を確立出来たら定住する人が増えるのではないかと思います。
323	男	70歳以上	猿橋	c	人口の減少を食い止め増加を計る取り組み

327	男	40 歳代	猿橋	b	民間企業との人材交流
329	男	40 歳代	猿橋	b	巡回バスの導入
332	男	60 歳代	富浜	c	ウォーキング道路を作る。便所を増やす。 雪のとけにくい道路(日陰部分)は早めに除雪をしてほしい。
333	男	60 歳代	大月	b	都留市か上野原市との合併。市会議員の削減。大月市立病院の土曜日に受診出来る外来科を増やすべきだと思います。 大月市立図書館の休館日が多すぎる。
335	女	40 歳代	大月	c	子供の医療費補助は本当にありがたい。今のままずっと続けて頂きたいです。
339	男	40 歳代	富浜	b	J Rと協力し駅周辺の開発整備。新たな雇用の確保。
340	女	20 歳代	大月	c	アーティストを呼ぶ
341	女	60 歳代	賑岡	b	大月は医療面がしっかりすれば安心して住めると思いますが お年寄りも子どももまず安心して病院に入院できることが 第一です。入院したその日に手術ができず命を無くしてしまう ことがあります。
345	男	60 歳代	笹子	c	若者が気持ち良く住める、魅力あるまちづくり。市内に通勤 できる職場があると良い。そうすれば自然と若者が集まって 来る。安心して生活ができ、未来が見据える事ができるまち づくりを市民で考えていきたい。
346	女	60 歳代	大月	b	高齢者が自宅で安心して過ごせるまちづくり。家族が不安な く高齢者を受け入れられる体制をつくる。
350	男	70 歳以上	猿橋	c	温泉等入浴保養施設の整備、岩殿山へのロープウェイ又はエ レベーターの設置。歴史等にとらわれず名勝猿橋を赤く観光 地ふうにする、道の駅を早く造るべきである。
352	男	50 歳代	賑岡	b	市職員と市民での協力による、取り組みをしていく企画をふ やしていく。
355	男	70 歳以上	賑岡	c	福祉施設の充実
356	女	60 歳代	笹子	c	地震や大雨・雪などの自然災害の時の避難所、近くになけれ ば意味がない。市長さん、役所の職員の方々にお任せします ので、今後も頑張ってもらいたいです。
358	男	70 歳以上	賑岡	c	市民会館などの利用料が高くて少人数で利用しにくい。どう して利用料が高くなるのか財源の説明をして欲しい。削れる ものはないのか。流用すべきものはないのか。
359	男	70 歳以上	富浜	c	桂川ウェルネスパークへの中央道接続

361	女	60 歳代	富浜	b	企業誘致できれば人口の流出を防げる。仕事の場所が市内にあればよいと思います。
362	女	30 歳代	猿橋	c	カフェとか T U T A Y A とか遊べる所を増やしてほしい 飲食店が少ない。夜遅くまで（午後 9 時）まで営業している 店がないから作ってほしい。
363	女	50 歳代	猿橋	b	広い土地（平地）がないので難しいとは思いますが、20号 沿いに（バイパスより東側）道の駅があるといいなと思いま す。埼玉～群馬～栃木～茨城の道の駅は新鮮なたくさんの野 菜（しかも安い）と、ちょっとした食べ物と、のんびりすご せる公園が一体となっているところが多く、その多くはとて も賑わっています。富士吉田や甲府方面からの都心方面に帰 る観光客が立ち寄りたいたいと思えるような道の駅があれば素 敵かと思えます。桂川沿いに遊歩道のある道の駅があつた ら、自然も堪能出来てちょっとした観光地になりそうです 東京に住んでいると「緑」、水場、新鮮な食べ物、よい空気 があるだけでうれしいものです。
364	男	70 歳以上	大月	c	道路の整備と歩道の確保を計るべきだと思います
367	女	30 歳代	猿橋	d	まともな市議や職員を育てるべき
368	男	30 歳代	大月	c	人口を増やす取り組み
369	女	70 歳以上	大月	c	大月駅前随分きれいになったけれども富士急のタクシー があまり動いていないのに停まっているスペースが多すぎ る思い、又、自転車をとめるスペースが少しもないと多くの 人から聞きます。どこの駅に行っても自転車のスペースは必 ずあります。もっと細かい所に目を向けるべきです。
373	男	50 歳代	七保	c	道路や橋などの老朽化対応を進めて欲しい。災害に対応で きるようなことをして欲しい。
376	女	60 歳代	猿橋	c	大月市の人口減少を防ぐには企業誘致を積極的に行なって 雇用を増やした方が良く思う。
378	男	50 歳代	七保	c	大月に来る人は山に行く人くらいです。ならばハイキングコ ースを整え、汗を流せる所くらい作り、もてなす事が大事で す。東京に近い田舎を目指して下さい。
379	女	20 歳代	富浜	c	空いている私有地などの利用方法を市民にも公表してもっ と利用すればよいと思う。（市のホームページ等でとりあげ てみれば？）若い世代や県外からの方の意見をもっととりあ げてほしい。
386	女	70 歳以上	大月	c	もう少し若い人達が働ける場所がほしい。仕事の関係で、市 外に所帯を持つ人が多く、人口が増えない。

395	女	70歳以上	富浜	c	月に1、2度お出かけバスなど出していただければ大変助かります。大月ー四方津間ぐらいでお願いします。
396	男	30歳代	富浜	c	大月駅北側をポートピアやウインズ等に誘致し、人やお金が集まる場所にする
397	女	40歳代	真木	b	桂台や四季の丘をもっと拡大し、住民増加に力を入れた方がいいと思います。大月に来て20年になりますが、どんどん淋しくなっていると思います。
398	女	20歳代	賑岡	b	大月駅の裏の空き地にあった駐車場がなくなったことが残念です。他の地域から来た方や大月駅を利用する市民には大変、役に立っていたと思いますし、土地の有効活用であったと思います。もし、駐車場がだめなら、駅の近くという立地を活用し、病院や遊び場などの市民も市民以外の人でも利用できる施設をつくと市の活性化や人の誘致につながるのではと考えます。
399	女	50歳代	猿橋	c	トレイルランニングは良かったと思う。流行にのっていただき、これから注目される。駅伝が伝統があるから、駅伝もトレイルランニングもこれから50回も続けばいいね。市民合唱団の復活も良かったね。野菜の朝市（大月、猿橋、四方津etc）も評判がいいね。軽トラ市も楽しそう。（まだ行っていないけど）大月銘菓の製造（今風の物）。ビッグムーンは良かった。月がきれいなのをもっとアピール。
401	女	20歳代	賑岡	c	若者に、駅前にリーズナブルで気軽に入れる施設があると休みやすい。若い人が遊ぶことができる施設があまり無いため、学生などは、八王子や甲府などに遊びに行くことが多くなり、結果的に、市外・県外にあこがれを感じて市を出ていってしまうと思う。
404	男	40歳代	初狩	b	道の駅設置を検討してほしいです（大月市の活性化につながるかと）
405	男	60歳代	猿橋	c	市長や土木課との対話が欲しい。地域で一番要求しているものは何か、何で大月の人口が減少してしまうのか、それぞれ問題を解決していくのに、何が問題でどのように解決したらいいのか個人それぞれの意見や考えがあると思う。それを執行部（行政）と解決していく。大月駅裏の空地の活用は中央線各駅の開発は。人口減少の原因は何にあるのか。これだけ東京に近い大月市なのに個人（会社）の開発だけにまかせていいのか。開発のためのインフラは。県内他の市町村に比べて開発されない原因は何か。金だけではないはずだ。
406	女	20歳代	大月	c	富士山方面に向かう外国人観光客の足止めとなる宿泊施設。（ゲストハウスなど）の設立大月駅北口の整備。

408	男	30歳代	賑岡	c	若い世代へのアピール
413	男	50歳代	初狩	a	観光に取り組むべき
414	女	60歳代	大月	b	大月市以外（他県など）のアイデアや知恵を大いに参考として取り組んでみる。普段気のつかない身近な事を見直せば大きな財産につながる。（石仏、たくさんある橋、いつも使い道がなく捨てている野菜やゆず、桑）
415	男	20歳代	富浜	c	子育てのしやすい大月市になってもらいたい。学校を減らさないで下さい。中央病院の救急対応をもっとしっかりしてほしい。
416	男	20歳代	梁川	b	空き家を市で買い取り、施設や産業などに使っても良いのでは。古民家風の家もたくさんあると思うから、色々とよい方向で使えると思う。
418	男	70歳以上	大月	b	国際学科の様な名目で外国人の学習する場を造り実践する。例えば言語、料理、織物、木工、音楽、書道、介護・・・マスターしたら他県で働けるように。商店街にアーケードを造り、ガラス張りにする。シャッターの降りている所で織物教室や木工教室などを行う。学校が終わったらここに来て習い事をする。
421	女	30歳代	猿橋	c	若者は行動力があるので娯楽施設を求めて他市に足を運びます。1つでも多くの娯楽施設が増えることを望みます。大月は東京に近いので何とかなっているけれど、市内に施設がない以上、魅力はほぼないです。コーヒーショップ1つでもあれば他市から足を運ぶ人が必ずいます。大月市民（若者）は、休日、他市にお金を落しに行きます。市内で落とせる場所がないから。
423	女	40歳代	七保	c	大月市は仕事ができる職場がないから困る
426	女	60歳代	富浜	c	自分の住む地域の民生委員は何の活動もしていない様に思います。せめて地域内の様子を知り、声かけでもして欲しいです。（高齢者より）公民館活動も一部のような感じを受けています。
428	女	30歳代	猿橋	b	子育て支援。医療機関の充実。
431	女	20歳代	賑岡	c	大月の街なかのシャッターが良くない。暗い印象を与える。
434	男	70歳以上	初狩	c	初狩小学校が空き地になり、また初狩の滝沢工業の跡地など、広い土地が空いているので、工場の誘致など働く場を作ってもらいたい。

437	女	70歳以上	富浜	c	防災無線の音声が入室内にいと聞き取れません。放送開始のチャイムが鳴ると寒い日でも雨が降っていても外に出て聞いております。夜中に放送があった場合は全く役に立たないのが現状です将来的には、各戸室内に放送設備を設置すべきだと思います。市民の生命を守るため、大災害、大事故等に備えるべきです。
441	女	20歳代	七保	c	都内からも県内市内からも話題性のあるランチなどがあるともっと発展していくのにとおもいます。
445	女	40歳代	賑岡	c	JRもあり、登山客もたくさん乗降する駅があるのに、宿泊、入浴施設がない事が残念だと思います。(深夜、乗り越しの客も多数いる)
446	女	50歳代	富浜	c	人に優しくあってください
447	女	50歳代	瀬戸	c	全ての機関の連携の必要性。地区活動の強化。(みんなで地域の老人や子供を見守るなど)公民館や保育園、幼稚園などが共に活動する場を持つ。
448	男	40歳代	賑岡	c	自然。とりわけ富士山が望める山々があり、非常に大きな観光資源であると思ひます。山に訪れる方の立ち寄れる施設(温泉、地域のもを提供する飲食店等)を設けて、魅力ある場所作りができれば良いと考へます。
449	男	60歳代	七保	d	若者が魅力を感じるまちづくり。名勝猿橋を活かした集客向上。葛野川沿い(サイクリングロード)へのゴルフ練習場。
450	男	70歳以上	笹子	c	若い人達の住める町をつくってもらいたい
452	女	60歳代	初狩	c	閉まっている店舗を活用して、手作りの技術のある方が、もっと気軽に教えてもらえる様に(手芸、料理)教えてもらえる場所が欲しい。駐車場が、まちの中にもう少しあると便利です。
458	男	30歳代	猿橋	c	大型デパート、ショッピングモール等々。
461	男	50歳代	七保	b	現状はともかく、先々、市内の各地域を集約して行く。自然災害等孤立する事のないよう集約と交通の整備を同時にして行く事が良いと思ひう。
463	女	60歳代	七保	c	将来、問3-11の質問ですが、バスを利用したいのですが、時間帯が一日3本位しかないので不安です。病院にも買い物にも出掛けることができなくなります。
464	女	30歳代	大月	b	20代~30代が住みやすいまちづくり
468	女	60歳代	七保	d	何でもいいので(桜の花、菜の花でもいいので、空いている田んぼとか河川とかを利用すればいいと思ひます。)

469	男	70歳以上	初狩	c	地区ごとのまちづくりを重点的に行い、各地区の活力が出れば市全体が活気づくと思われる。大月市全体を、あるいは大月市街中心にまちづくりと言っても地理、地形上無理だと思う。自然に気軽に交流する場が少なく、事を構えて機会を作っても効果は余り上がらない様な気がする。原点を見詰める時だと思う。
470	女	30歳代	富浜	c	大月市内の商店街が気になります。昔のように活気のある商店街になってもらいたいです。
472	男	50歳代	猿橋	c	中央線で特急が停車、快速の乗り入れ、富士急行線と接続することの活用。大月駅北口にある空地の有効活用。商業施設、医療ビレッジ、介護施設等、コンサルタントを活用（プロに相談してナレッジを活かす）登山客へのアピールを各駅で実施し、連携することで相乗効果が得られる。インフラ整備、資料情報の共有化、安住対策。
473	女	20歳代	富浜	c	バス代が安くなれば良いと思う
474	男	20歳代	七保	c	若者とお年寄りが共存できるまちづくりをお願いします
476	男	70歳以上	猿橋	b	福祉関係の拡大（国、県、市を巻き込んだ規模）
481	女	70歳以上	猿橋	b	岩殿山とスカイツリーの高さが同じですので、観光PRして、御煎餅を考案して販売する。
482	男	40歳代	猿橋	c	大月市結婚相談所は役に立たないので、市で、街コンやお見合いパーティーなどをもっとやってほしいと思います。消防団は市にとって一番大切な団体だと思います。強制力がないので、新入団員を入れることにとても苦労しています。もっと住民が消防団の大切さを理解してもらえるように取り組んでいただきたいです。
484	男	30歳代	猿橋	c	出産、育児が安心してできる体制作り。小規模農家の作物を持ち寄り特産化。
485	男	40歳代	真木	c	高齢化社会が加速する中、ボランティアやNPOの協力により、費用をかけない行政運営。ICTの活用による効率的な社会の実現。市内にお金が入る、回る方法の検討。
487	男	40歳代	大月	c	企業の誘致は絶対条件。人口の増加に力を入れる。
488	男	50歳代	大月	c	大月駅北側の空き地があるが、ここを開発して市役所・福祉施設を集中させる。駅（鉄道、バス）の利用で高齢者が自ら来られるようにする。土地購入には、現在の市役所など公共施設を売却するなどして購入する。工事など、市長を含め、工事に関する入札や情報を確実に情報を得た者（市役所関係者・市長・議員）が私利を得るようなことがないようにとい

					うことが必要である。このことが守られなければアイデアがあっても特定の者が得するだけである。このアンケートも意味がない。折からもアベノミクスで財政的なものがあるかもしれない。本当に市民が幸せになるようになってほしい。ひとり暮らしなどの自宅の弁当宅配があるが、給食センターをはじめ、地元の食材を農家から直接仕入れる。働く人は地元の主婦などが働いてもらう。市内巡回バス（ワゴン車数多く運用）ワゴン車が各地区の中まで入り、高齢者が自宅近くで乗車し、駅、病院、市内の医院へ行く。また、スーパーマーケットなどもルートに入れる。
489	女	20 歳代	大月	c	全地域に上下水道を完備。高校の学力レベルの底上げ。商店街の充実。
494	男	70 歳以上	富浜	c	登山者、ハイキング等、毎年増加しているように見えますが、何回も話に出ますが、道の駅、温泉施設など考えて早期実現してもらいたいです。
495	男	70 歳以上	七保	c	人口減少の歯止めと増加策の立案、働く場所の確保として手っ取り早きは企業誘致である。（人の移動も伴う）通勤者の通勤手段としての駐車場整備。
498	女	60 歳代	賑岡	b	廃校になった学校の跡地を利用して、老人や子供が季節を感じられるような公園を造ってほしいです。
500	男	50 歳代	梁川	c	活気が出るさまざまなイベントが大切と考える。
502	男	60 歳代	笹子	c	市内町内ばかりに目を置かず、甲府への入口・出口、東京への入口となる市西部、東部地域の水と自然を生かした賑わいのあるまちづくりに向けて、①源流ならではの町づくりとしてバーベキュー場、キャンプ場、つり堀、登山客の拡充（民宿完備）空き家等を利用した民宿づくり②空き家の少額提供による入居募集過疎化の歯止め③大月市民病院との連携を主とした訪問医師並びに各地区 1 軒の診療所の開設（外国人医師も含めた考え方で）そんな町づくりを実現できればと思います。人口減少への手立てになれば良いと考えます。
504	男	70 歳以上	梁川	c	地元において人口の減少が加速している。通勤電車をとっても大月市から都内への通勤人口が減り続けています。インフラ整備が早急に望まれる 1 例を挙げれば、駅まで歩くのに国道の歩行者道が落ち葉や枯れ木などで通行できない。市道は整備されていますが、起伏が多く老人は大変です。
506	女	50 歳代	笹子	c	働く場所がないので、若者は市外に出てしまう人が多く人口が減少してしまう。正直、買い物するにも食品や日用品でも毎週国中へ出かけてしまう。企業誘致、ショッピングセンターを建設して働ける場所を作る。

509	女	40 歳代	大月	b	企業を誘致し、法人税を納めてもらい財源にあてる。市外から大月市に転入し、家を建てれば、補助金または祝金などが支給されるようなシステムをつくり、PRし、人口増につなげてはどうか（他市で実施あり）。都会の人向けの農業体験、日帰り温泉などお客様にお金を落としてもらう方法。教員を退職した祖父母世代の方々による無料学習塾はどうか。
511	男	40 歳代	猿橋	c	事業の精査と改革、市議会議員の削減。
522	女	70 歳以上	初狩	d	税金を安くしてください。私たち市民の一番の望みです。大月は税金が高いから嫌いです。
525	女	40 歳代	賑岡	c	空き家を活用し、人口増加につなげる。空き家バンク制度があるが、物件数が少なすぎる。市職員がもっと所有者に働きかけるべきでしょう。
526	男	70 歳以上	賑岡	c	商店街の整備、都市開発
529	男	40 歳代	大月	c	フェイスブック勉強会、まちづくりコーディネーターの育成、ワールドカフェ等の会議手法を取り入れる。
532	男	70 歳以上	猿橋	c	今後のまちづくり、農業観光を発展させるべ。①いちご農園②とまと農園③しいたけ農園、梁川の農園全体を使って、国・県・市の補助金を利用し、10億、20億使ってまちおこしすること。市で儲けること。
533	男	40 歳代	富浜	c	テレビも見られないような所に、若い人はいないと思う。どんどん都内に流出してしまうので、老人ばかりになる。そして人口もどんどん減ってしまうのでなんとかしたい。ふるさと納税などで収入を増やせないか。税金を有効に使ってほしい。
535	女	60 歳代	大月	c	病院の充実、他の市町村からも来れるような病院にして欲しい。
538	男	40 歳代	笹子	c	JRの特急が停まり、富士急行線があり、富士山へのアクセスは県内唯一だと思います。。住みたい山梨を活用して人口増、都内通勤等のできる市だと思います。
540	男	20 歳代	七保	c	大月市の人口が増えるように、空き家の整備や、大月市の特色に合った大学作り。
542	女	60 歳代	富浜	c	高齢者が増えるにあたり、医療、食品店、交通等の見直し（バスを多くする）現状は、大月市は色々な面で便が悪く、お店も段々と無くなり、年寄りが困っています。若者は皆、都会に出て行っています。車の運転が出来なくなると、お店にも行けなくなります。老後が不安です。バスの便が良くなって欲しいです。

546	男	60歳代	大月	c	人口問題を最優先に考えていく。市に人口問題対策室を設置し、全国の事例から有効的なものを導入していく。また、市主導でない市民参加型の人口問題対策の委員会（団体）を作り、検討、提言をしていく。
547	女	50歳代	猿橋	c	都内からの中高年の登山の旅に、もっと買い物をしてもらえるように出来ませんか。
551	男	30歳代	賑岡	c	子供への医療費の充実、子育て支援、病院の充実
552	女	50歳代	賑岡	b	大月駅北側に大きなレジャー施設か商業施設を誘致する（温泉施設ができれば一番良い）。
555	女	60歳代	大月	c	大月駅北口改札口と整備
558	女	40歳代	初狩	d	市の職員の教育を考え直した方がよいかと思う。
561	男	30歳代	七保	c	空き地、空き家の整備を進め、整備した土地や空き地を活用、企業、店舗の誘致、または地元の企業や自営業者に安く貸したりするなどして、事業の拡大援助や、別の事業への推進などを提案または募集を行うべき。大きな取り組みとしては「企業誘致」「人口増加」この2つへの対策を行うべきだと思う。住みたい田舎No.1の山梨県。東京に近い大月市は、「都合の良い田舎」というスタンスで移住を呼びかければおもしろいと思う。
562	男	70歳以上	笹子	c	中心街活性化
564	女	70歳以上	初狩	c	若者がどんどんいなくなる町になることが一番心配です。
566	男	20歳代	真木	c	大月インター前からの国道20号のバイパスを早く完成させてください。
572	男	30歳代	大月	c	誰もが利用出来る運動施設設備（会合、リハビリ等）
574	女	50歳代	笹子	d	何をやってもだめだというあきらめの気持ちがあるので、市の職員の方がもっと働きかけるようにしたらと思います。
575	男	30歳代	富浜	d	元市長の懐に金銭が転がり込むシステムの事業は見直すべき（彼の懐を肥やす為に税金を納めているわけではありません）。市役所勤務者宅の出入り口に無駄な信号機の取り付けなどは一切やめるべき。何も改善されないとは思いますが、腹立たしいので、指摘させていただきました。
576	女	70歳以上	猿橋	c	定期的にバスを入れてほしい。猿橋町小篠にバスを入れてほしい。
577	女	30歳代	大月	c	里帰り出産をしたくても産婦人科が無いので、中央病院に作ってほしい。老人ホームの場所が遠くて不便（山の上とかに

					多過ぎ) もっと交通の便が良い駅から近い所(もしくは大月駅からバスで10分以内)にほしい。老人ホームの数も増やして欲しい。本屋が少ない。ダイエーの中しかない。スーパー等食品を買う場所が少ない。いろんな場所に増やして欲しい。老人ホームへ面会に行く家族が行きやすいようバスを作ったり、増やして欲しい。車が運転出来ない人もいます。
583	男	40歳代	大月	c	大月駅の北側、興和コンクリート跡地の有効利用はないのか。
586	女	70歳以上	賑岡	c	広域下水道ではなく、古い家屋に住んでいても合併浄化槽にしたいです。
587	女	50歳代	大月	c	富士急から中央線への乗り換えの駅なので、大月駅で何か美味しいものを買って帰りの電車で食べるのが楽しみな物を、駅や駅周辺で販売しているといいと思います。
588	女	60歳代	猿橋	c	自治会、公民館活動、ボランティア、イベント等を通じて、日頃の横のつながり、絆を大切に過ごすようであれば、思いがけない災害発生時に結束した動きが取れないのではないかと。
589	男	60歳代	賑岡	c	温泉、スポーツ、ショッピング、ホテルの一体化した施設
592	女	30歳代	大月	c	人口増加につなげる為にも公共料金を安くしたり、子供の居場所確保や就業場所を確保することで潤って欲しい商店街の活性化等道路だけでなく、人の流れを市内で感じたい。市立中央病院の医師の質も再検討の必要があるのかも。
593	女	50歳代	大月	c	とにかく何かやってください。山梨県に税金を払っているのにインフラなどは国中ばかり整備しているのは不満です。
594	女	70歳以上	大月	c	桜の木を植えて桜の町に、しだれ桜を多く。桂川ウェルネスパークに珍しい桜の木をいろいろ植えたらいいと思います。空いた学校にスポーツ宿泊施設、音楽の練習場に改造して宿泊施設として貸し出す。
597	男	60歳代	梁川	c	市街地の活性化(商店街・スーパー)
598	男	70歳以上	大月	c	税金が取れる企業の誘致・育成、空いた学校の活用、ふるさと納税
599	女	40歳代	猿橋	c	道路を造る
600	女	60歳代	富浜	c	若い人が大月に住みたいと思うような取り組みを望みます。
603	女	60歳代	猿橋	c	雇用の場
604	男	60歳代	瀬戸	c	一番思うことは人口減少する1つの理由は、働く場所が少ない。家屋の造成地じゃなくて、上野原市のように工業団地等

					の造成に力を入れてほしいと思う。
605	女	30歳代	大月	c	病院（医師確保、医療の充実など）を重点的に行うべき。市民が大月市立の病院を安心して使用（受診できる）ためにはどうすべきか。せっかくの立地条件（甲府、八王子などに近い）なのに現状はもったいない。
606	女	30歳代	笹子	b	BIGMOONCITYをもっとアピールして話題になるようにするステッカー販売、缶バッジ、シンボルマークを駅前にモニュメント造る。
607	男	30歳代	真木	c	HPの充実や、情報戦略的手法で、ネット上の若者や観光客などを誘致する。時間をかけて根気強く続ければ、効果が出てくるはず。将来的に長いスパンで取り組む。イニシャルコストも安く済むと思う。
610	女	60歳代	猿橋	c	空き家対策に、都会から若者が来てくれるよう農業の充実（難しいかもしれませんが）や働く場所があれば良いと思います。
616	男	50歳代	賑岡	d	市長を変えるべき。もっと有言実行の方を選ぶべき。市に関する大論文を送っても反応なし。都留市長のような方を希望。
618	女	60歳代	七保	c	一刻も早く人口流出を食い止める手立てを講じてほしい。企業誘致に力を入れて欲しいです。
619	女	70歳以上	大月	c	例えば岩殿山の上までケーブルカーで登れるようにするとか（高尾山は良い例）大月の花の名勝を作って花を見る客を呼ぶとか、桜、アジサイ、山ゆりなど計画的に植えつけ、自然、豊かないやしの大月市観光資源もばらばらでいくつもあってはだめ。計画の中に入れてツアー客を呼ぶような観光地にまで計画的に行わなければ、産業は発展しない。私たちが東京に見物に行くように、東京の人が大月から山梨県に入ってくれるのもありかと思う。
620	男	70歳以上	賑岡	c	人口流出が重大です。歯止めをして、空き家が多いようですが、空き家の活用を検討し、都会より人を集め安く貸し出す政策を、また国道沿いの廃校した校舎を活用し、道の駅など市内で作った野菜、おつけ団子など、おみやげを売ったらどうか。若い人に愛される街（婚活を重要政策に）。
624	女	50歳代	猿橋	c	若者の雇用場所の確保（企業誘致）
626	男	60歳代	猿橋	c	若い人の定住と人口の増加について考えてほしい事、①空き家住宅を市で借り上げて定住者に安く提供すること、②耕作放棄地を市の権限で定住希望者に格安で提供すること

627	女	30歳代	七保	c	病院、学校の質の向上
631	女	70歳以上	初狩	c	医療費削減のために保健師のなお一層のチャレンジと努力をお願いします。人口減少は大月ばかりの問題ではないと思います。安心してこの地に住むことが出来るかを考えてほしいと思う。例えば勤務地は都内でも住居は大月市にということも仕方のないことだと思う。
633	男	70歳以上	七保	b	桂川をもっと生かし、市外（首都圏）の人々が、一年中釣りまたは川遊びが気軽に来て1日遊び、帰ることのできるよう河川敷公園の設置を提案します。
638	男	40歳代	真木	c	高齢者の住みやすい町づくり
639	女	50歳代	大月	c	この自然。都会から1時間で田舎体験できる街はそうないと思います。大月はそのアピール力がないと思います。ホームページも普通だし、フェイスブックもあまり面白いとは言えません。（申し訳ありませんが）もっと全国、世界に向けて、発信できると思います。マスコミにもけっこう取り上げられているし、他の地方に比べるとかなりの頻度でメディアに出ていると思います。そのことを市民も知らない。誰も知らない状態になっているのはもったいない。これからはやはりインターネット時代なのでその辺りにも力をいれるべきだと思います。外国人がたくさん大月に降りています。テレビで新宿の居酒屋で阿波踊りを1日中踊ったり、体験させたりしているお店が、外国人の方々がわざわざ来るお店になっているようです。それを観ていた時、大月ですぐに出来るのではないかと思いました。大月が移動の街でなく、目的になるような取り組みを考えなくてはと思います。富士急行線に降りる外国人は大勢います。その人たちをどうしたらこの大月に滞在させることが出来るかをもっと考えるべきでは。
644	男	30歳代	賑岡	c	大月市民会館で映画をもっと上映してもらいたい。2014年の大雪による影響で潰れそうな建物を何とかしてほしい。大月IC前にあったブックオフ・デニーズに大手携帯電話会社が入ってほしい。なぜ、東京電力の横にあったタイムズ駐車場がなくなったのか説明してほしい。
645	女	20歳代	大月	c	子供を産み、安心して育てられる環境を作ってください。高齢化が進み、高齢者福祉を充実したい気持ちは分かるのですが、出産と子育てが出来なければ、若い夫婦は市に定住しません。大月短期大学があるのだから、商業施設を誘致してください。それが無理なら大月の商店街の閉まっている店を安価に貸すとか、学園都市化を目指すのはどうでしょうか。

					若者の住みやすい町を作ることが、市の活性化につながると 思います。
647	男	50 歳代	大月	b	現状の大月市では、将来的に市として存続していくか心配で ある。広くアイデアを募るのも方法であるが、斬新的な取り 組みを行うことのできる人材の確保が必要である。
649	女	70 歳以上	笹子	c	せっかく大月市民歌があるので、歌ったら栄えるかも。
650	女	60 歳代	賑岡	c	大月市を通過するだけの市にせず、生活していく上で、素晴 らしいと思わせる市制を作っていかななくてはいけない。 そのためには、日本一空き家が多いと言われている空き家の 使いみち、また企業や大学との提携・流出を防ぐ雇用の問題、 また多くの集客を見込めるようなまちづくりを推進してい く必要があるのではないかと。岩殿山の駐車場整備し、桂川か ら猿橋へと遊歩道の設置等足を運んでくれる人の確保も必 要。
653	男	50 歳代	笹子	c	高齢化に伴い、出掛ける事が難しくなる為、市として移動販 売業者を指定し、定期的に各地域を巡回するようなシステム を作ってもらいたいです。
654	女	40 歳代	七保	b	ふるさと納税の返礼が、市長の礼状と広報だけではあんまり です。市にお金がないのかもしれないが きれいな景色、山、猿橋など撮ってハガキセットにするとか、 大月市の笹一さんに協力してもらって4合瓶のセットとか、 大月市に納税したいと思わせる返礼がいいです。
655	女	60 歳代	富浜	b	大月市は集落が点在しているので、将来的には集約した方が 良い。工業団地などを造り、若者の雇用の場を増やし、人口 増を目指す。都心に近く中央高速、中央線、交通の便が良く、 自然に恵まれているのだから、農業、山、温泉など、大人か ら子どもまで来られるような施設を造り、人を呼びこむよ うな事を考えてもいいのではないかと。
656	男	40 歳代	富浜	c	鳥沢は登山客が多いので、彼らに対するアピールがもっと出 来ればいいと思います（ちょっとしたお土産物屋のような …）。
659	女	60 歳代	猿橋	c	私は猿橋に住んでいます。観光にもっと大型の駐車場があれば と思います。大月市は都留市に比べ平らな土地がないの で、工場も建てづらいので、小菅へのルートが完成したが、 早くも小菅の方が道の駅と大月市はこのままでは通過点に なってしまう。七保ダムの周りを観光地にしたらと思う。寒 いので、もみじ並木などしたら紅葉が素敵だと思います。四 国に旅行した時、三奇橋で錦帯橋と猿橋のポスターがありま した。錦帯橋の観光地は賑やかで、それに比べ猿橋はとつく

					づく思いました。私の子どもの頃は桜もありました。桜を植えたらと思います。橋から公園に行く道も階段で、年寄りは大変になりました。直線で向こう側に行けたらいいなと夢を持っています。
660	女	30歳代	真木	c	大月は地域ごとのつながりが濃く、地元を大切にしている人が集まった市だと思います。しかしながら、小中学生が意識しなくなってしまうと思います。大月市の良さや愛着が薄れてしまうのではと心配です。適正化により広がった学区でも学区としての地域に愛着が持てるようにするために広がった学区に応じた行事やイベントの企画が必要だと思います。保護者も他地域の人の様子や良さのつながりができ、未来を担う子供たちも愛着が持てるようになり、今後さらに大月市を盛りあげてくれると思います。
662	女	60歳代	梁川	c	働く会社が少ない
663	男	60歳代	大月	c	大月駅の北側がもったいないです。早く計画を進めて電車から見ても、大月に寄りたい風景にしたいです。
664	女	30歳代	賑岡	c	商店街
667	女	70歳以上	猿橋	b	身近にある山、岩殿山、扇山、百蔵山等、健康増進につながるイベントを計画してほしい。地元の人、他所の人も、気楽に参加出来る平日でなく、休日がいいです。
668	女	20歳代	大月	c	通勤・通学に対する補助、3世代同居家族への減額（いろいろ利点があると思います）
669	女	50歳代	梁川	c	高齢者が生き生きと生活していけるように
671	男	40歳代	富浜	c	商店街の活性化
672	女	60歳代	富浜	c	名勝猿橋は多くの方が観光に見えているが、お土産屋が少なすぎる。地元産の物（さるはしまんじゅう、おやき、まんじゅう、さしみこんにゃく等いろいろあります）竹やつるで作った物、東京の方はとても自然に飢えていますので、そこを狙った物、うこんも良い。
673	男	40歳代	賑岡	c	首都通勤圏としての再生
674	男	40歳代	大月	c	総合的な商業施設の建設、病院の早期建設、小型スクールバスを導入し、総合学校での通学手段の確保。魅力ある短大づくり（学部、設備など）4年生大学を希望したいが。唯一の地元の短大なので、限られた進路でなく、幅広く受け入れてほしい。

677	男	70歳以上	猿橋	d	市道殿上線を毎日利用していますが、入口より少し入った左側の沢のそばに数年間空き家（廃屋同然）がありますが、撤去し、道路拡幅を行ってください。道路利用の車、人が危険と背中合わせです。
679	女	70歳以上	大月	c	月並みな言葉ですが、産業を誘致し、若者が大月市に定着し、家庭を持ち、子供の声が響き渡るような明るい町を期待します。
685	女	60歳代	富浜	c	ウェルネスパークに温泉施設を造ったらどうでしょうか。
689	女	70歳以上	猿橋	c	高齢者施設の誘致、JR中央線の充実、農地の耕作利用
690	女	50歳代	梁川	c	東京へのアクセスも良く、もっと大月をアピールし、若者の定住をはじめ移住にも力を入れ、人口の減少を防ぐ。
693	女	70歳以上	猿橋	c	低所得者でも入れる老人ホームを作ってください。
695	男	60歳代	富浜	c	問2-8の1~7は大切だと思う。しかし徳島県上勝町では町長を社長として「葉っぱ」をビジネスとした町の取り組みにより、年寄りの生きがいが増えた67%になっている。年寄りが、自分が主役と思える仕事が、どんな福祉行政より高齢者の健康を支えているとのこと。ちなみに「葉っぱ」のビジネスを支えているのは、平均年齢70歳以上の農家です。
698	男	40歳代	賑岡	c	企業を誘致し、労働の場を増やし、人口増加を目指す。
699	女	70歳以上	富浜	d	家の長が大月に住める仕事があること
700	女	70歳以上	猿橋	d	空き家や空き店舗を安価で貸し出したり、人口を増加させる取り組みができないのでしょうか。街から人が出て行かないために、何が出来るかが課題だと思います。
702	女	60歳代	富浜	c	大月短期大学をもっとメジャーにして、商店街と一体化を計ってほしい（都留文科大学は隣の南都留合同庁舎を購入し拡大すると聞いています）。
703	男	70歳以上	初狩	c	地域の人、一人一人が地元の良さを生かす努力をするコツは山梨百名山が市内に2箇所あり、大勢のシニア世代が来ますいつも声掛けを心掛けています（地元アピール）。
706	男	60歳代	富浜	c	人口減少と空き家対策、放棄農地対策、小規模商店の復活（補助をする）大月・猿橋・鳥沢、熊・猪・猿・ハクビシン・アライグマ・鳥・野鳥等の駆除（早く）
707	女	60歳代	真木	c	観光に重点を置く。見つめ直す部分がたくさんあると思います。個々を考えるのか、地域の事を考えるのか、熱意を持ちつづける為に何かをしなくてはと思います。

713	男	60歳代	七保	c	J R大月駅北口（旧興和コンクリート跡地）土地の開発、整備によりマンション建設、新庁舎もそこに入る。N T Tの土地へ新庁舎建設。大月短期大学を4年制に移行。宿泊して農業ができる所を作る。
716	女	60歳代	初狩	c	夏場の光化学スモッグ警報が発令されれば、暗い気持ちになります。簡単には解決できないと思いますが…。
717	男	60歳代	瀬戸	c	教育と健康。市職員の資質が低い。積極的な意識に基づく行政を。
718	女	50歳代	賑岡	c	各駅の整備（観光案内、おみやげ品、休憩場所等、織物の紹介や販売、市内の話題のお菓子等の販売）
721	女	50歳代	賑岡	c	入浴等保養施設（子供から老人までがゆったり過ごせる場所づくり）、送迎の充実、食事は市内の食事提供できる所が500円でお弁当等を販売する等、商売をしている方々もかかわっていく。出来れば24時間営業が望ましい。24時間でも2,000円くらいの料金設定。
723	男	40歳代	大月	c	東京の人に来てもらい、観光に力を入れてほしい。
725	男	60歳代	富浜	c	国道20号以外の市道路の舗装工事が30年以上たっている為、デコボコだらけで児童・小学生の通路になっているが、ケガでもしたら大変な事になる。舗装工事にあたっては、大月市に予算がないとの回答。市民の声を反映してもらい元気の出る大月市にしよう。
726	女	30歳代	猿橋	c	田舎で静かで住みやすいと思うけれど、仕事をしたり、働きながらの子育ては、保育時間の関係でも良いとは思えない仕方がないので、お母さんは社員ではなくパートで職探しをすると思う。車移動が多いので、大月商店街に立ち寄る事はまずありません。都会のように徒歩の生活が増えたらいいのかも。
727	女	50歳代	富浜	c	今、私の地区も中高年の人ばかりになり人は減る一方です。若い人達が安心して集まって来られる、将来に何か希望が持てる、といった物が必要だとは思っていますが。
733	女	50歳代	富浜	b	バイオマス発電で木の枝を軽トラックで集め配達、軽トラ1台分3,000円とか…
734	女	70歳以上	富浜	c	空き家対策、特別養護老人ホームの増設、介護保険利用料の軽減
735	男	60歳代	猿橋	c	耕作放棄地や遊休農地等で売却したくても出来ないような土地の固定資産税の軽減を検討して頂きたい。私事ではありますが、我が家の息子達はこのような固定資産税を払い続ける事は大変な為、相続放棄をして都会で生活する事を検討しています。また近隣の家でもこのような土地を多く持ってい

					る人達からは同じような事を見聞きしています。昔ながらの家の若者達が、先祖からの土地に住めるような環境造りの為検討をお願いします。
736	男	60歳代	七保	b	人口減少の為には、病院の充実、企業誘致により、働く場所の創造、交通機関の充実が重要である。都留・大月・上野原に公立病院を別々に持つことはかなり無理があり、一つにすべきである。大学病院で教授をしている友人も言っている。正論だと思う。加えて娯楽場所としての映画館も必要である。なぜならネットのシェア拡大により、キー放送局の1社が無くなっているくらい、テレビ放送局のシェアは落ちており、地方放送局は、今までのメディア戦力では生き残れない時代が到来する。彼らは、映像を生かすことで、必ず映画への復活を図ると思うので、映画館、劇場を公共機関とメディアで持つべき時代がくると思う。これが都会からUターンの受け皿にもなると思う。
741	女	60歳代	笹子	c	若者の働く場所がないので雇用の問題をどうするか
745	男	60歳代	賑岡	c	岩殿山を中心としたハイカーが多くなっています。浅利側にトイレの設置を希望。
746	女	30歳代	猿橋	c	企業誘致、子育て支援
747	男	30歳代	富浜	c	定住を目指し、子育てにかかる費用を安くしたり、市で負担する。
749	女	30歳代	初狩	b	大月市には高川山・滝子山・扇山など多くの登山者が訪れています。山やその周辺、お店を活用して大月市をもっとアピールしてもよいと思います。島根県の海土町の取り組みも参考になります。
751	女	70歳以上	真木	c	①施設等市街地に集約しないで、他の地域の繁栄を図る②試算前の公平を③空地や休耕地の税を上げる④空き家を処分する⑤都市計画区域の見直しをする⑥住民の意見が反映されにくい
752	女	60歳代	富浜	c	①観光。②猿橋と公園の活かし方、来た人が単に橋を見て終わりといったことだけにならないように制度とアイデアを使ってほしい。(もったいない)③昔話の「桃太郎」の話をもっと地域の活性化のために活用する方がよい。大月市はいいものを見つけても、あと一歩の積極性が足りない。もっと後押し(企画と実行)が必要。もったいない。
758	男	50歳代	大月	c	人口減を受け入れ、客観的に物事を進め、ムダ金を使わないようにしてほしい。

766	女	50 歳代	富浜	c	太陽光発電、風力発電など原発に頼らないエネルギーの活用を推し進めて、取り組んでもらいたい。
767	男	30 歳代	大月	c	大月駅周辺を住宅地の中心として重点的に整備すべきです。企業誘致は、どの自治体も行っているので、生活環境に重点を置いて、差別化を図るべきです。
768	女	20 歳代	大月	a	どうしても高齢者が増えてきているので、医療機関の充実をまず考えてほしい。医師不足や、治療の面での不透明さというか不備が目立ってしまっているような気がする。
770	女	70 歳以上	富浜	c	これを書いている時、テレビで関口弘さんの震災から4年と、宮城の女川町の今までの取組と力強く復興して行く姿を、私は大月市をかさねて見ていました。それは復興の会を作り、取り組んでいく中で、還暦以上は口出すな、古いしがらみからの脱却～ベテランは後ろで見守り役、若い世代～30代、40代の意見、行動力にゆだね、若者に任せる事で、社会を大きく変えて行く姿、その中で、新しいアイデアをどんどん出し合う、コンパクト化したまちづくり、都会に出て行った人達も引き込んでの話し合い、5年後、10年後を見据えての取組み、人口が流出しない対策等でした。アンケートを作ってくださった皆さんも、日々大月市が良くなる様、頑張ってくださいありがとうございます。
772	女	70 歳以上	初狩	b	大月市は中央線の駅が6駅もあり、中央道のインターもあり、とても良い立地条件にあるので、企業や温泉施設等を誘致し、地元で働ける環境を造ることにより、人口減少も食い止め、大月市の活性化にもつながるのではないかと思います。
773	女	30 歳代	大月	c	大月市の全地区参加型のイベントを増やし、住民のコミュニケーションを図るべきだと思います。勝沼朝市のような、観光客も呼び込めて住民も参加しやすい町の名物となるような取り組みをして大月をアピールするべきだと思います。
774	女	30 歳代	七保	c	高齢者や障害者の積極的雇用も大切ですが、彼らを支える若者の採用、支援、教育にももっと力を注ぐべきです。世代交代をすべき。年収200万に満たない給与では、仕事に対する魅力、活力にとってもつながらない。基本給与の底上げ、お金の流れを良くするための施設の充実化（大型店舗やスターバックスなどの人の集まりやすい場所）スーパーの商品も都留市や富士吉田市にくらべ非常に劣る。
776	男	70 歳以上	大月	c	少子化、大学全員の入学の時代到来下の市立短大存続の検討。西東京地区のベッドタウン化
777	女	70 歳以上	富浜	b	つきの市、軽トラ市、遊べる場所、教育、仕事があれば大月も若い人達も外に行かず増えてくると思います。動物と触れ

					合う楽しみがあるといいと思います。
780	男	60歳代	梁川	c	大月市には豊かな自然や農産物があるので、「道の駅」や温泉施設を作り、活気のある町にする
781	女	20歳代	七保	c	自分は県外から大月市に移って数年になりますが、大月市も少子高齢化が進んでいると思います。我々、若い世代がこれからの大月市を担っていかなければいけないのはもちろんの事ですが、そのためにも先輩の世代の方々と交流し、そこから様々な事を学び、活かす機会をもっと増やしたほうが良いと思います。
784	男	60歳代	梁川	c	自然災害が起きたときの情報取りはラジオです。(ハイテクは持っていないので)NHK甲府が受信できるようにしてほしい。年を重ねるとテレビよりラジオが楽しいと思う。
786	男	50歳代	賑岡	c	25年後の市の人口15,000人、その後も少なくとも50年後までには減り続ける事を考えると、現状の市道、他の公共施設や行政(市役所等)の人件費が余剰となるのは明らかで、それらを今現在から徐々に縮小させる方向で市政に取り組むべきと考えます。
787	男	60歳代	初狩	c	都市部から近くて子育てしやすい街として、少人数によるきめ細やかな教育が受けられることや、学齢期にも子育て支援が受けられることなど、ボランティアを活用した体制をつくりアピールしていく。
789	男	70歳以上	富浜	c	川や山に恵まれ東京にも近いことから自然を利用して花の名所などを作り、観光客を多く呼び商店街を賑やかにして市内に活性化を持たれたい。
792	男	40歳代	富浜	c	様々な機会に様々な場所で地域の声を聞くことが重要。市の置かれている状況や財政等を提示しながら意見を募る。子供に聞いてみるのもよいかもしれない。自分たちで考えて意見を出したまちづくりができれば子供たちもさらに愛着がわいてくると思う。
794	男	40歳代	真木	c	医療、福祉、教育、一村一品運動
795	男	50歳代	富浜	b	若い夫婦が暮らしやすいようなまちづくり、市営住宅の環境まわりの整備、子供が安全に遊びやすい公園づくり
796	女	40歳代	真木	c	他の市町村のホームページに比べ、情報量が少ないようにも思えますし、業務代行なのか市職員の方が作成しているかわかりませんが、デザインをもう少し駆使しても良いかと思えます。若者(子供達)からも色々なアイデアや意見を授業の中で取り入れて考えることも良いと思います。

797	男	70歳以上	真木	c	市民に対して、市が取り組んでいる事をわかりやすく、目的、現状、今後、市民に協力して欲しい部分等を発信して欲しい。リサイクルについては、分別収集、回収、再利用、市の収入に結び付く等を明らかにして、協力を呼びかける。市の収入源の一部になっているのか市民には見えない。
798	女	50歳代	賑岡	c	良くしたい手段がない。市が窓口となって、農業オーナー募集。大月名物づくり、毎年恒例にできるような各種大会を開催（マラソン大会、自転車レース）、市内観光巡回ワゴン車。単発事業でなく、すべての事業が一本化されたい。
800	男	60歳代	大月	c	粗大ごみを回収してほしい
801	男	60歳代	賑岡	b	現状のままでは人口の低減は免れません。他の地域と同様、住宅地の空き家現象が増加しております。唯一、通勤圏内の「大月市」と見直し、人口増加対策を行う。地域への補助、市民税の向う数年間の減税等、ダイナミックな施策を行う必要があると思う。ただし、他の町より噂のある利権がらみ売名行為がないクリーンな施行が必要と思う。
804	男	60歳代	猿橋	b	老人大学等の取組もありますが、更に発展させ、「教える教室等」だけでなく、気軽に集い、共に遊べる趣味の延長のような集いがあると良い。参加者1人1人が身体全体を使い、活動すること。これを健康維持、増進につなげて医療費の減額につなげる。各地区毎に行われている取り組みをアンケート調査する。
807	女	20歳代	梁川	c	豊かな緑を利用した若者の働く場を創り出せるような施策はないのだろうか。大規模地震が言われているが、この緑は必ずや多くの人の役に立つ貴重な資源となるはず。
811	女	20歳代	富浜	c	若い人を活用して意見集約出来る場を用意してほしい。まず土地活用を地方自治の権限の中で、優先的に誘導し、東京オリンピックまでに首都圏地域の役割を果たす。
816	男	50歳代	賑岡	c	昭和の物を設置して、観光客を集める。外には円柱形のポスト、室内には黒電話、足踏みミシン、かまど、洗濯機、テレビ等の古いものを置く。子供が遠足に来た時、見学だけでなく昭和の頃の遊びが出来る様にする。またレコードが聴けて、喫茶店でお茶が飲めれば最高です。
818	男	30歳代	猿橋	b	ジブリの映画の一部に使われたり（千と千尋の神隠し etc）しているので、ウェルネスパークの一部をジブリの制作拠点到に低価格で提供して、映画に大月を入れることで日本、世界の人々に大月に訪れてもらう（金を落とす）努力をするべきだと考えます。大河ドラマなど大月の自然は戦国ものなどに使用できる場所はたくさんあると思います。花王やTOTO

					など、景気に左右されにくい会社を呼び込み、まず、人の動きをつくる活力をつくりだしてほしい。
819	男	50 歳代	七保	b	自然と文化を中心に考えたい。郷土資料館の文化的（音楽・美術）活用、図書館の施設（ボランティア室・会議室）を開かれたものに、JR猿橋駅から猿橋・百蔵山などを結ぶ美的な観光ルートをつくる。
820	男	50 歳代	猿橋	c	もっと道の駅など造って収入源を多くする
823	女	20 歳代	大月	c	2040年までに大月市はもっと人口が減っていくと思います。これは大月市だけでなく全国的な問題です。人口減少が加速して都市が消えてしまわないよう若者に定住してもらうためにも職の確保を重点的に行うべきです。また、個人的なことですが、大月市中心部には高校や短大がありますしかも放課後に遊べる所、ゆっくりできる場が少ないような気がします。せつかく市外、市内、県外から人がやっても、帰りには何も無ければつまらないと感じさせてしまうように思いました。
826	女	20 歳代	初狩	c	人口減少対策として、空き家の活用を考えて下さい。リフォームの補助や賃貸料の補助、保育料の見直し、子育て支援等で、移住先としての価値を上げて下さい。
828	男	60 歳代	七保	c	空き家が増え、人口が減少するなか、大月市の魅力である自然に観光を取り入れた想像性豊かな大月市を築いてもらいたい。
832	女	30 歳代	大月	b	日本三奇橋である「猿橋」をもっと全国に、とても珍しく素晴らしい橋であることを広めてほしいです。景色も四季折々素敵です。橋に行くためのルートを歩きやすいように整備してくれたら、もっとたくさんの人に勧め易いと思います。20号沿いは歩きにくくて困ります。大月市を山と橋の素敵な町というイメージにしてほしいです。
833	男	30 歳代	猿橋	c	高齢者の雇用と子育てを合せた政策、共働き世帯の子育て、65歳以上の働きたいけど働き口がない
835	男	70 歳以上	猿橋	c	食事や勉強と常に予算の不足していることわかるが、道路の整備をしてもらいたい。
839	女	50 歳代	猿橋	c	富士山への通過点にしかなくなってないのが残念。大月には山がたくさんあるので、山の案内など、企画、宿泊施設などの充実が必要。実家からも近いので、会社帰りに宴会電車をJRと企画して宿泊など出来れば集客できるのではないのでしょうか。ふるさと納税のお礼が何もないと税収入が減り、市も活性化しないと思います。

841	女	20 歳代	七保	b	在宅でも、親や家族の援助がなくても、福祉サービスが受けられ、施設にいるのと同じような生活が出来るような施設や、地域の人との和なことを大切にしまちづくりをしてほしいと思います。若者が地元に残って働けるような企業があり、高齢者が生き生きと生活、動ける場があればと思います。
842	女	50 歳代	富浜	c	早急に火葬場を改装してほしいです。最期となる場が、今のままでは貧弱すぎて悲しくなります強く強く希望します。ウェルネスパークをもっと活用できるように、地元の野菜販売を定期的に行ったり、手頃な値段でおいしい食事ができれば足を運びやすい。温泉が出来たら最高です。山登りの方も立ち寄るだろうし、年配者方にいろいろ教えていただき、手作りの田舎料理もよろこばれそうです。
843	男	60 歳代	富浜	c	私は今住んでいる所が大好きだ。仲間同士話し合って行動して良い方向へ向かっていると思う。他から来て住み着いた人たちも。良き仲間になれ地域のために努力見られる。